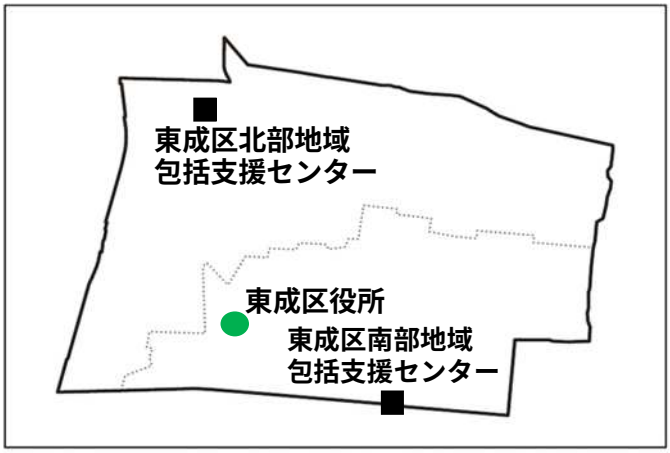
３．東成区の日常生活圏域図



４．地域の状況

■各校下に配置した地域福祉活動サポーターを中心に高齢者食事サービス等の地域福祉活動を実施するとともに、「おまもりネット事業」等により地域のつながりづくりを推進している。
■だれもが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、在宅医療・介護連携の推進はもとより、多様な主体のネットワークにより「地域包括支援システム」のさらなる強化をめざしている。
■地域の健康教室やイベントの開催により健康づくりの啓発活動に取り組んでいる。

５．地域資源情報

①地域資源の状況（令和２年３月 31 日現在）

区　分	件　数	区　分	件　数
地域包括支援センター	2 か所	連合町会数（H27 国勢調査）	11 団体
総合相談窓口（ブランチ）	2 か所	民生委員・児童委員	129 人
老人クラブ数	20 団体		

②主な介護保険事業者・施設の状況（令和２年９月末現在）

居宅サービス	件数	施設サービス	件数	地域密着型サービス	件数
訪問介護	65	介護老人福祉施設	4	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0
訪問入浴介護	2	介護老人保健施設	3	夜間対応型訪問介護	0
訪問看護	116	介護療養型医療施設	0	地域密着型通所介護	29
訪問リハビリテーション	96	介護予防・生活支援サービス	件数	認知症対応型通所介護	3
通所介護	13			小規模多機能型居宅介護	2
通所リハビリテーション	106	介護予防支援	2	認知症対応型共同生活介護	8
福祉用具貸与	11	介護予防型訪問サービス	59	地域密着型特定施設入居者生活介護	0
短期入所生活介護	4	生活援助型訪問サービス	53		
短期入所療養介護	3	介護予防型通所サービス	41	地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	0
特定施設入居者生活介護	5	短時間型通所サービス	24		
居宅介護支援	42	選択型通所サービス	1	複合型サービス	1

③在宅医療の状況（令和元年 10 月１日現在）

区　分	件　数	区　分	件　数
在宅療養支援病院	5 か所	在宅療養支援歯科診療所	19 か所
在宅療養支援診療所	35 か所	在宅患者訪問薬剤管理指導料	58 か所

６．その他（高齢者の支援に関する区独自の取組など）

■「おまもりネット事業」を活用した高齢者・障がい者等支援ネットワーク強化事業
「おまもりネット事業」（地域とのつながりづくりのために各校下で実施している活動で、「おまもりネット手帳」「カード」を無料で発行している。）等の地域福祉活動を支援し、要支援者のセーフティネット構築や強化を図る取組み。

■緊急時安否確認（かぎ預かり）事業
東成区にお住まいのひとり暮らしの高齢者が安心して暮らせるよう、事前にかぎを預かり、緊急時にかぎを使って家屋に入り、安否を確認する。高齢者福祉関係機関との共同体で実施している。

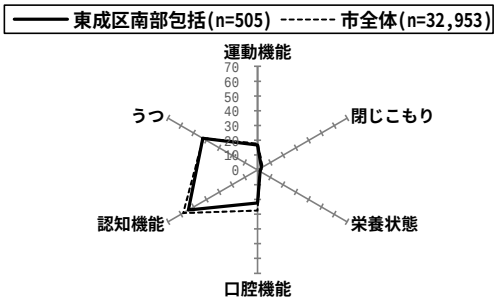
■「認知症あれそれガイド（ケアパス）」、「ケアパス（別冊）」（認知症施策実務者ワーキングチーム作成）
地域とのつながりによるケアを重視した認知症のガイドブック。別冊には相談機関の他、区内の認知症カフェや地域の集いの場カレンダーを掲載し、地域とのつながりづくりに活用している。

■いきいき百歳体操
参加者のモチベーション維持と各自の健康管理を目的に「百歳体操出席手帳」を作成し、出席シールとともに配布。

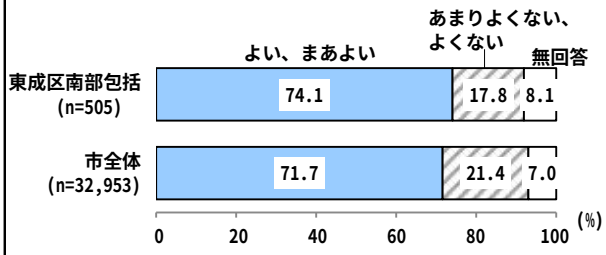
７．日常生活圏域ニーズ調査結果

①東成区南部包括

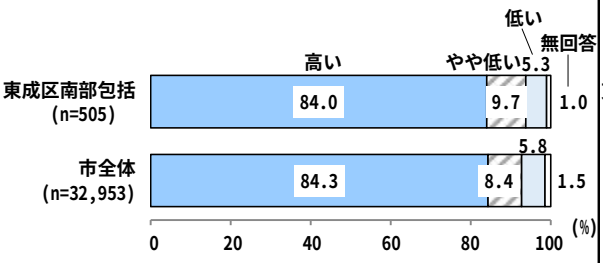
①生活機能リスク



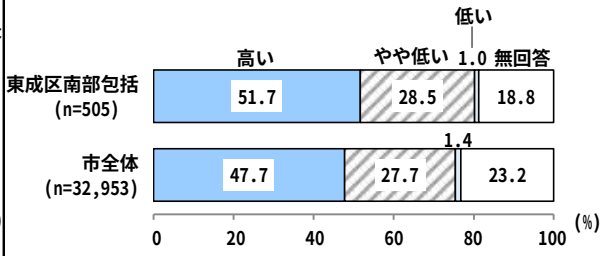
②主観的健康観



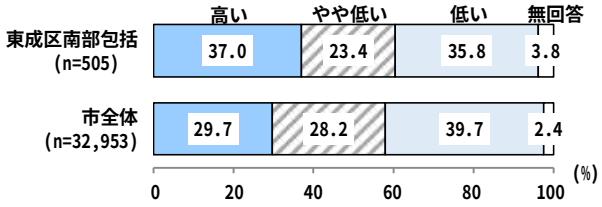
③手段的自立度



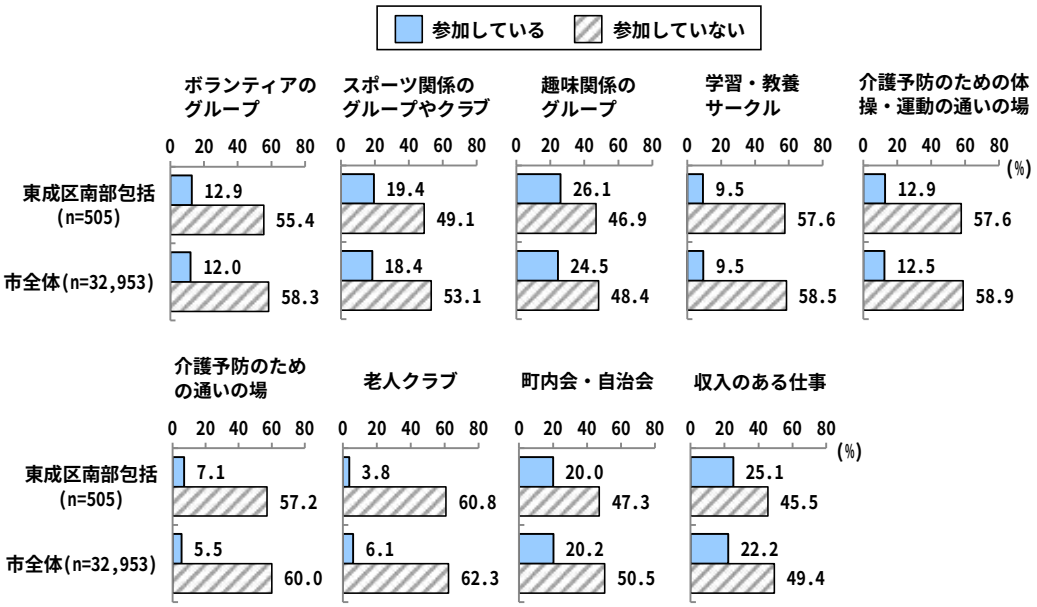
④知的能動性



⑤社会的役割

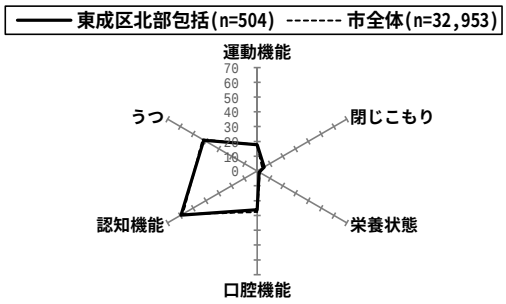


⑥社会参加の状況

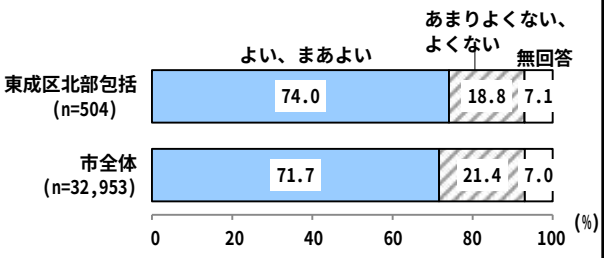


②東成区北部包括

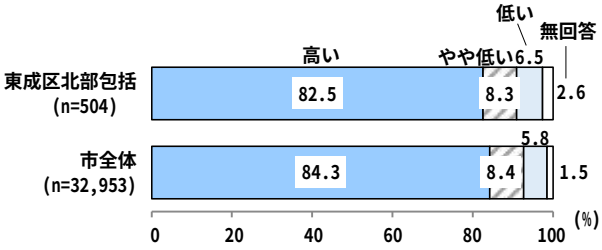
①生活機能リスク



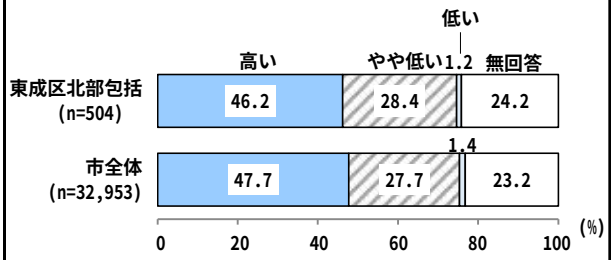
②主観的健康観



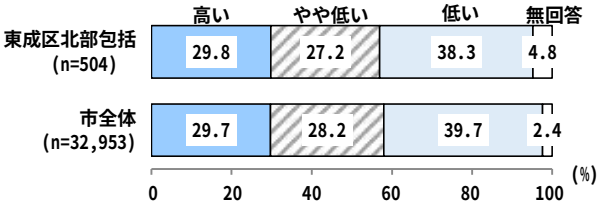
③手段的自立度



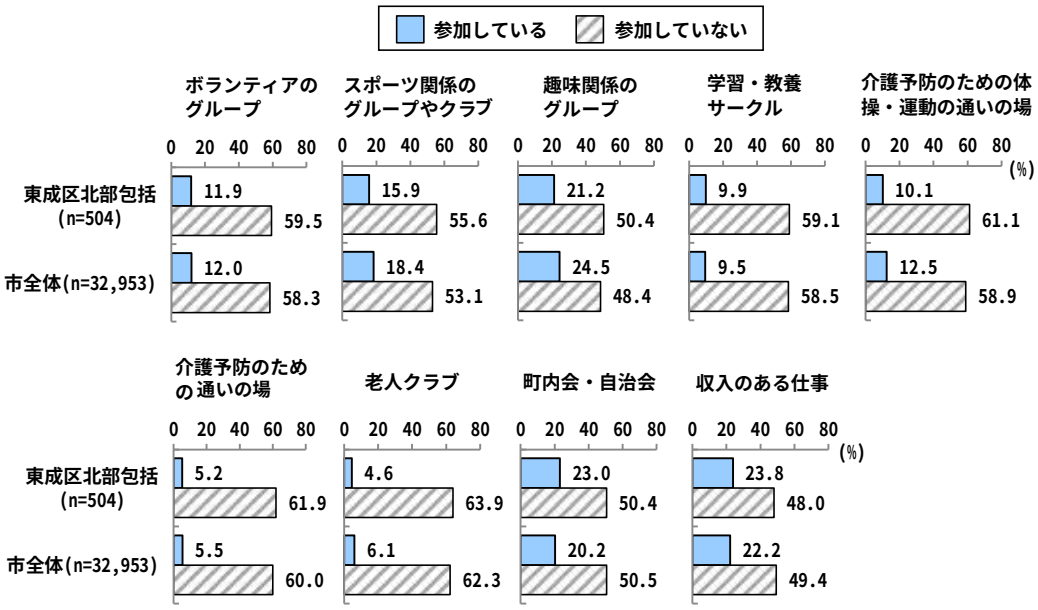
④知的能動性



⑤社会的役割



⑥社会参加の状況



15．生野区

１．生野区プロフィール

特徴	生野区は大阪市の東南部に位置し、東は東大阪市に、北は近畿日本鉄道を区界に東成区に、西はJR 環状線を区界に天王寺区に、南は国道 25 号線および平野川を区界に阿倍野区、東住吉区、平野区にそれぞれ接しており、区の南北に今里筋と内環状線、東西に勝山通りが通っている。また、文化的には万葉の時代からの歴史や伝承が残されている土地であり、区名の「生野」は聖徳太子ゆかりの「生野長者」にちなんで付けられており、現在もだんじり・地蔵盆など地域伝統行事が大切に守られて、下町の良さを残した人情味豊かなまちである。
トピックス	生野区では、少子高齢化の傾向が顕著な地域であり、単身高齢者の増加や児童・生徒数の減少、また製造業の企業数も減少傾向にあるなど、まちの活力が失われつつある一面もあるが、その一方で、古くからのコミュニティがなお生き続けている、あたたかく区民同士の絆やボランティア精神の強い住みやすいまちでもある。生野区では、「『居場所』と『持ち場』のあるまちへ」を方針に掲げ、現在の施策の方向性を充実させながら、時には変化に対応しながら、まちの課題解決と未来に向けたまちづくりを進めている。

２．統計からみる生野区の状況（基準日：令和２年 10 月１日現在）

①主要統計指標

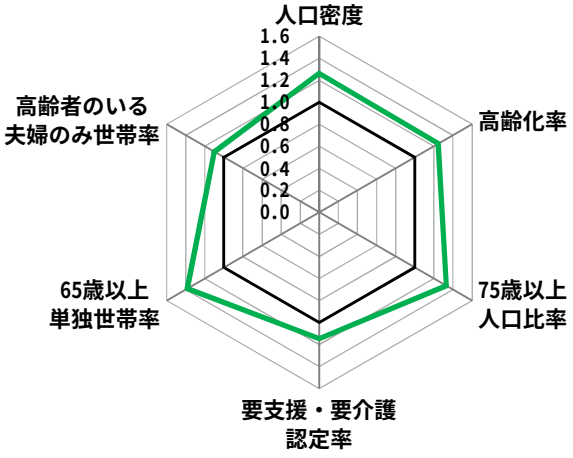
項目	データ	順位	項目	データ	順位
人口総数	128,835 人	7	面積	8.37 ㎢	13
人口密度	15,392 人/㎢	10	世帯数	67,315 世帯	8

②高齢化指標

項目	データ	順位	項目	データ	順位
65歳以上人口	41,255 人	7	高齢化率	32.0%	2
65～74歳人口	17,732 人	8	75歳以上人口	23,522 人	4
65～74歳人口比率	13.8%	4	75歳以上人口比率	18.3%	2
要介護認定者数※1	11,240 人	5	認知症高齢者数（65歳以上）※2	3,468 人	2
（認定率）	29.7%	2	認知症高齢者数（75歳以上）※2	2,916 人	2
65 歳以上単独世帯数※3	13,108 世帯	3	65歳以上高齢者のいる夫婦	6,029 世帯	8
（世帯率）	20.6%	2	のみ世帯数※3（世帯率）	9.5%	12

※１：令和２年９月末における第１号被保険者（65歳以上）の認定者数
※２：認知症高齢者数は居宅のみ（令和２年４月1日現在）
※３：国勢調査「65歳以上の世帯員のいる世帯」（平成27年10月1日現在）

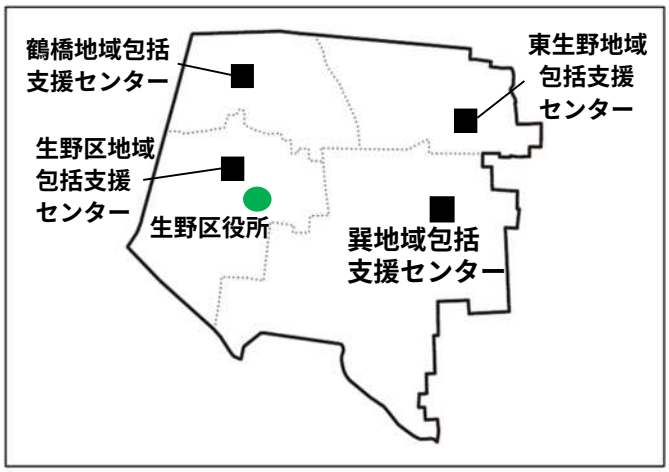
③生野区の水準（大阪市＝１とした指数）



④生野区の高齢化の特徴

●高齢化率は32.0%と24区中2位となっている。
●75歳以上人口比率は18.3%と24区中2位となっている。
●65歳以上単独世帯率は24区中2位となっている一方、高齢者のいる夫婦のみ世帯率は12位と中位にある。
●認定率が2位となっている。
●各指標の水準が、全体的に大阪市平均を上回っており、高齢化が進んでいる区域である。

３．生野区の日常生活圏域図



４．地域の状況

■生野区では、『「居場所」と「持ち場」のあるまちへ』をキーワードとして、地域包括ケアシステムの構築を進めている。
■地域住民と支援機関による小圏域会議や多職種が参画する各種会議体と、区地域ケア推進会議が有機的に連携している。
■行政の画一的な制度では対応できず真に支援を必要とする人とボランティアのマッチングを行う「ご近“助”パワフルサポート」事業を展開している。
■生活支援コーディネーターと協議体との連携により、百歳体操を始めとした高齢者自身が自立的に取り組む「居場所」と「持ち場」を兼ねた社会資源の発掘・創出等の生活支援サービスの充実・強化を進めている。

５．地域資源情報

①地域資源の状況（令和２年３月 31 日現在）

区　分	件　数	区　分	件　数
地域包括支援センター	４か所	連合町会数（H27 国勢調査）	19 団体
総合相談窓口（ブランチ）	５か所	民生委員・児童委員	244 人
老人クラブ数	42 団体		

②主な介護保険事業者・施設の状況（令和２年９月末現在）

居宅サービス	件数	施設サービス	件数	地域密着型サービス	件数
訪問介護	183	介護老人福祉施設	10	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1
訪問入浴介護	1	介護老人保健施設	5	夜間対応型訪問介護	0
訪問看護	179	介護療養型医療施設	1	地域密着型通所介護	45
訪問リハビリテーション	153	介護予防・生活支援サービス	件数	認知症対応型通所介護	5
通所介護	30			小規模多機能型居宅介護	7
通所リハビリテーション	157	介護予防支援	4	認知症対応型共同生活介護	17
福祉用具貸与	20	介護予防型訪問サービス	172	地域密着型特定施設入居者生活介護	1
短期入所生活介護	15	生活援助型訪問サービス	151		
短期入所療養介護	6	介護予防型通所サービス	73	地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	2
特定施設入居者生活介護	12	短時間型通所サービス	50		
居宅介護支援	109	選択型通所サービス	3	複合型サービス	1

③在宅医療の状況（令和元年 10 月１日現在）

区　分	件　数	区　分	件　数
在宅療養支援病院	５か所	在宅療養支援歯科診療所	19 か所
在宅療養支援診療所	50 か所	在宅患者訪問薬剤管理指導料	76 か所

６．その他（高齢者の支援に関する区独自の取組など）

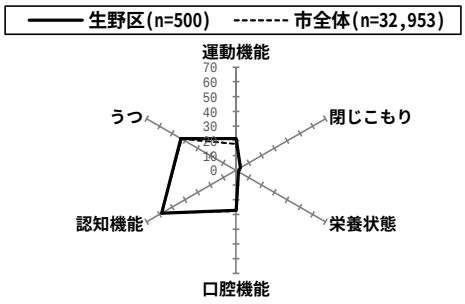
■多職種連携による地域包括ケアの推進
認知症高齢者支援ネットワーク会議が中心となり、地域住民への認知症の周知啓発として講演会・シンポジウムの開催や認知症早期発見ツール「ＳＴＯＰ　ＤＯ！」の発行、また、「いくみんお守りキーホルダー」事業の展開など、多職種が連携した独自の取組みを行っている。

■区民の健康寿命延伸のための意識啓発
いつまでもいきいきと自分らしい生活を送ることができるよう、区民の健康寿命の延伸を目的に、がん検診などの検診の重要性の理解促進や習慣化をめざした生野区マスコット「いくみん」を活用した広報啓発や、区民の健康づくり等の意識の高揚・定着をめざした取組みを推進している。

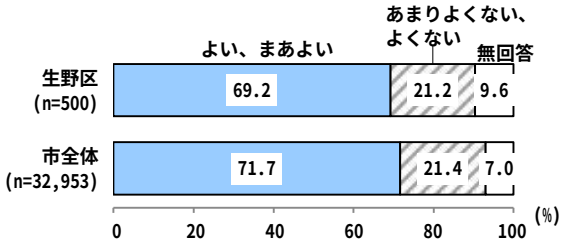
７．日常生活圏域ニーズ調査結果

①生野区

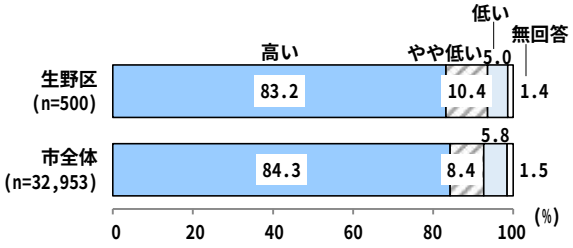
①生活機能リスク



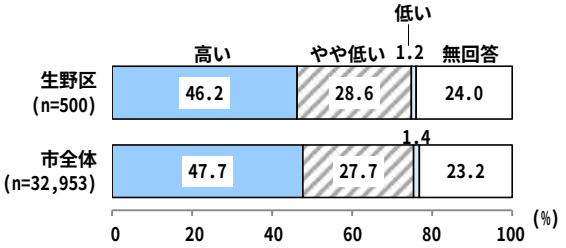
②主観的健康観



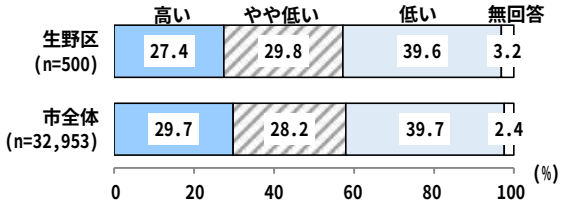
③手段的自立度



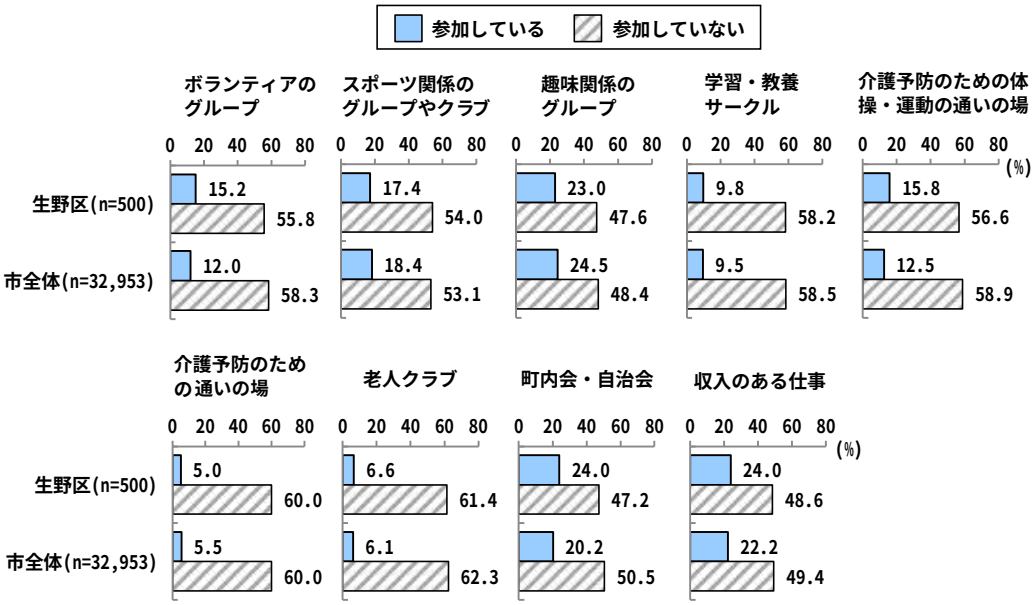
④知的能動性



⑤社会的役割

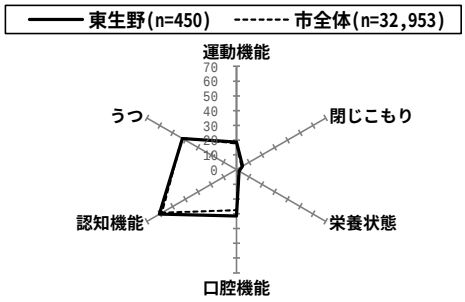


⑥社会参加の状況

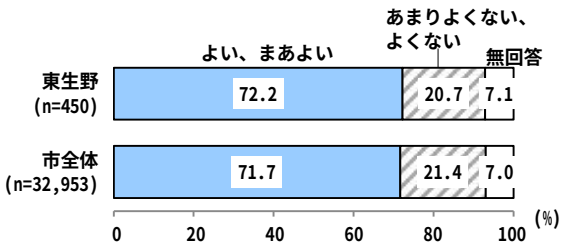


②東生野

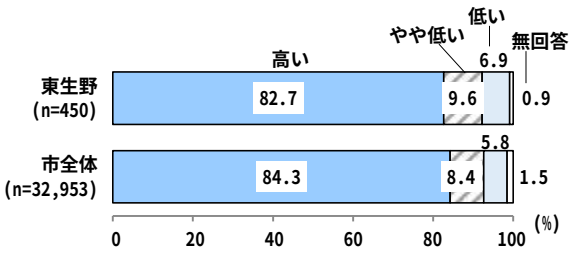
①生活機能リスク



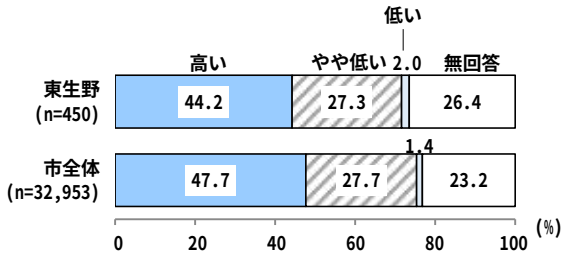
②主観的健康観



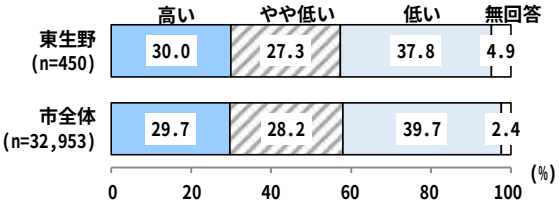
③手段的自立度



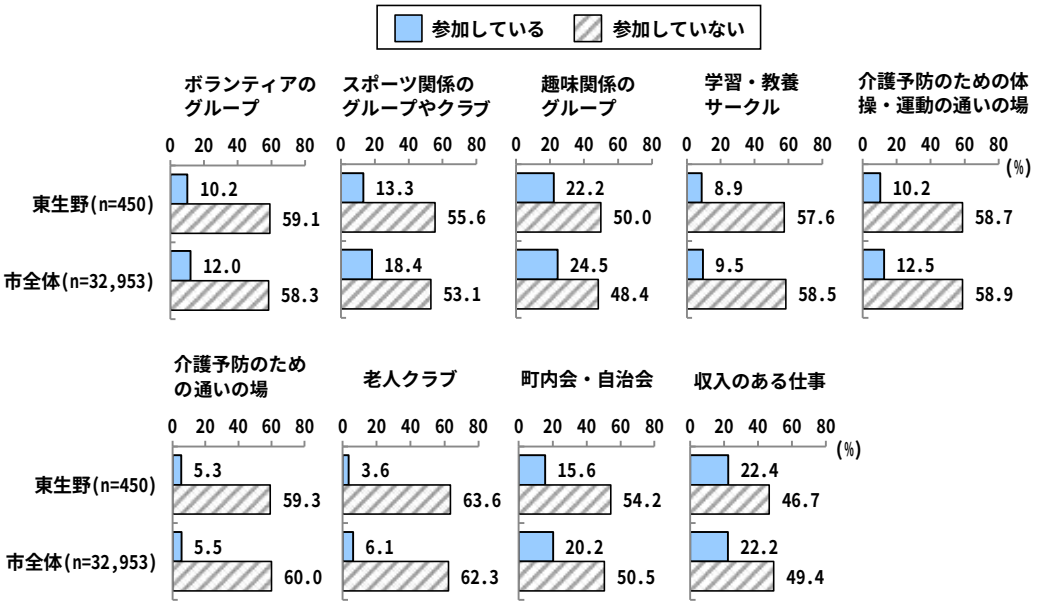
④知的能動性



⑤社会的役割

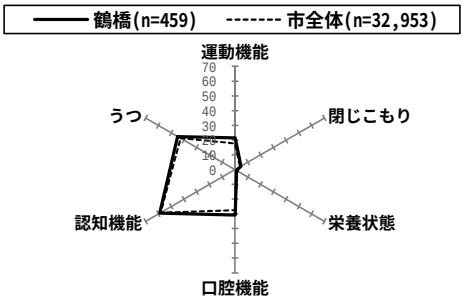


⑥社会参加の状況

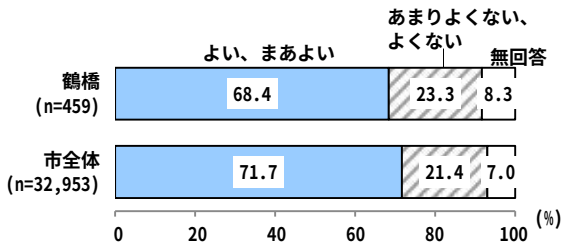


③鶴橋

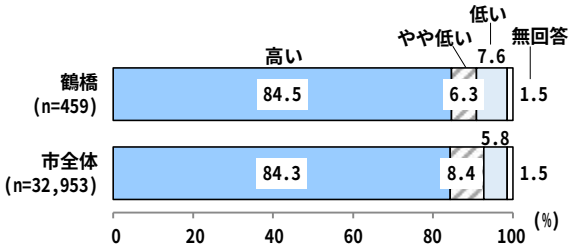
①生活機能リスク



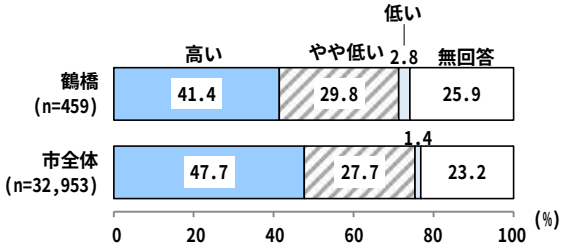
②主観的健康観



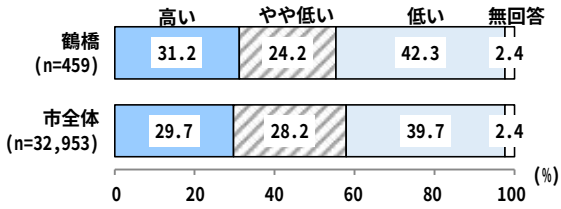
③手段的自立度



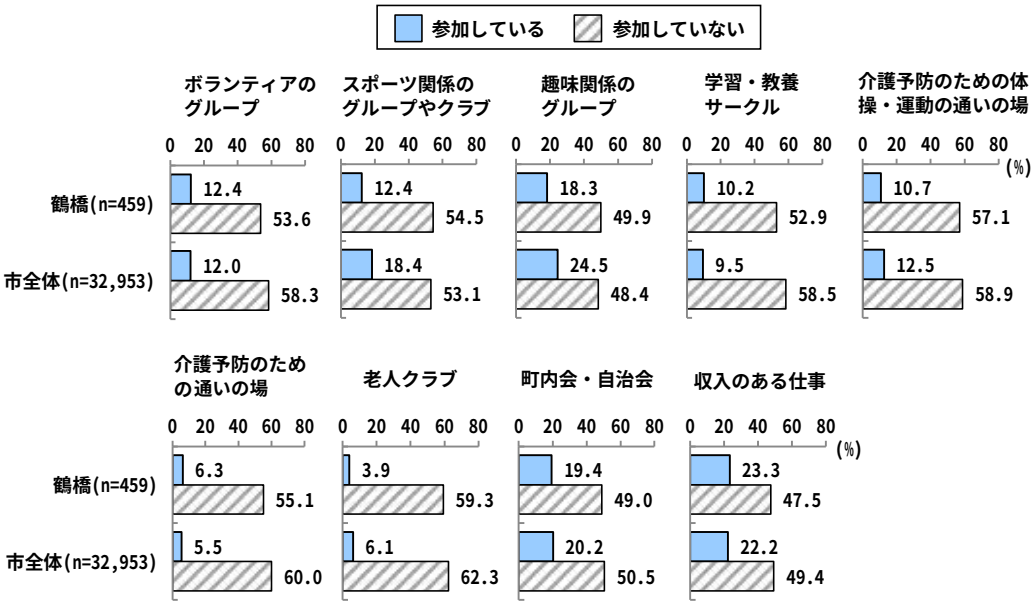
④知的能動性



⑤社会的役割

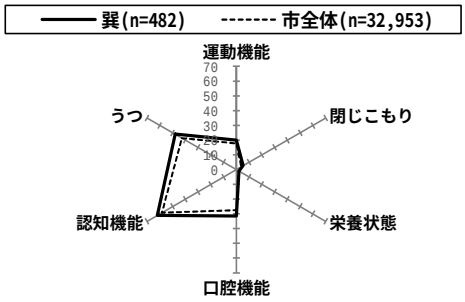


⑥社会参加の状況

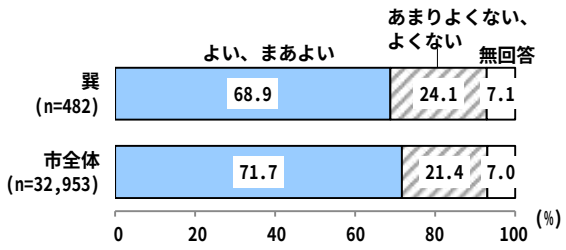


④巽

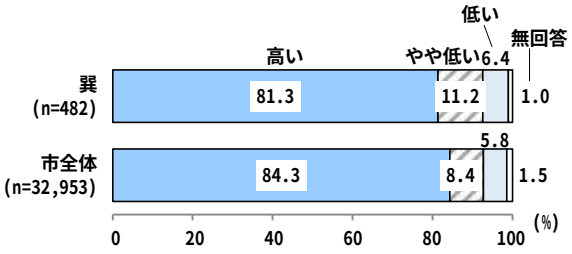
①生活機能リスク



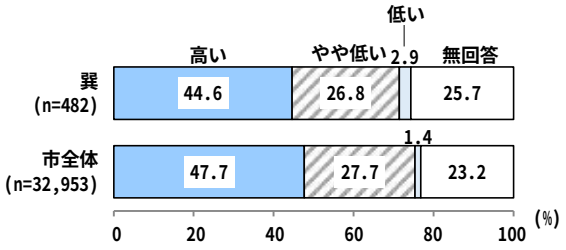
②主観的健康観



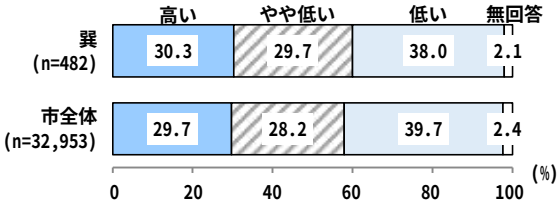
③手段的自立度



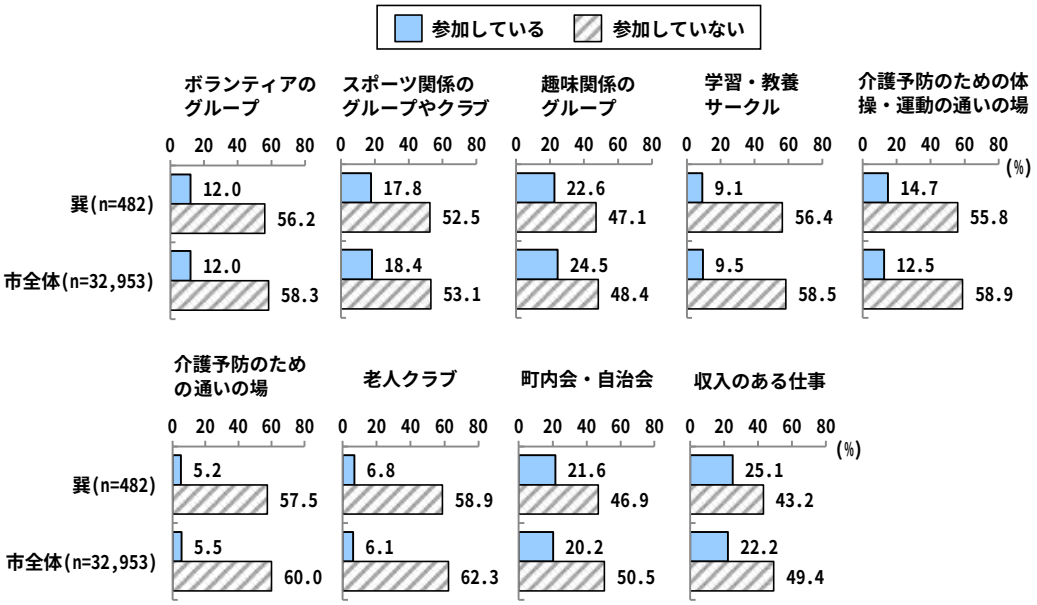
④知的能動性



⑤社会的役割



⑥社会参加の状況



16．旭区

１．旭区プロフィール

特徴	旭区は大阪市の東北部に位置し、北に淀川を望み、西に城東貨物線、南に国道 163 号線、さらに東は守口市とその境を接している。市内でも有名な千林商店街があり、また、バス路線に加え、地下鉄谷町線や京阪電鉄が都心に直結しており、交通が便利で、生活するのに静かで明るい雰囲気を持つ快適な住宅区である。主要道路交通網としては、淀川ワンドに華麗な斜張橋を映している菅原城北大橋と、その東に位置しこれも斜張橋で有名な豊里大橋が、市北部と都心、市南部を自動車交通で結ぶ要の役割を果たしている。
トピックス	旭区では、地域コミュニティ関連施設も充実し、旧京街道や江野川筋遊歩道の整備が進むとともに、公園景観との調和を図った地下式構造の旭スポーツセンターは、地域スポーツの振興の拠点としてその役割を果たしている。城北川に隣接する地域にある、区民センター、芸術創造館、図書館などを併設した複合施設は、地域コミュニティ活動の拠点として、大きな役割を担っている。さらに、急速に進展する高齢社会に対応するため、区内に包括支援センター3 か所、ブランチ（出張所）2 か所あり、高齢者の総合相談窓口を担い在宅福祉の支援を行っている。

２．統計からみる旭区の状況（基準日：令和２年 10 月１日現在）

①主要統計指標

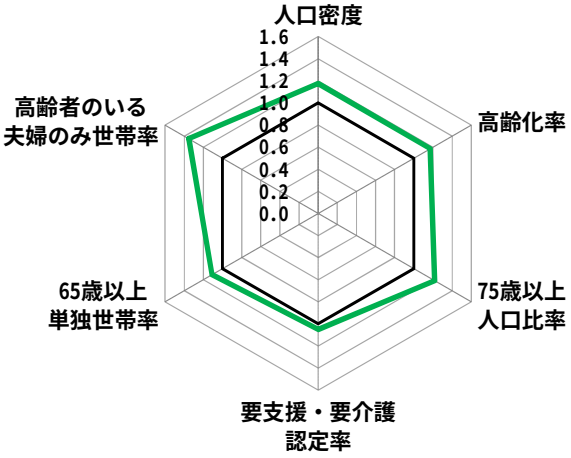
項目	データ	順位	項目	データ	順位
人口総数	90,779 人	17	面積	6.32 ㎢	17
人口密度	14,364 人/㎢	13	世帯数	45,349 世帯	18

②高齢化指標

項目	データ	順位	項目	データ	順位
65歳以上人口	27,295 人	11	高齢化率	30.1%	5
65～74歳人口	12,124 人	13	75歳以上人口	15,171 人	11
65～74歳人口比率	13.4%	5	75歳以上人口比率	16.7%	4
要介護認定者数※1	7,331 人	10	認知症高齢者数（65歳以上）※2	2,082 人	9
（認定率）	27.3%	7	認知症高齢者数（75歳以上）※2	1,850 人	9
65歳以上単独世帯数※3	7,212 世帯	11	65歳以上高齢者のいる夫婦	5,124 世帯	9
（世帯率）	16.5%	7	のみ世帯数※3（世帯率）	11.7%	3

※１：令和２年９月末における第１号被保険者（65歳以上）の認定者数
※２：認知症高齢者数は居宅のみ（令和２年４月１日現在）
※３：国勢調査「65歳以上の世帯員のいる世帯」（平成27年10月1日現在）

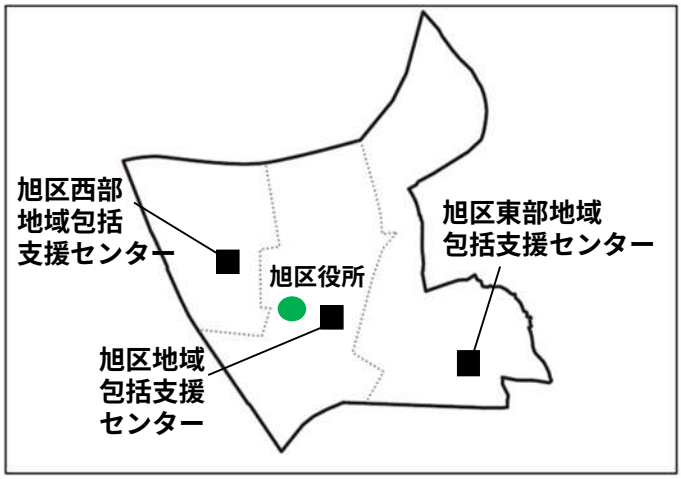
③旭区の水準（大阪市＝１とした指数）



④旭区の高齢化の特徴

- ●高齢化率は30.1%と24区中で５位である。
- ●65～74歳人口比率は5位で、75歳以上人口比率は４位である。
- ●65歳以上単独世帯率は7位、高齢者のいる夫婦のみ世帯率は3位となっている。
- ●認定率は7位である。
- ●各指標の水準が、全体的に大阪市平均に比べて高く、高齢化が進行している区域である。

３．旭区の日常生活圏域図



４．地域の状況

■「安心して住み続けられるあたたかいまち旭区」をめざし、「安心して子育てできるまち」「やさしさあふれるまち」「活力あるまち」「安全に暮らせるまち」の取組みを進めている。
■高齢者の介護予防を地域住民とともに「いきいき百歳体操」を活用し、身近な地域で継続的に実施している。
■身体を鍛え、頭を使う認知症予防プログラムを活用し、区民に働きかけている。高齢者自らも担い手となり、支援するための講座開催に取り組んでいる。

５．地域資源情報

①地域資源の状況（令和２年３月 31 日現在）

区　分	件　数	区　分	件　数
地域包括支援センター	３か所	連合町会数（H27 国勢調査）	10 団体
総合相談窓口（ブランチ）	2 か所	民生委員・児童委員	136 人
老人クラブ数	53 団体		

②主な介護保険事業者・施設の状況（令和２年９月末現在）

居宅サービス	件数	施設サービス	件数	地域密着型サービス	件数
訪問介護	80	介護老人福祉施設	6	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0
訪問入浴介護	2	介護老人保健施設	4	夜間対応型訪問介護	0
訪問看護	120	介護療養型医療施設	0	地域密着型通所介護	26
訪問リハビリテーション	108	介護予防・生活支援サービス	件数	認知症対応型通所介護	1
通所介護	24			小規模多機能型居宅介護	3
通所リハビリテーション	111	介護予防支援	3	認知症対応型共同生活介護	6
福祉用具貸与	10	介護予防型訪問サービス	76	地域密着型特定施設入居者生活介護	0
短期入所生活介護	6	生活援助型訪問サービス	65		
短期入所療養介護	4	介護予防型通所サービス	44	地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	0
特定施設入居者生活介護	3	短時間型通所サービス	31		
居宅介護支援	48	選択型通所サービス	0	複合型サービス	0

③在宅医療の状況（令和元年 10 月１日現在）

区　分	件　数	区　分	件　数
在宅療養支援病院	3 か所	在宅療養支援歯科診療所	13 か所
在宅療養支援診療所	32 か所	在宅患者訪問薬剤管理指導料	44 か所

６．その他（高齢者の支援に関する区独自の取組など）

■健康に関する取組み
健康フェスタ・食育フェスタの開催や、区民まつりにおいて「明日への健康コーナー」で生活習慣病予防及び重症化予防の啓発、また、振興町会等と連携し、不定期に健康講座を実施している。

■いきいき百歳体操の推進
いきいき百歳体操は、平成21年からスタートし、年１回「旭区いきいき百歳体操だより」を発行し、全体交流会を開催している。また、90歳以上の参加者に表彰を行い、参加者の意欲向上の取組みを行っている。

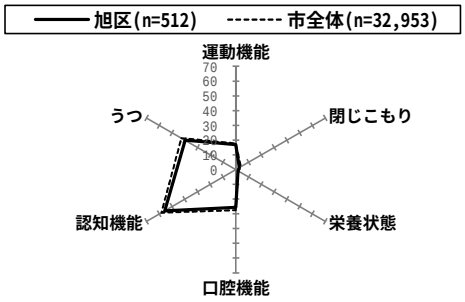
■認知症予防のための講演会・普及・啓発の実施
平成26年から認知症予防のための市民啓発として認知症予防講演会、自主的な認知症予防活動支援のための地域型認知症予防プログラム等を実施している。

■高齢者への歯科健康診査事業
旭区歯科医師会と協働で寝たきり高齢者への歯科健康診査事業を平成29年10月からスタートし、実施している。

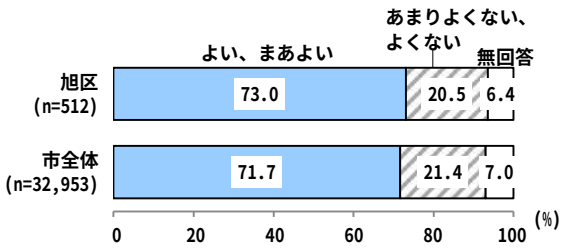
７．日常生活圏域ニーズ調査結果

①旭区

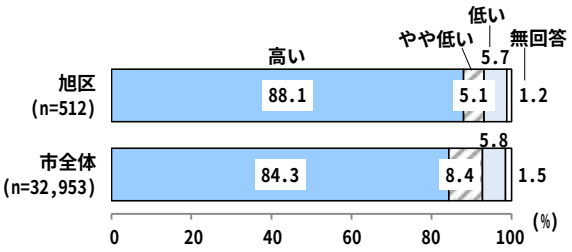
①生活機能リスク



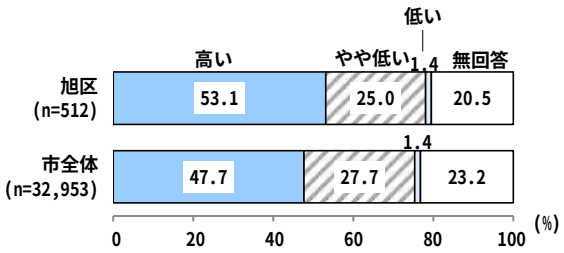
②主観的健康観



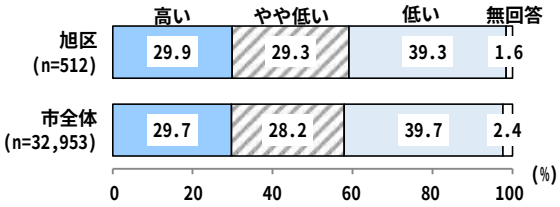
③手段的自立度



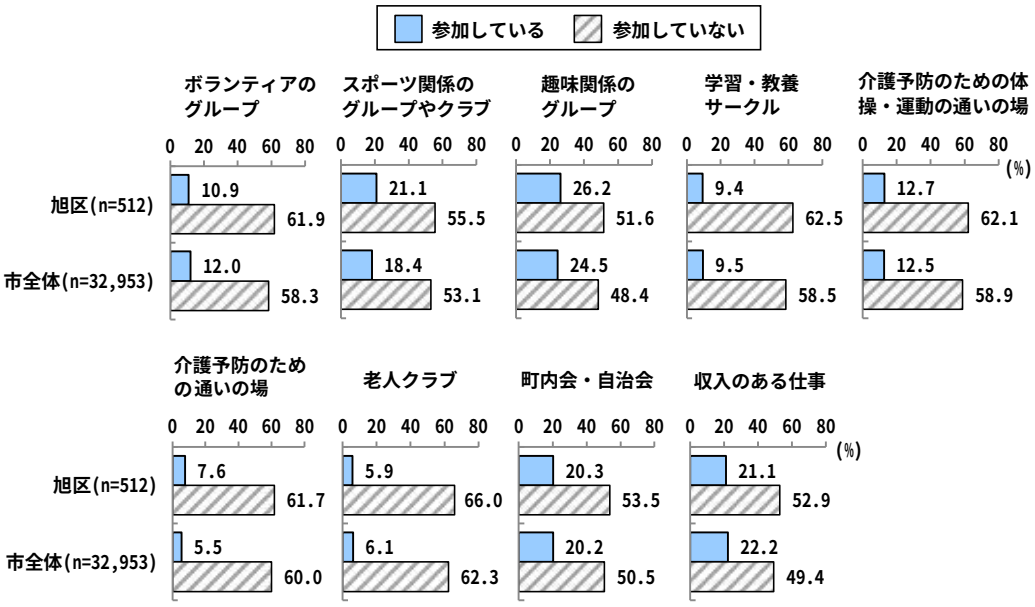
④知的能動性



⑤社会的役割

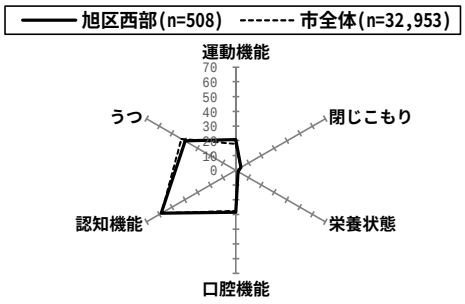


⑥社会参加の状況

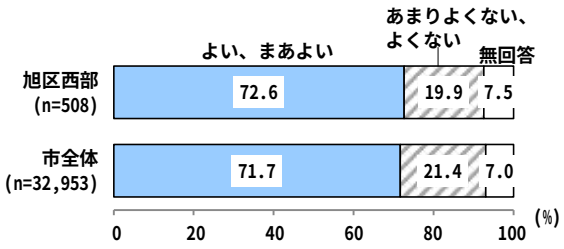


②旭区西部

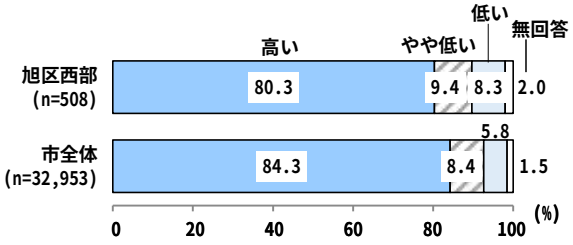
①生活機能リスク



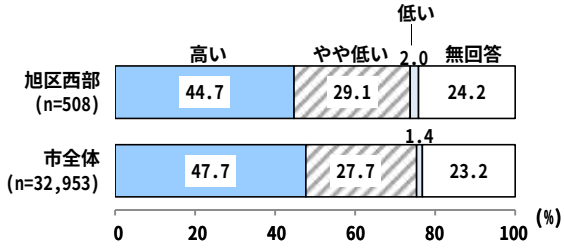
②主観的健康観



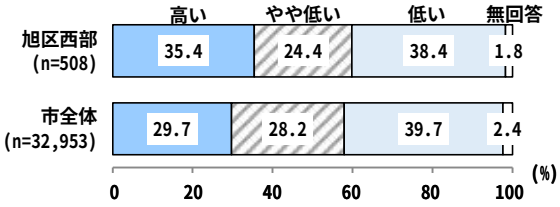
③手段的自立度



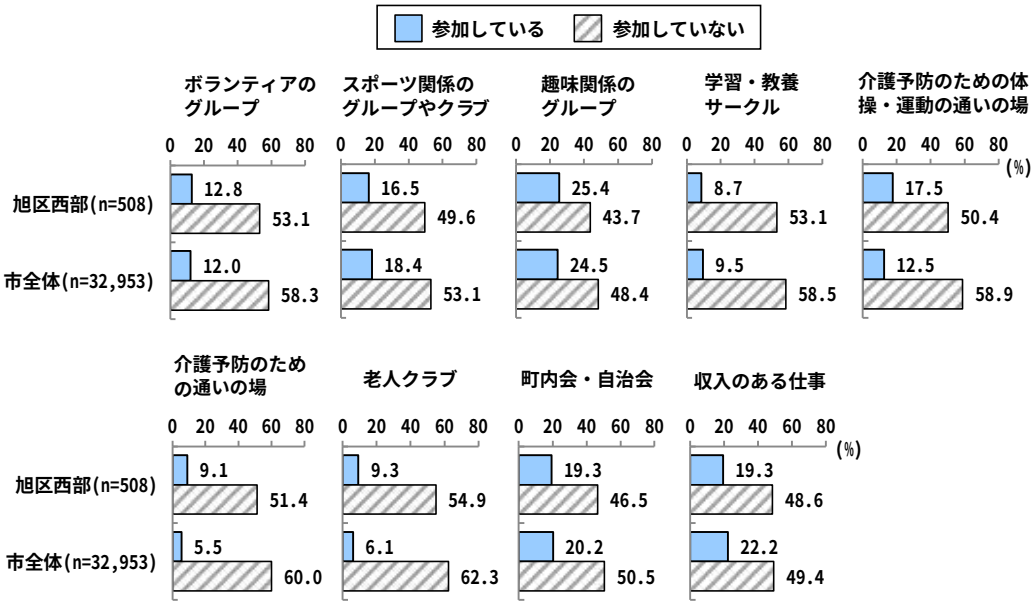
④知的能動性



⑤社会的役割

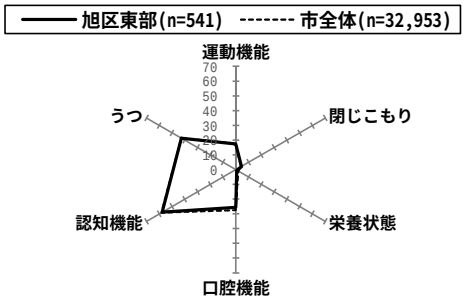


⑥社会参加の状況

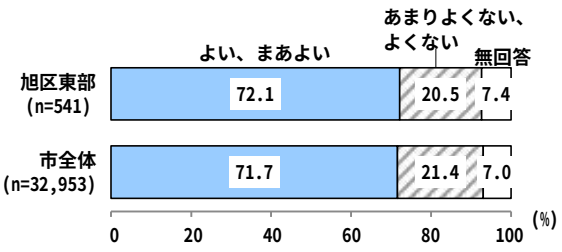


③旭区東部

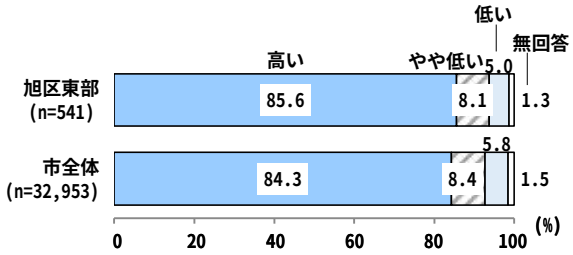
①生活機能リスク



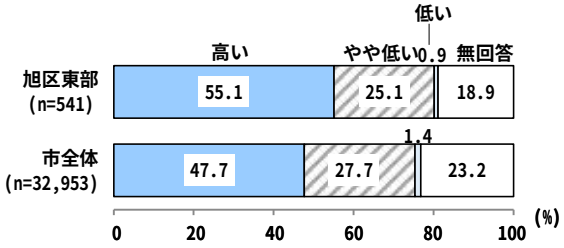
②主観的健康観



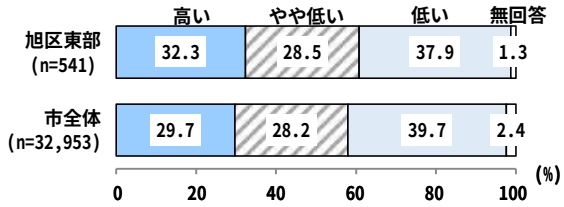
③手段的自立度



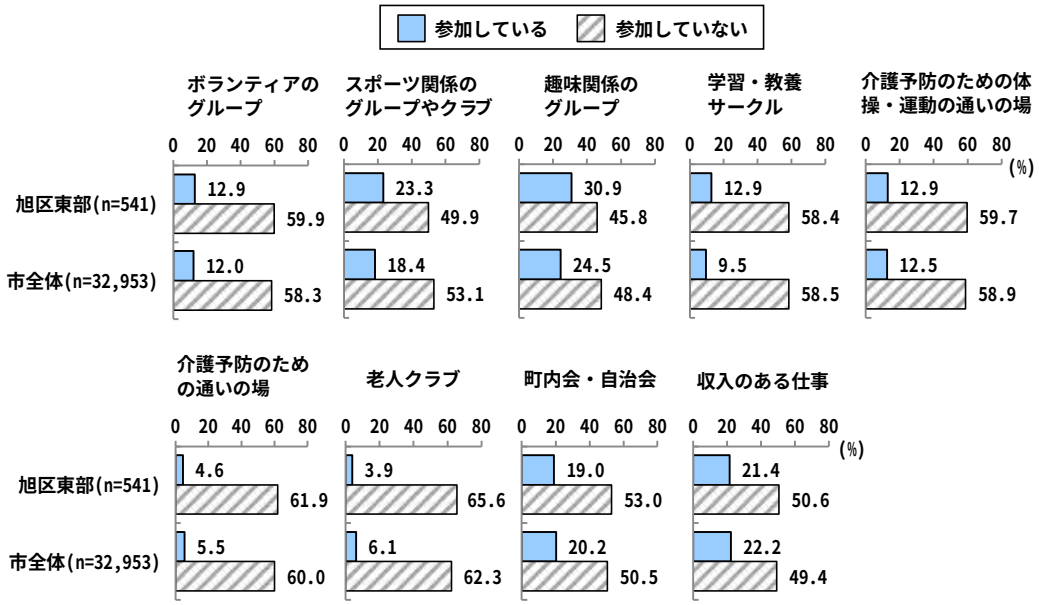
④知的能動性



⑤社会的役割



⑥社会参加の状況



17．城東区

１．城東区プロフィール

特徴	城東区は大阪城の東に位置し、地勢的には東部の低湿地帯である旧大和川流域に属し、標高 1～2m と区域全般に低く平坦で、東西に寝屋川と第二寝屋川が流れ、南北に城北川、平野川、平野川分水路が通じるなど、河川が多く、他区にない特徴を示している。鉄道交通網では Osaka Metro 谷町線・長堀鶴見緑地線・今里筋線・中央線、JR 学研都市線・おおさか東線、京阪電鉄の各鉄道が区内を走っている。 近年では区内各地区で工場等の転出跡地などに高層集合住宅や大規模小売店が相次いで建設されるなど、生活・交通至便な住宅地へと変化している。
トピックス	城東区では、今後も、公共交通機関の一層の充実、水辺環境整備、緑化の推進などによって、職・住のバランスのとれた区として発展が期待される。区の目標は「城東区に住んでよかったと思えるまち　～人が輝き活気にあふれ、まちに愛着があること～」であり、人と人がふれあい、きずなを大切にし、地域全体で支え合う**「温かいまち」**、住民のみなさん一人ひとりが考え、つくりあげる**「住民主体のまち」**、誰もが穏やかに日々を過ごすことができる**「安心なまち」**をめざしている。

２．統計からみる城東区の状況（基準日：令和２年 10 月１日現在）

①主要統計指標

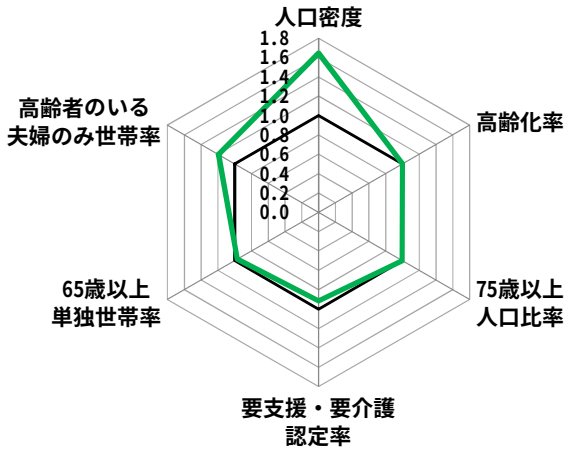
項目	データ	順位	項目	データ	順位
人口総数	168,129 人	4	面積	8.38 ㎢	12
人口密度	20,063 人/㎢	2	世帯数	81,577 世帯	5

②高齢化指標

項目	データ	順位	項目	データ	順位
65歳以上人口	43,167 人	3	高齢化率	25.7%	11
65～74歳人口	20,155 人	5	75歳以上人口	23.012 人	5
65～74歳人口比率	12.0%	13	75歳以上人口比率	13.7%	13
要介護認定者数※1	10,306 人	7	認知症高齢者数（65歳以上）※2	2,188 人	7
（認定率）	23.8%	15	認知症高齢者数（75歳以上）※2	1,957 人	7
65歳以上単独世帯数※3	10,967 世帯	7	65歳以上高齢者のいる夫婦のみ世帯数※3（世帯率）	7,855 世帯	2
（世帯率）	14.4%	12		10.3%	7

※1：令和２年９月末における第１号被保険者（65歳以上）の認定者数
※2：認知症高齢者数は居宅のみ（令和２年４月1日現在）
※3：国勢調査「65歳以上の世帯員のいる世帯」（平成27年10月1日現在）

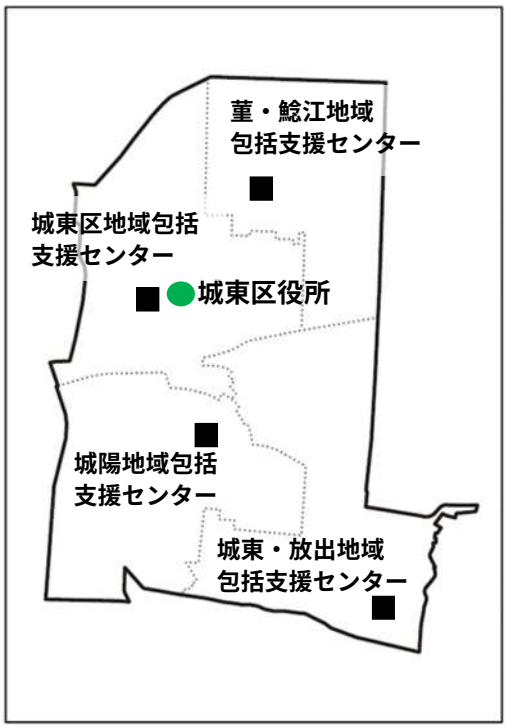
③城東区の水準（大阪市＝１とした指数）



④城東区の高齢化の特徴

●高齢化率は25.7%と大阪市平均に近く、11位である。
●65歳以上単独世帯率は12位と平均的であるが、高齢者のいる夫婦のみ世帯率は7位となっている。
●認定率は15位と低い方である。
●高齢化率、75歳以上人口比率の水準は平均的な一方で、高齢者のいる夫婦のみ世帯率が高い地域となっている。

３．城東区の日常生活圏域図



４．地域の状況

■地域における見守りの取組みや、地域包括ケアシステムの構築については、地域や関係機関と連携を深めながら順調に進捗しており、めざすべき将来像の実現に向け、取組みを進めている。
■区内の医療・介護関係機関が相互に顔の見える関係を築くため、個別事例を踏まえ各職種がそれぞれの役割や職種間連携方法について協議する研修会を企画・実施している。
■区民を対象に、地域包括ケアシステムに関する意識啓発を図るための講演会を企画・実施している。

５．地域資源情報

①地域資源の状況（令和２年３月 31 日現在）

区　分	件　数
地域包括支援センター	４か所
総合相談窓口（ブランチ）	２か所
老人クラブ数	55 団体
連合町会数（H27 国勢調査）	16 団体
民生委員・児童委員	210 人

②主な介護保険事業者・施設の状況（令和２年９月末現在）

居宅サービス	件数	施設サービス	件数	地域密着型サービス	件数
訪問介護	89	介護老人福祉施設	6	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1
訪問入浴介護	1	介護老人保健施設	4	夜間対応型訪問介護	1
訪問看護	169	介護療養型医療施設	0	地域密着型通所介護	25
訪問リハビリテーション	149	介護予防・生活支援サービス	件数	認知症対応型通所介護	4
通所介護	17			小規模多機能型居宅介護	2
通所リハビリテーション	164	介護予防支援	4	認知症対応型共同生活介護	11
福祉用具貸与	10	介護予防型訪問サービス	87	地域密着型特定施設入居者生活介護	0
短期入所生活介護	6	生活援助型訪問サービス	77		
短期入所療養介護	4	介護予防型通所サービス	38	地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	0
特定施設入居者生活介護	4	短時間型通所サービス	21		
居宅介護支援	66	選択型通所サービス	1	複合型サービス	1

③在宅医療の状況（令和元年 10 月１日現在）

区　分	件　数	区　分	件　数
在宅療養支援病院	２か所	在宅療養支援歯科診療所	18 か所
在宅療養支援診療所	58 か所	在宅患者訪問薬剤管理指導料	74 か所

６．その他（高齢者の支援に関する区独自の取組など）

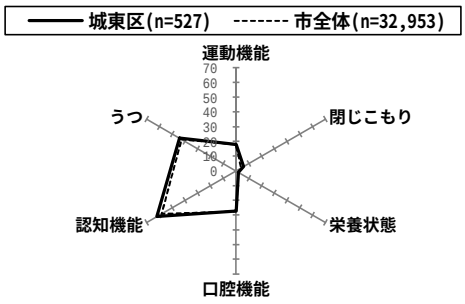
■「いきいき・かみかみ・しゃきしゃき百歳体操」推進の取組み

いきいき・かみかみ・しゃきしゃき百歳体操サポーター講座（4回）といきいき・かみかみ・しゃきしゃき百歳体操サポーターパワーアップ講座（年２回）を実施し、新規拠点開拓や普及促進に関する取組を行っている。また、毎年開催している健康まつり（健康展）において90歳以上の継続参加者を表彰する等モチベーションの維持・向上の取組みを行っている。また、各拠点継続支援のため、技術支援や咀嚼力判定、出席手帳配付、「いきいき百歳体操通信」発行の取組みを行っている。

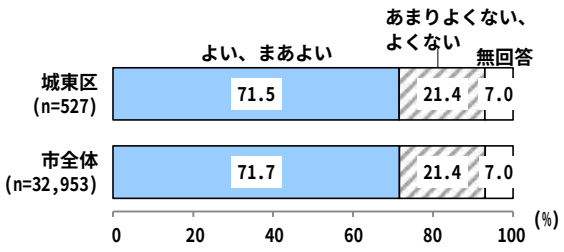
7．日常生活圏域ニーズ調査結果

①城東区

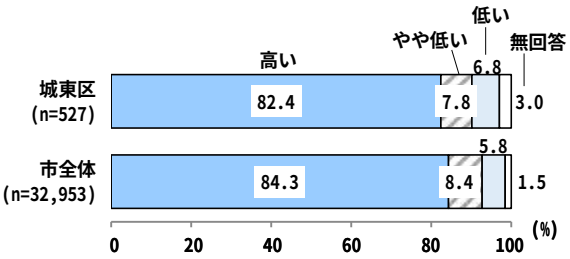
①生活機能リスク



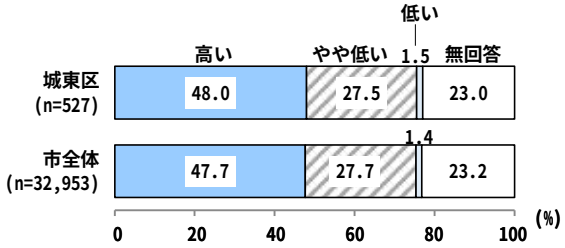
②主観的健康観



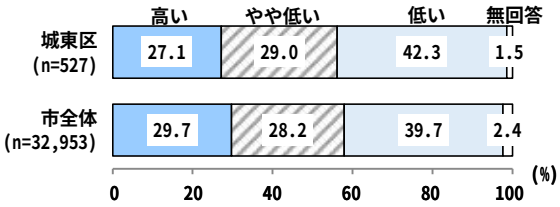
③手段的自立度



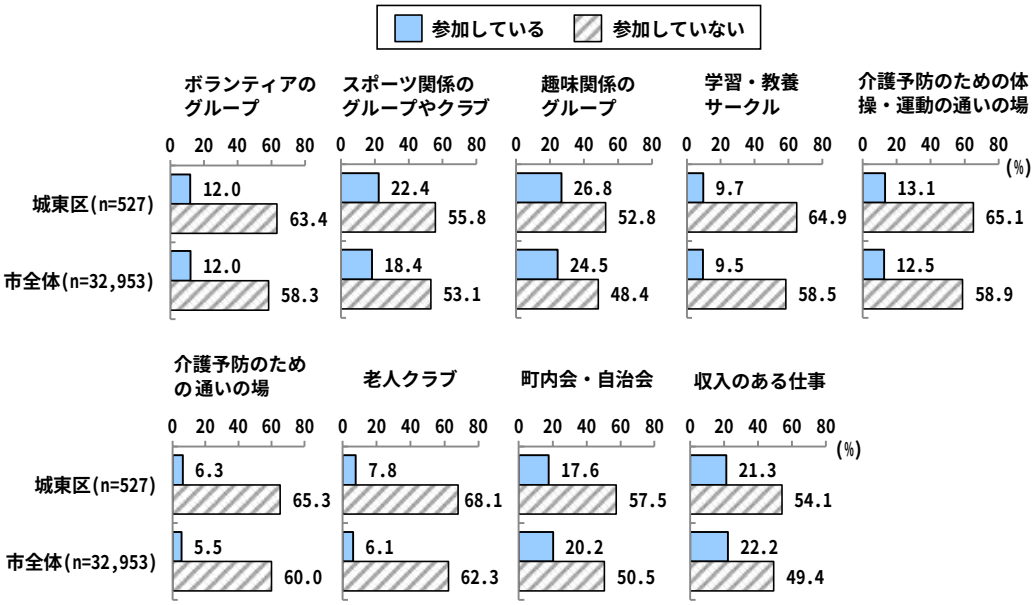
④知的能動性



⑤社会的役割

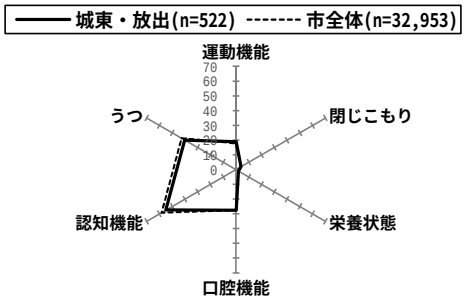


⑥社会参加の状況

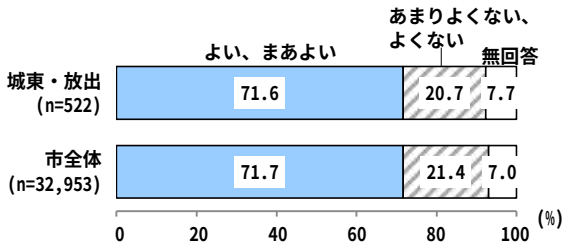


②城東・放出

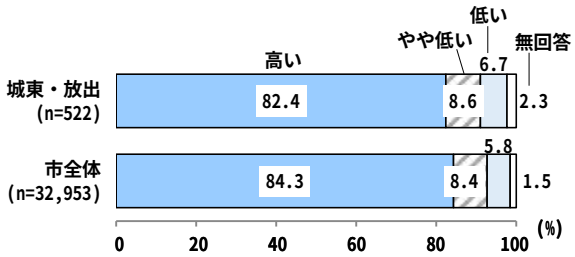
①生活機能リスク



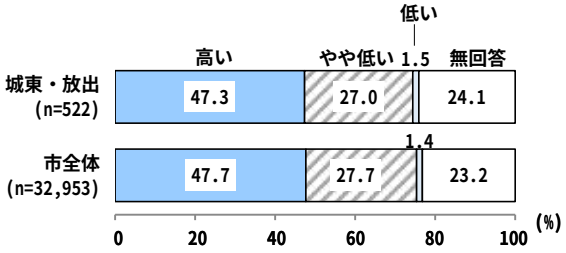
②主観的健康観



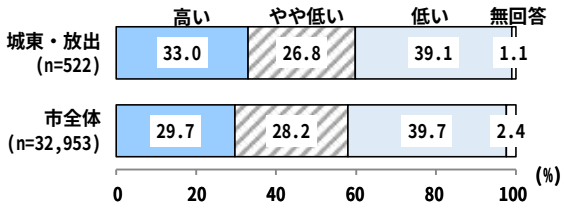
③手段的自立度



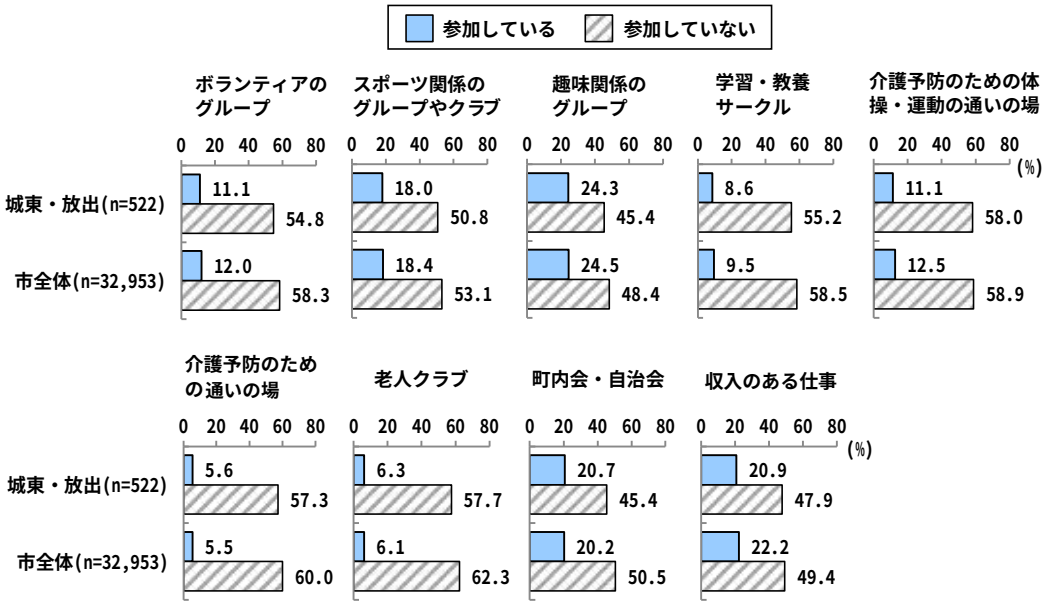
④知的能動性



⑤社会的役割

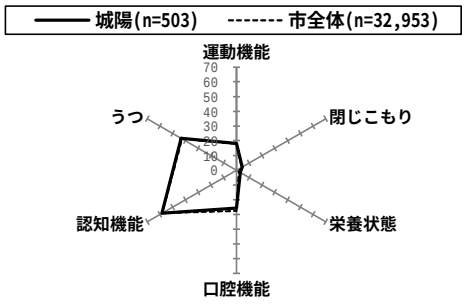


⑥社会参加の状況

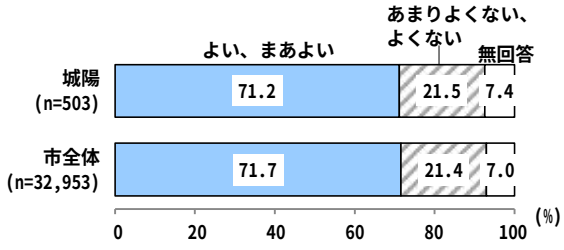


③城陽

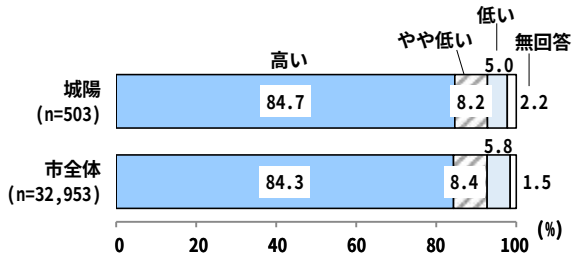
①生活機能リスク



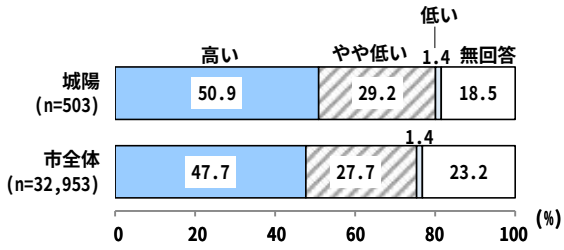
②主観的健康観



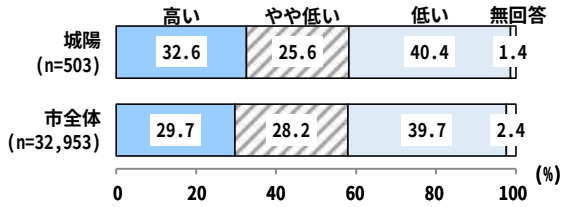
③手段的自立度



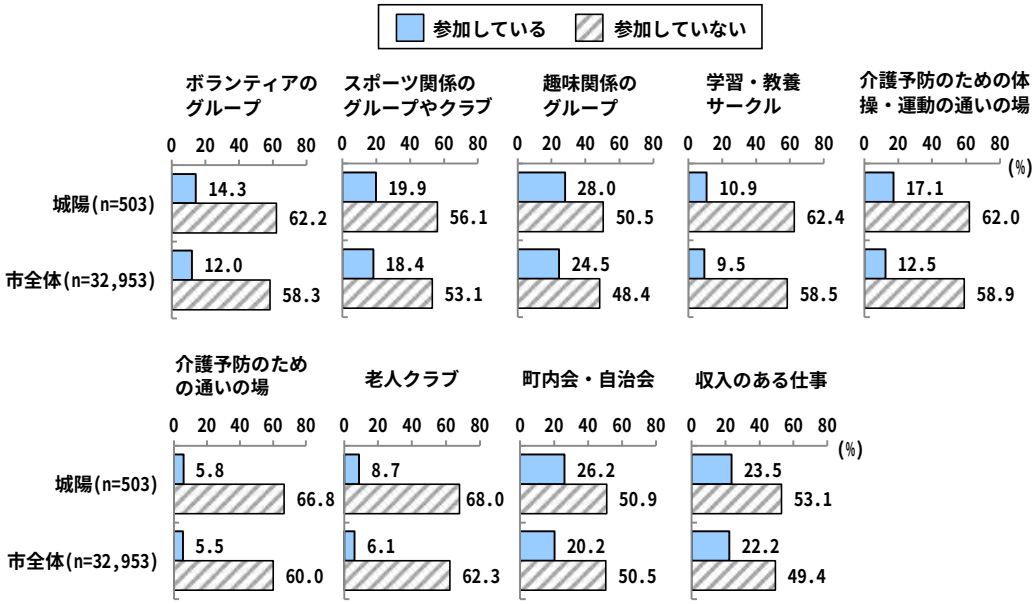
④知的能動性



⑤社会的役割

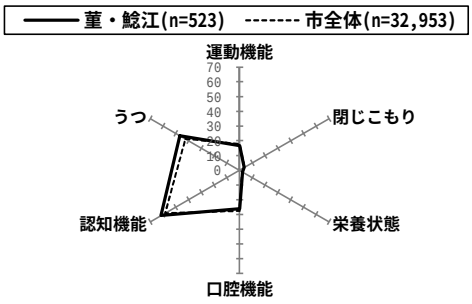


⑥社会参加の状況

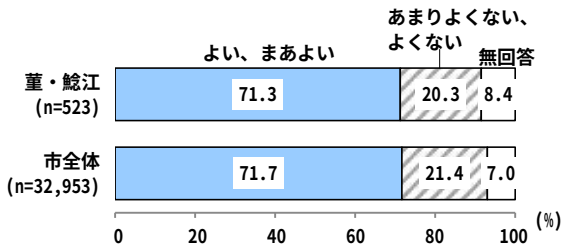


④菫・鯰江

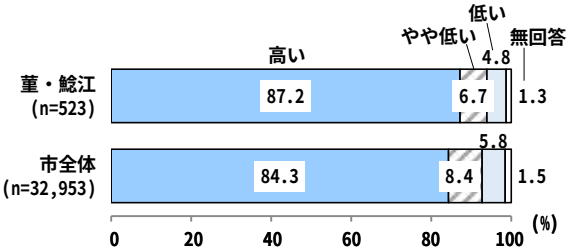
①生活機能リスク



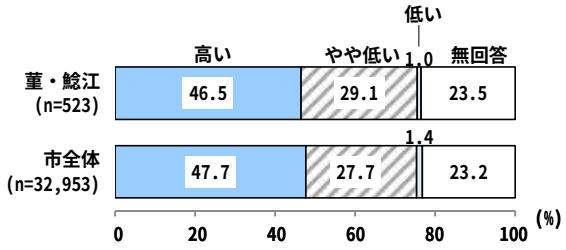
②主観的健康観



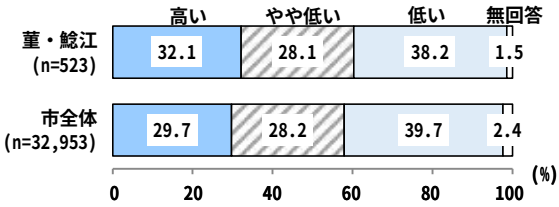
③手段的自立度



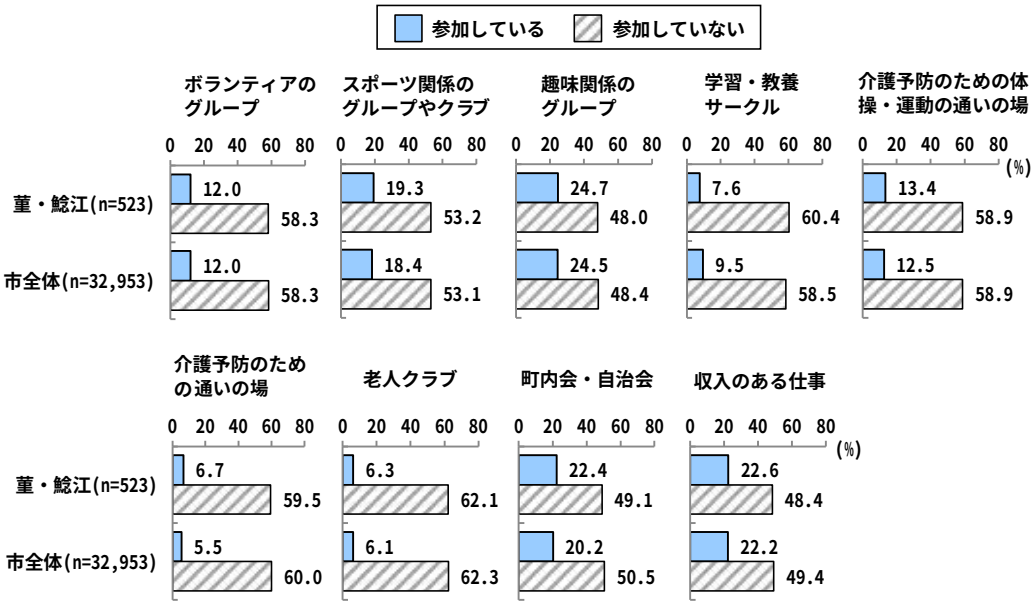
④知的能動性



⑤社会的役割



⑥社会参加の状況



18．鶴見区

１．鶴見区プロフィール

特徴	鶴見区は大阪市の最東部に位置し、西を城東区、北西を旭区、北を守口市と接し、北東を門真市、東を大東市、南を東大阪市と城東区に接している。西部は新旧の住宅地であり、中央部には工場跡地への住宅建設が進み、住・商混在地域となっている。寝屋川以南は、放出駅を中心に発展した古くからの住・商・工の混在区域である。花と緑の博覧会が鶴見緑地で１９９０年に開催されてから３０年を経過し、公共交通や幹線道路の整備が進み、近年もＪＲおおさか東線が全線開通するなど近隣地域とのアクセスが向上した。
トピックス	鶴見緑地では「咲くやこの花館」「国際庭園」をはじめ、豊かな自然の中でスポーツ・レクリエーション・文化活動等幅広く利用できる市民の憩いの場として、「鶴見スポーツセンター」「鶴見緑地プール」等が整備されている。

２．統計からみる鶴見区の状況（基準日：令和２年 10 月１日現在）

①主要統計指標

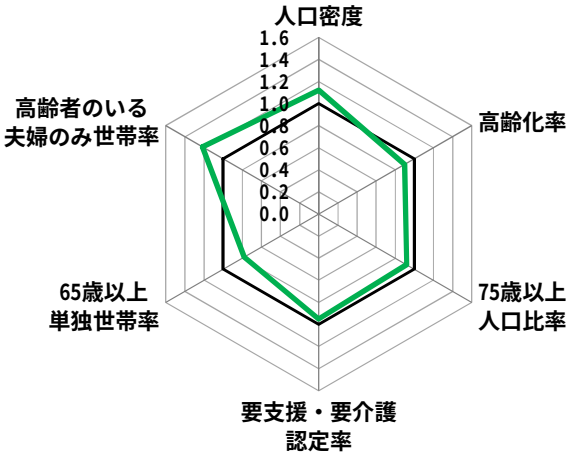
項目	データ	順位	項目	データ	順位
人口総数	111,744 人	10	面積	8.17 ㎢	14
人口密度	13,677 人/㎢	14	世帯数	48,645 世帯	16

②高齢化指標

項目	データ	順位	項目	データ	順位
65歳以上人口	25,742 人	13	高齢化率	23.0%	18
65～74歳人口	11,632 人	15	75歳以上人口	14,110 人	12
65～74歳人口比率	10.4%	18	75歳以上人口比率	12.6%	16
要介護認定者数※1	6,279 人	12	認知症高齢者数（65歳以上）※2	1,519 人	13
（認定率）	24.7%	13	認知症高齢者数（75歳以上）※2	1,377 人	12
65歳以上単独世帯数※3	5,374 世帯	18	65歳以上高齢者のいる夫婦のみ世帯数※3（世帯率）	4,869 世帯	11
（世帯率）	11.6%	18		10.5%	6

※１：令和２年９月末における第１号被保険者（65歳以上）の認定者数
※２：認知症高齢者数は居宅のみ（令和２年４月1日現在）
※３：国勢調査「65歳以上の世帯員のいる世帯」（平成27年10月1日現在）

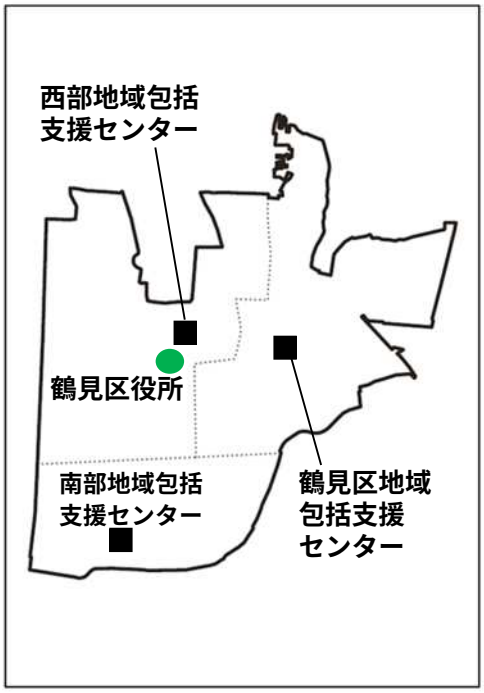
③鶴見区の水準（大阪市＝１とした指数）



④鶴見区の高齢化の特徴

●高齢化率は23.0%と24区中18位である。
●65～74歳人口比率は18位、75歳以上人口比率は16位である。
●65歳以上単独世帯率が18位の一方、高齢者のいる夫婦のみ世帯率は6位である。
●認定率は13位で、市平均を若干下回る。
●人口からみた高齢化水準は市平均を下回るが、高齢者のいる世帯水準をみると、単独は低く、夫婦のみ世帯率は高い地域である。

３．鶴見区の日常生活圏域図



４．地域の状況

■こどもから高齢者まで、鶴見区で暮らすすべての人が地域や身近な人々と「つながり、ふれあい、みまもり、支えあう、だれもが安心して暮らせるまち」の実現を目指している。
■住民主体の地域福祉ネットワーク活動推進事業を進め、地域住民からの相談受付や、生活課題等の解決につなげている。
■地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業と連携を図り、要援護者の把握や日頃からの見守り活動の強化を図っている。

５．地域資源情報

①地域資源の状況（令和２年３月 31 日現在）

区　分	件　数
地域包括支援センター	３か所
総合相談窓口（ブランチ）	２か所
老人クラブ数	19 団体
連合町会数（H27 国勢調査）	12 団体
民生委員・児童委員	119 人

②主な介護保険事業者・施設の状況（令和２年９月末現在）

居宅サービス	件数	施設サービス	件数	地域密着型サービス	件数
訪問介護	56	介護老人福祉施設	8	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0
訪問入浴介護	3	介護老人保健施設	4	夜間対応型訪問介護	0
訪問看護	93	介護療養型医療施設	0	地域密着型通所介護	15
訪問リハビリテーション	79	介護予防・生活支援サービス	件数	認知症対応型通所介護	1
通所介護	16			小規模多機能型居宅介護	3
通所リハビリテーション	83	介護予防支援	3	認知症対応型共同生活介護	7
福祉用具貸与	7	介護予防型訪問サービス	55	地域密着型特定施設入居者生活介護	0
短期入所生活介護	9	生活援助型訪問サービス	45		
短期入所療養介護	5	介護予防型通所サービス	29	地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	1
特定施設入居者生活介護	7	短時間型通所サービス	14		
居宅介護支援	54	選択型通所サービス	3	複合型サービス	1

③在宅医療の状況（令和元年 10 月１日現在）

区　分	件　数	区　分	件　数
在宅療養支援病院	３か所	在宅療養支援歯科診療所	９か所
在宅療養支援診療所	20 か所	在宅患者訪問薬剤管理指導料	41 か所

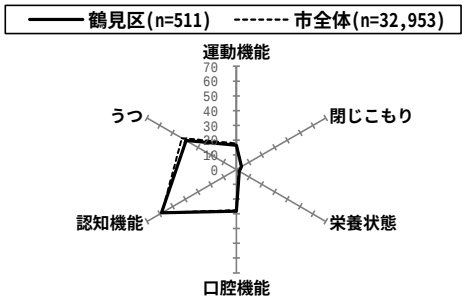
６．その他（高齢者の支援に関する区独自の取組など）

■住民主体の地域福祉ネットワーク活動推進事業
　住民の身近な相談窓口として各地域に地域福祉コーディネーター(つなげ隊)を配置し、そのつなげ隊への助言等の支援や情報提供、地域有償ボランティア事業「あいまち」を運営するコミュニティソーシャルワーカーを配置するとともに、地域福祉活動への支援を行う。また、地域住民が主体となって取り組む地域福祉活動の推進や、地域ネットワークの構築、活性化を図りつつ、地域福祉活動の担い手の発掘・育成にも努めている。本事業を推進するにあたっては、「地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業」と連携を図り、要援護者の把握や日頃からの見守り活動の強化に努めるとともに、保健師や生活支援コーディネーターとも連携し、いきいき百歳体操をはじめととした集いの場作りも進めている。

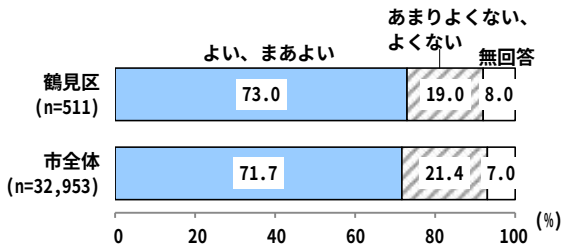
7．日常生活圏域ニーズ調査結果

①鶴見区

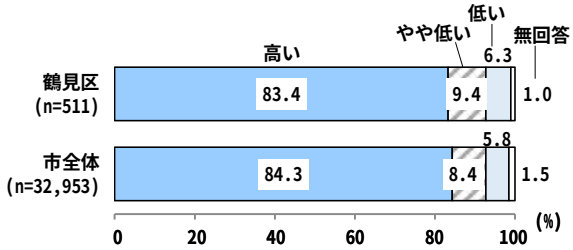
①生活機能リスク



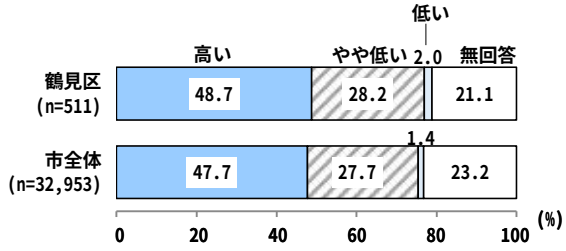
②主観的健康観



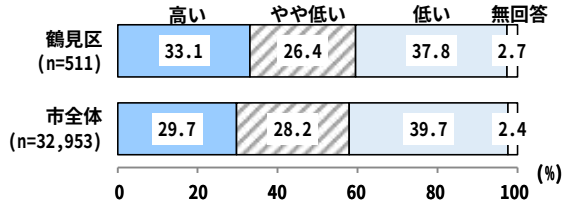
③手段的自立度



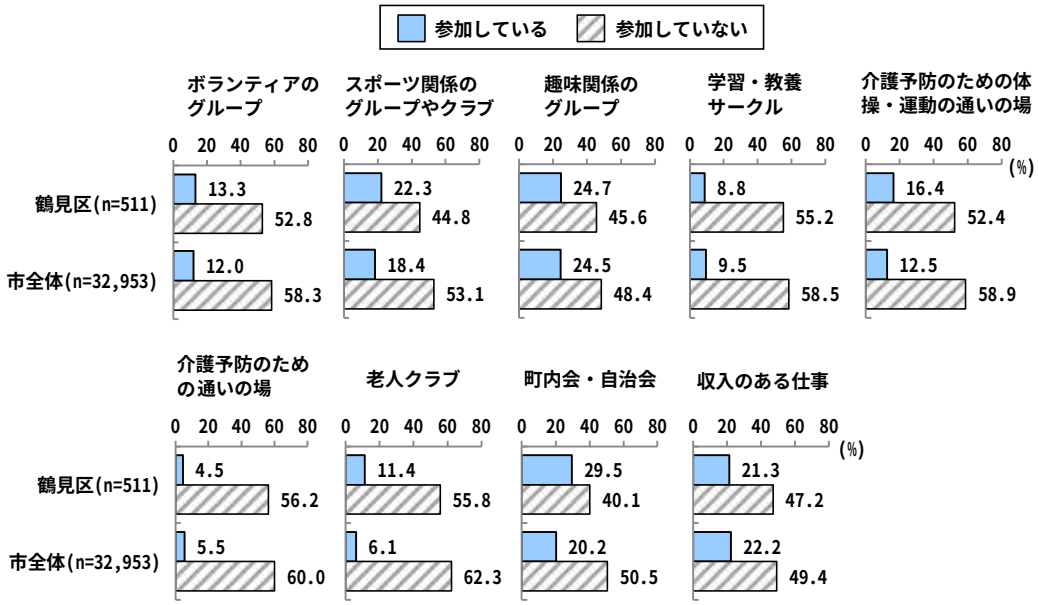
④知的能動性



⑤社会的役割

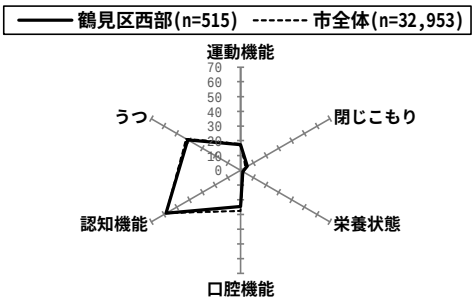


⑥社会参加の状況

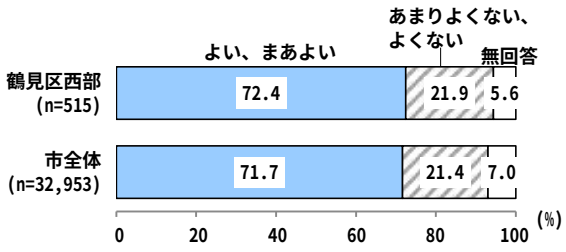


②鶴見区西部

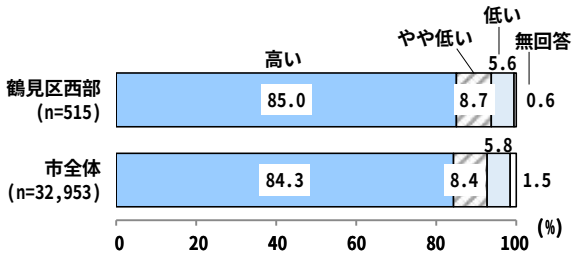
①生活機能リスク



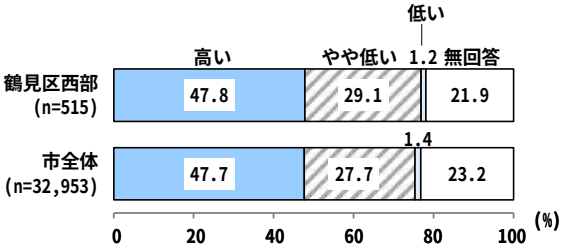
②主観的健康観



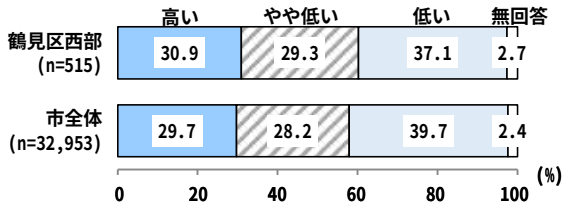
③手段的自立度



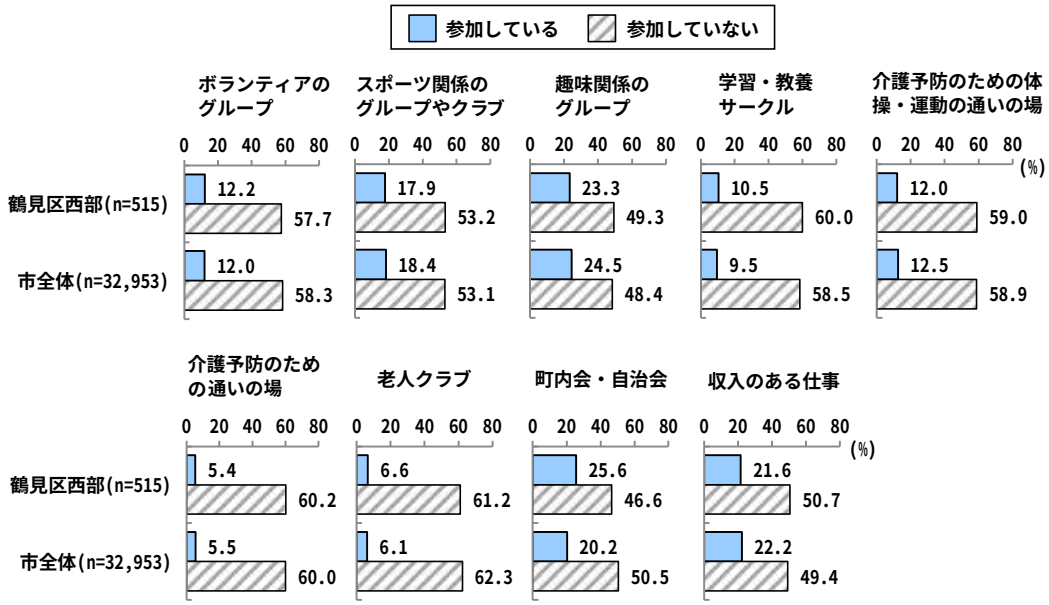
④知的能動性



⑤社会的役割

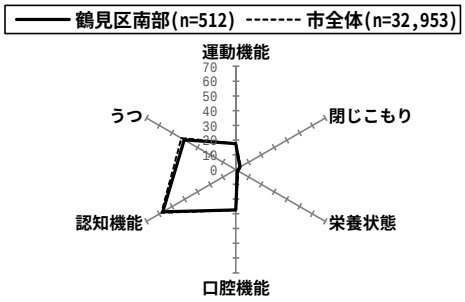


⑥社会参加の状況

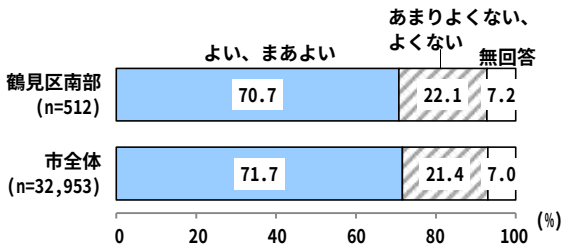


③鶴見区南部

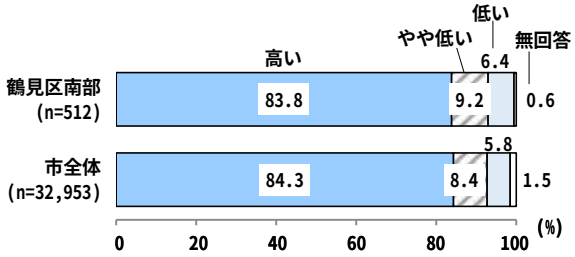
①生活機能リスク



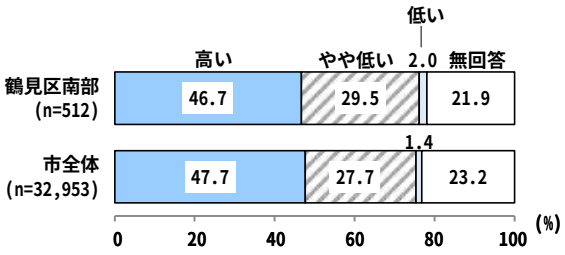
②主観的健康観



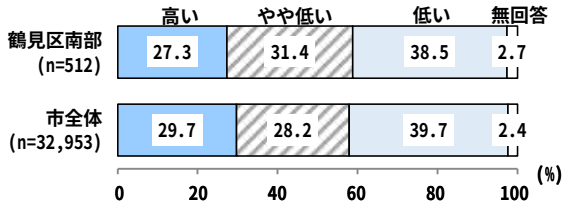
③手段的自立度



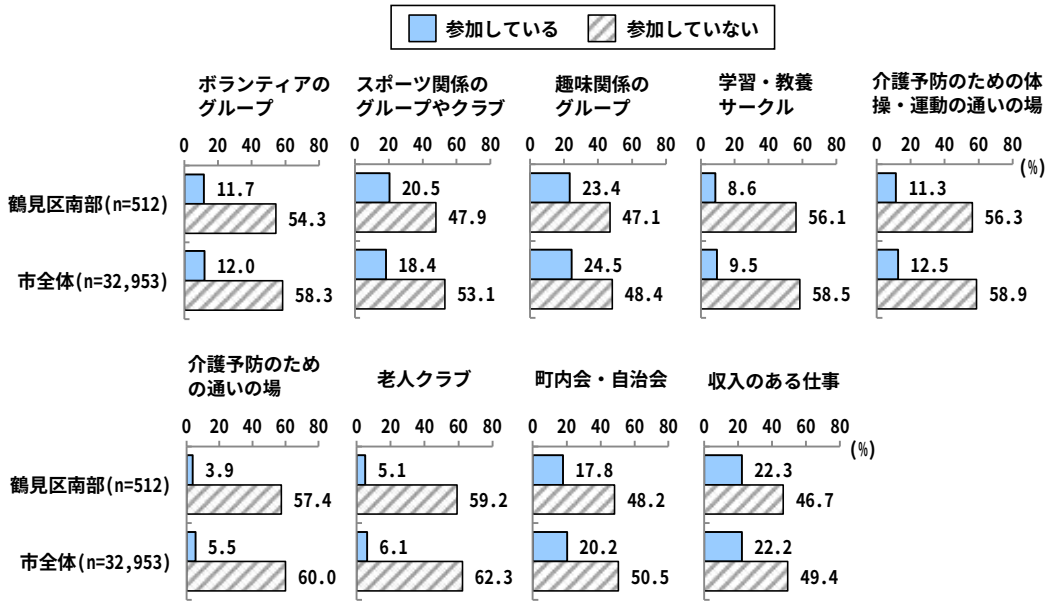
④知的能動性



⑤社会的役割



⑥社会参加の状況



19．阿倍野区

１．阿倍野区プロフィール

特徴	阿倍野区は上町台地の南の高台に位置し、古くから大阪南部の交通の要衝として栄え、名所・史跡も多く、住宅・商業の町として発展してきた。とりわけ阿倍野橋・天王寺は、大阪の南の玄関口として各種の交通機関が集結し、多数の乗降客が行き交うターミナルである。周辺一帯は、活気のある商業地区を形成しており、阿倍野再開発事業により、平成23年4月には大阪府内最大級のショッピングセンターがオープンした。区域全体としては、比較的閑静な住宅地として発展してきた。
トピックス	誰もが住みたい、住み続けたいまち「あべの」の実現に向けて、区将来ビジョンの１つに「誰もが自分らしく幸せに暮らし続けられるまち」を掲げ、関係機関等と連携し、地域福祉や健康づくりに関する課題解決に取り組んでいる。

２．統計からみる阿倍野区の状況（基準日：令和２年 10 月１日現在）

①主要統計指標

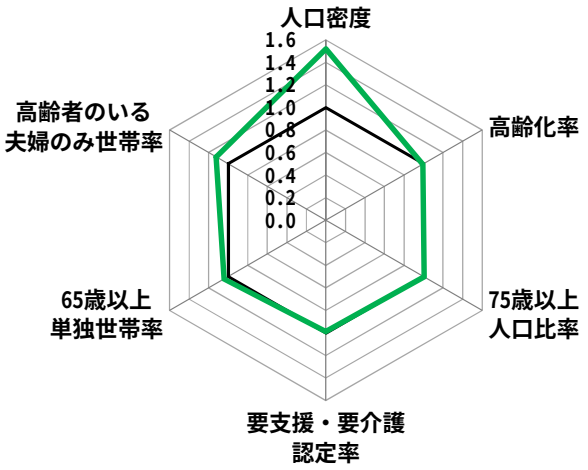
項目	データ	順位	項目	データ	順位
人口総数	110,883 人	11	面積	5.98 ㎢	19
人口密度	18,542 人/㎢	3	世帯数	53,146 世帯	15

②高齢化指標

項目	データ	順位	項目	データ	順位
65歳以上人口	28,253 人	10	高齢化率	25.5%	13
65～74歳人口	12,921 人	11	75歳以上人口	15,331 人	10
65～74歳人口比率	11.7%	16	75歳以上人口比率	13.8%	11
要介護認定者数※1	7,154 人	11	認知症高齢者数（65歳以上）※2	1,681 人	11
（認定率）	25.6%	10	認知症高齢者数（75歳以上）※2	1,568 人	11
65歳以上単独世帯数※3	7,780 世帯	10	65歳以上高齢者のいる夫婦のみ世帯数※3（世帯率）	4,880 世帯	10
（世帯率）	15.5%	9		9.7%	11

※1：令和２年９月末における第１号被保険者（65歳以上）の認定者数
※2：認知症高齢者数は居宅のみ（令和２年４月1日現在）
※3：国勢調査「65歳以上の世帯員のいる世帯」（平成27年10月1日現在）

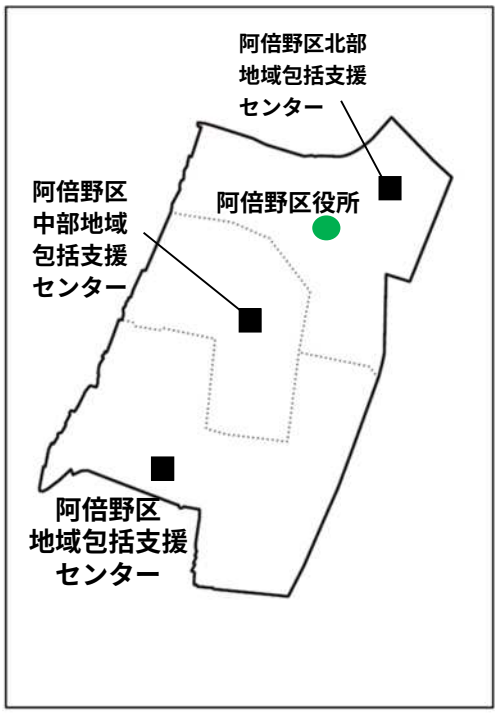
③阿倍野区の水準（大阪市＝１とした指数）



④阿倍野区の高齢化の特徴

●高齢化率は25.5%で24区中13位と中位にある。
●65～74歳人口比率が16位に対し、75歳以上人口比率は11位と差がある。
●65歳以上単独世帯率は9位、高齢者のいる夫婦のみ世帯率は11位であり、ともに大阪市水準をやや上回る。
●高齢化率が中位のわりに、他の指標は平均に比べ若干高く、世帯の高齢化水準がやや進んでいる区域である。

３．阿倍野区の日常生活圏域図



４．地域の状況

■地域福祉コーディネーターを軸として、地域の要援護者の把握や見守りボランティア活動を継続的に取り組み、世代を超えて相互に支え合う体制づくりがなされている。
■高齢者の虐待防止や成年後見制度について周知啓発をしてきたことにより高齢者の権利擁護に寄与している。
■生活習慣病予防、健康づくりのためにあべのウォーク等を開催し、運動習慣者が増加傾向である。特定健診受診者も年々増加している。

５．地域資源情報

①地域資源の状況（令和２年３月 31 日現在）

区　分	件　数
地域包括支援センター	３か所
総合相談窓口（ブランチ）	２か所
老人クラブ数	４４団体
連合町会数（H27 国勢調査）	１０団体
民生委員・児童委員	１３９人

②主な介護保険事業者・施設の状況（令和２年９月末現在）

居宅サービス	件数	施設サービス	件数	地域密着型サービス	件数
訪問介護	９３	介護老人福祉施設	４	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	１
訪問入浴介護	０	介護老人保健施設	３	夜間対応型訪問介護	１
訪問看護	２０１	介護療養型医療施設	０	地域密着型通所介護	１９
訪問リハビリテーション	１７５	介護予防・生活支援サービス	件数	認知症対応型通所介護	２
通所介護	１７			小規模多機能型居宅介護	４
通所リハビリテーション	１８４	介護予防支援	３	認知症対応型共同生活介護	８
福祉用具貸与	１９	介護予防型訪問サービス	９０	地域密着型特定施設入居者生活介護	０
短期入所生活介護	４	生活援助型訪問サービス	７６		
短期入所療養介護	３	介護予防型通所サービス	３５	地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	０
特定施設入居者生活介護	１０	短時間型通所サービス	１４		
居宅介護支援	６３	選択型通所サービス	２	複合型サービス	０

③在宅医療の状況（令和元年 10 月１日現在）

区　分	件　数	区　分	件　数
在宅療養支援病院	０か所	在宅療養支援歯科診療所	２２か所
在宅療養支援診療所	３２か所	在宅患者訪問薬剤管理指導料	７０か所

６．その他（高齢者の支援に関する区独自の取組など）

■あべのウォーク/ちょこっとウォーキング
阿倍野区健康づくり推進協議会(事務局:保健福祉センター)と老人クラブが主催するウォーキングイベント。生活習慣病及び認知症予防を目的として年 10 回開催している。

■サポーター養成講座
あべのウォーク/ちょこっとウォークの企画・運営をサポートし、地域での運動習慣化を推進するリーダーとして養成しており、令和２年 10 月１日現在２４名が登録している。

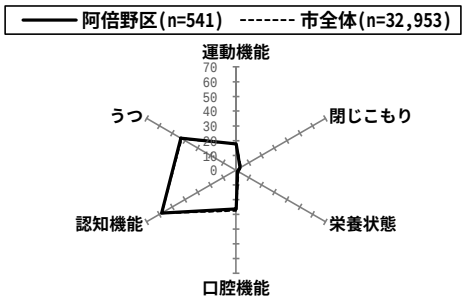
■「あべの　安全・安心　見守り、支え合い隊」事業
「地域福祉コーディネーター」を各地域に配置し、地域と連携しながら介護情報や緊急連絡先等を記載した「要援護者名簿」の整理・充実を図るとともに、ボランティアの発掘・育成を進め、地域の福祉ニーズを把握する体制をつくり、地域自らによる見守り体制の構築を図る。

■大阪市阿倍野区高齢者食事サービス事業
ひとり暮らし高齢者等を対象に会食等の食事サービスを実施する事業者に補助を行うことにより、高齢者の健康増進、地域社会との交流、介護予防、社会参加の促進を図る。

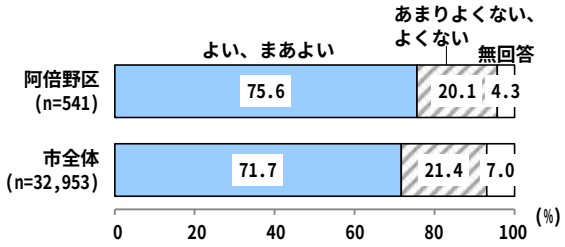
7．日常生活圏域ニーズ調査結果

①阿倍野区

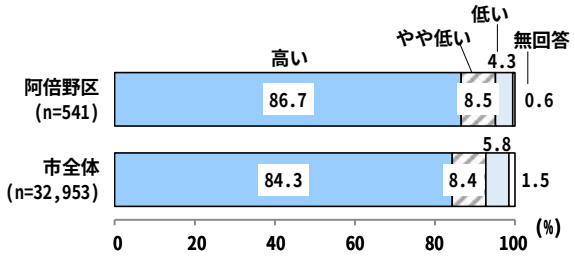
①生活機能リスク



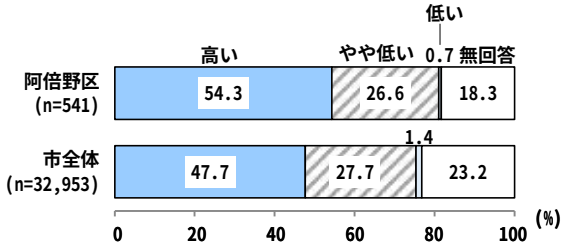
②主観的健康観



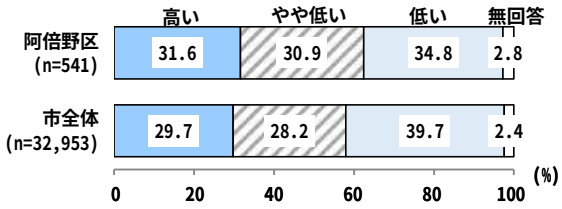
③手段的自立度



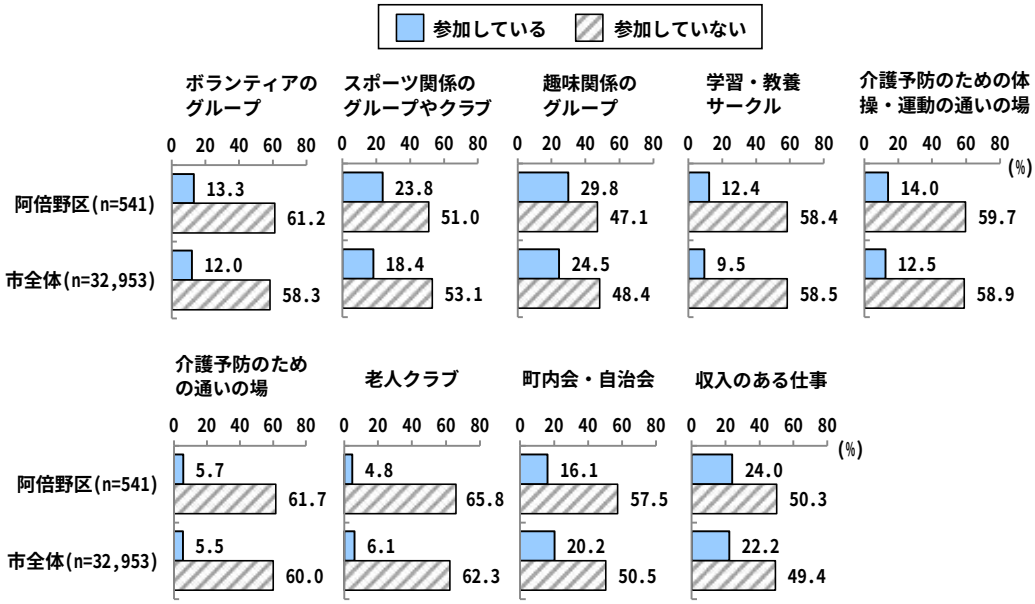
④知的能動性



⑤社会的役割

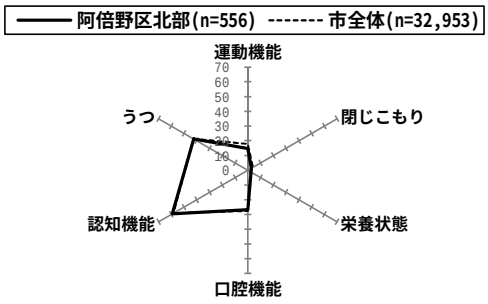


⑥社会参加の状況

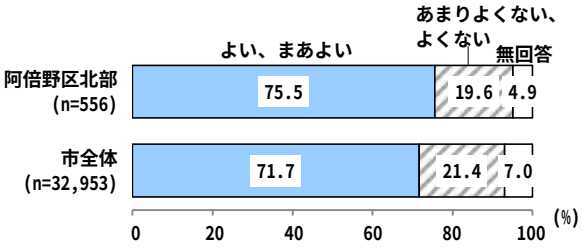


②阿倍野区北部

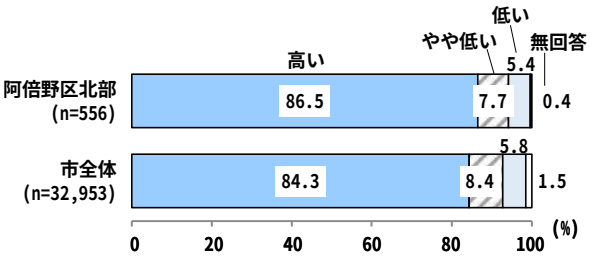
①生活機能リスク



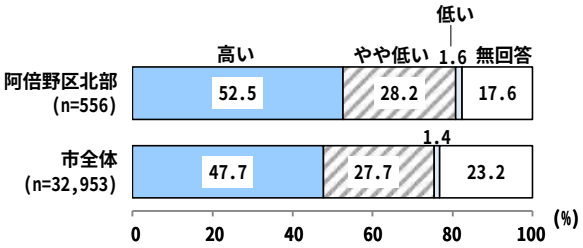
②主観的健康観



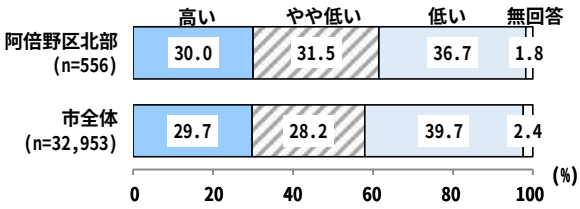
③手段的自立度



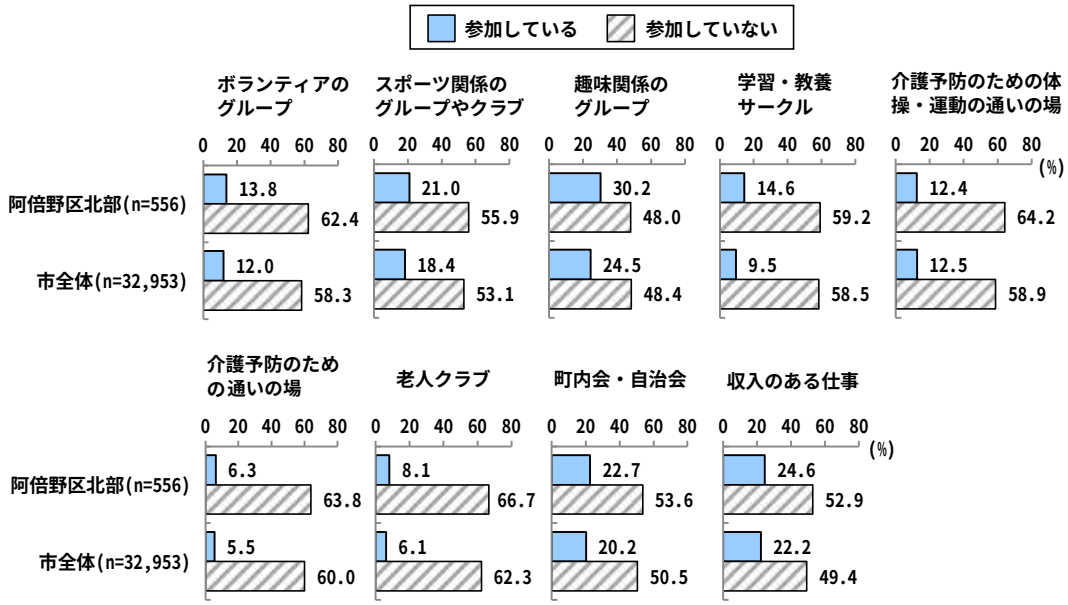
④知的能動性



⑤社会的役割

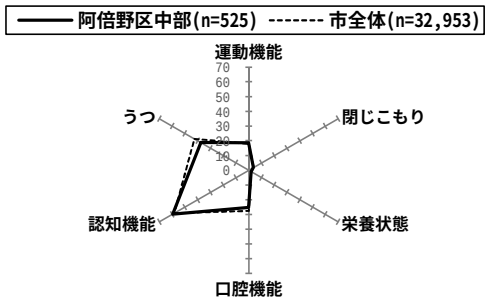


⑥社会参加の状況

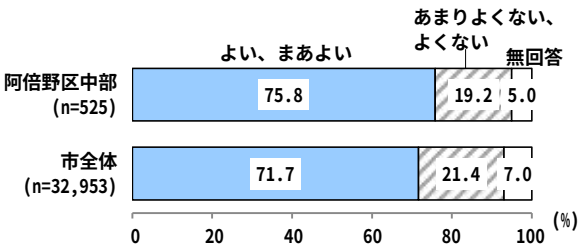


③阿倍野区中部

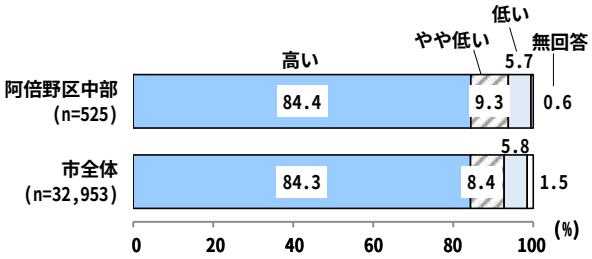
①生活機能リスク



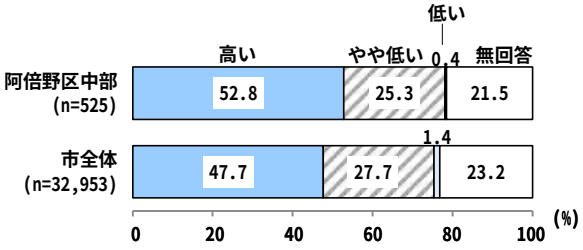
②主観的健康観



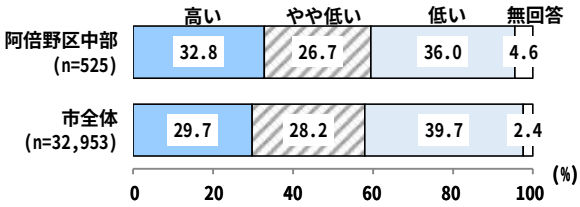
③手段的自立度



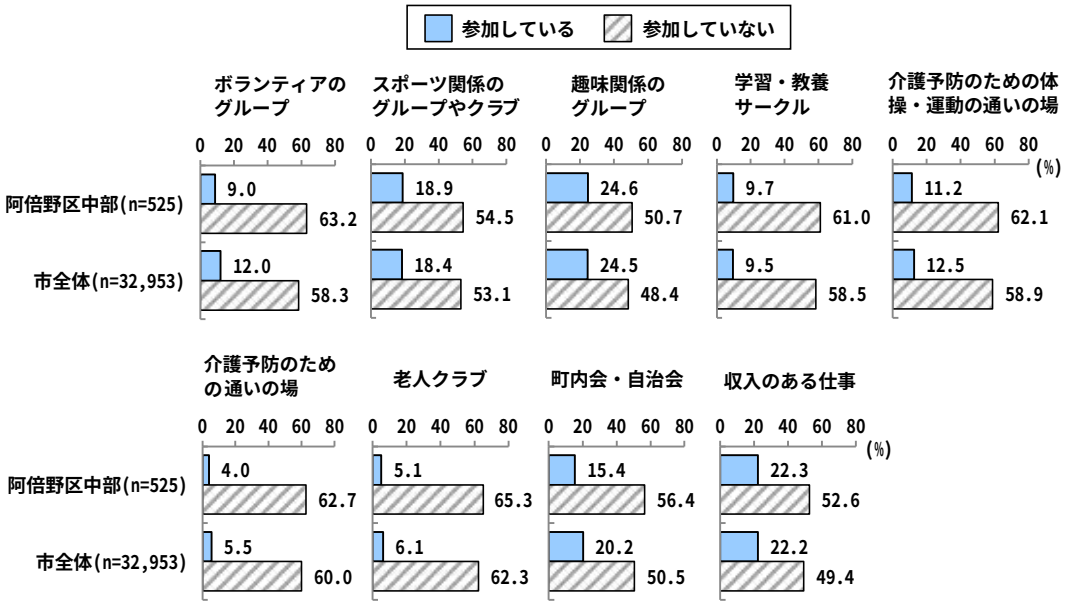
④知的能動性



⑤社会的役割



⑥社会参加の状況



20．住之江区

１．住之江区プロフィール

特徴	住之江区は大阪市の南西部に位置し、北を大正区と西成区に、東を住吉区に接し、南は大和川を隔てて堺市に隣接し、西は大阪港にひらけている。区の東部は、古くから紀州街道沿いに町並みが形成され、南海本線や阪堺線の開通にともなって、住宅地・商店街として発展してきた。中部の木津川沿いから平林にかけての地域は、造船・鉄鋼・金属関係の重工業地帯として発展してきた。西部に位置する咲洲（南港）は、自然と文化・暮らしと経済の調和をめざした新しい港湾都市としての整備により、憩いと安らぎのまちづくりが進められてきた。
トピックス	住之江では、大阪港咲洲トンネルの開通により、都心へのアクセスがより一層確保され、ポートタウン北側の「コスモスクエア」では、国際見本市会場（インテックス大阪）・アジア太平洋トレードセンター（ATC）など、21 世紀の国際文化情報都市にふさわしい、新しいまちづくりが行なわれている。

２．統計からみる住之江区の状況（基準日：令和２年 10 月１日現在）

①主要統計指標

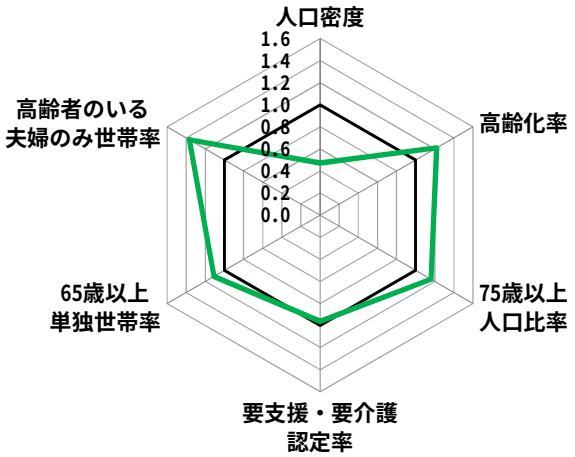
項目	データ	順位	項目	データ	順位
人口総数	119,561 人	9	面積	20.68 ㎢	1
人口密度	5,781 人/㎢	23	世帯数	59,088 世帯	12

②高齢化指標

項目	データ	順位	項目	データ	順位
65歳以上人口	37,408 人	8	高齢化率	31.3%	4
65～74歳人口	18,350 人	7	75歳以上人口	19,057 人	9
65～74歳人口比率	15.3%	2	75歳以上人口比率	15.9%	7
要介護認定者数※1	9,174 人	9	認知症高齢者数（65歳以上）※2	1,773 人	10
（認定率）	25.0%	11	認知症高齢者数（75歳以上）※2	1,578 人	10
65歳以上単独世帯数※3	9,365 世帯	9	65歳以上高齢者のいる夫婦	6,738 世帯	6
（世帯率）	16.5%	8	のみ世帯数※3（世帯率）	11.8%	2

※1：令和２年９月末における第１号被保険者（65歳以上）の認定者数
※2：認知症高齢者数は居宅のみ（令和２年４月1日現在）
※3：国勢調査「65歳以上の世帯員のいる世帯」（平成27年10月1日現在）

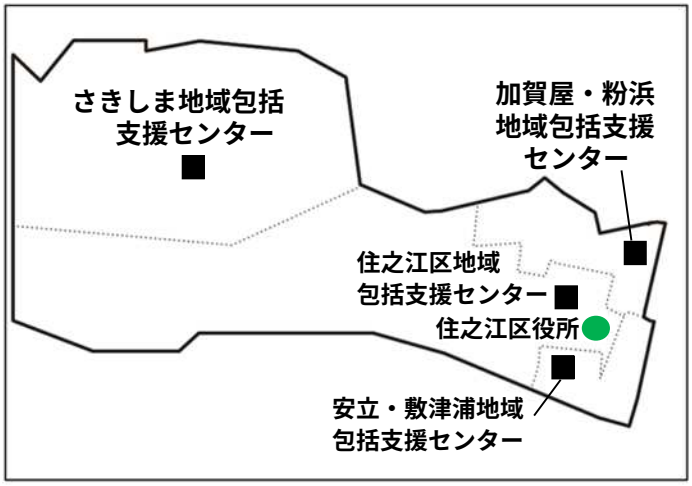
③住之江区の水準（大阪市＝１とした指数）



④住之江区の高齢化の特徴

●高齢化率は31.3%と４位である
●65～74歳人口比率2位に対して、75歳以上人口比率は７位と差がみられる。
●65歳以上単独世帯率は8位、高齢者のいる夫婦のみ世帯率は2位となっている。
●各指標の水準が、概ね大阪市の水準より高く、高齢化が進行している区域であるが、認定率は11位と低くなっている。

３．住之江区の日常生活圏域図



４．地域の状況

■子どもから高齢者まで、住之江区で暮らし、学び、働くすべての人が、自分の将来に夢と希望を持って、地域など、周りの人々と幸せに暮らすことのできるまちをめざす。

■「見守りあったかネット事業」の推進により、要援護者の見守り体制を構築している。

■「咲洲ウェルネスタウン計画」における取組事業を順次実施している。

５．地域資源情報

①地域資源の状況（令和２年３月 31 日現在）

区　分	件　数	区　分	件　数
地域包括支援センター	４か所	連合町会数（H27 国勢調査）	14 団体
総合相談窓口（ブランチ）	3 か所	民生委員・児童委員	183 人
老人クラブ数	42 団体		

②主な介護保険事業者・施設の状況（令和２年９月末現在）

居宅サービス	件数	施設サービス	件数	地域密着型サービス	件数
訪問介護	87	介護老人福祉施設	7	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0
訪問入浴介護	1	介護老人保健施設	7	夜間対応型訪問介護	0
訪問看護	123	介護療養型医療施設	0	地域密着型通所介護	22
訪問リハビリテーション	103	介護予防・生活支援サービス	件数	認知症対応型通所介護	1
通所介護	23			小規模多機能型居宅介護	2
通所リハビリテーション	112	介護予防支援	4	認知症対応型共同生活介護	11
福祉用具貸与	14	介護予防型訪問サービス	81	地域密着型特定施設入居者生活介護	1
短期入所生活介護	7	生活援助型訪問サービス	69		
短期入所療養介護	8	介護予防型通所サービス	44	地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	0
特定施設入居者生活介護	6	短時間型通所サービス	18		
居宅介護支援	57	選択型通所サービス	2	複合型サービス	1

③在宅医療の状況（令和元年 10 月１日現在）

区　分	件　数	区　分	件　数
在宅療養支援病院	1 か所	在宅療養支援歯科診療所	14 か所
在宅療養支援診療所	34 か所	在宅患者訪問薬剤管理指導料	60 か所

６．その他（高齢者の支援に関する区独自の取組など）

■企業との連携

12 社と見守り協定を締結し、意見交換会やひとり歩き高齢者への声掛け方法などを学ぶ体験型の講座「声掛け・つなごう訓練」などへ参加いただいている。

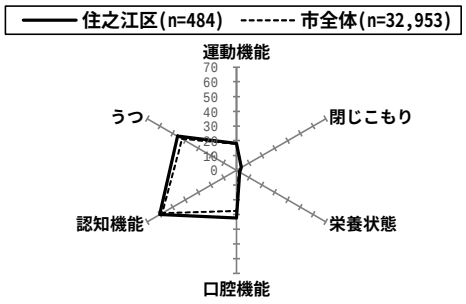
■地域による見守り活動の支援

各地域に地域の相談窓口として見守りあったかネットコーディネーターを 1 名ずつ配置し、地域での相談対応、専門機関との連携のほか、地域の見守り力向上に向けた講座（上記「声掛け・つなごう訓練」など）を実施するとともに月 1 回開催の連絡会では各地域の課題や取組み状況などの情報を共有している。
令和２年 12 月からは、地域のつながりを高めるために各福祉会館にタブレット端末が導入された。

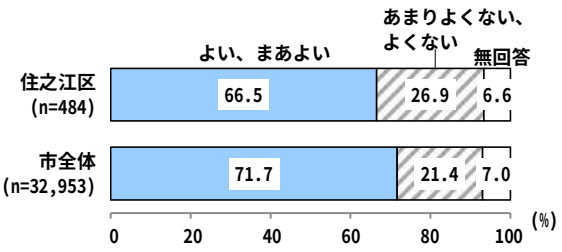
７．日常生活圏域ニーズ調査結果

①住之江区

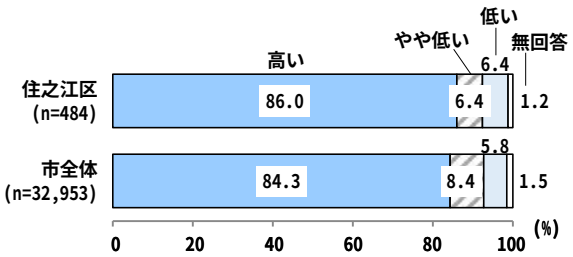
①生活機能リスク



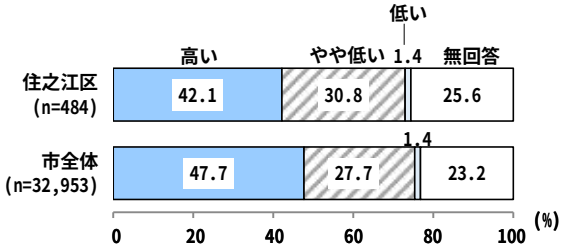
②主観的健康観



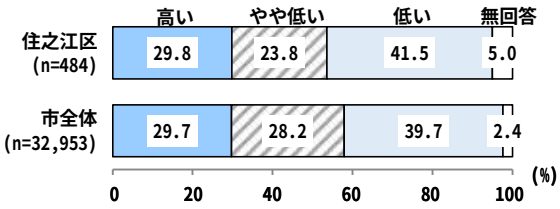
③手段的自立度



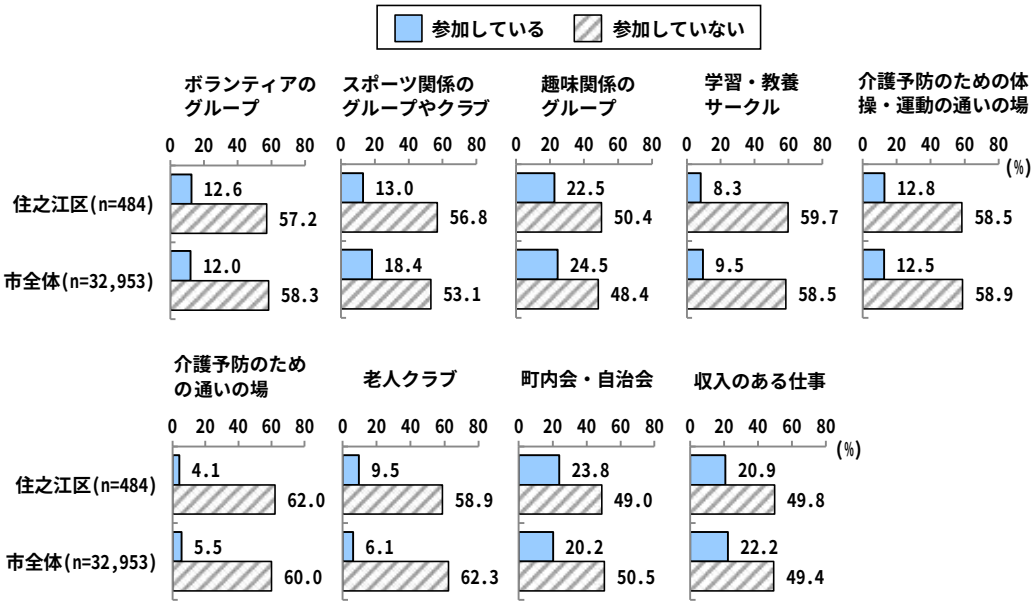
④知的能動性



⑤社会的役割

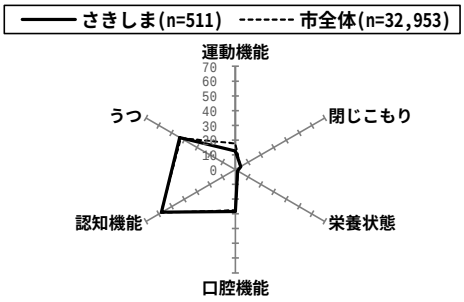


⑥社会参加の状況

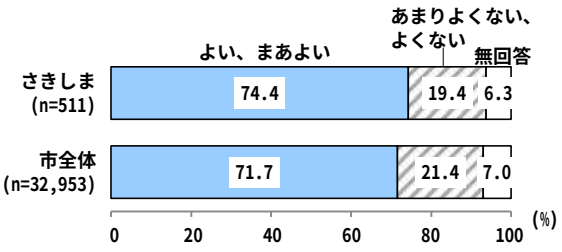


②さきしま

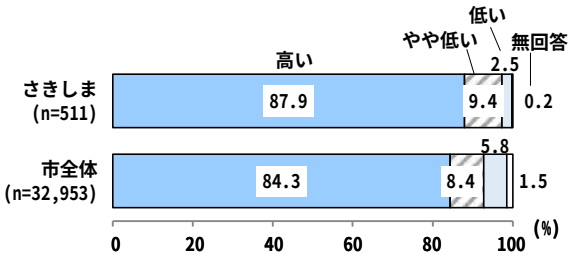
①生活機能リスク



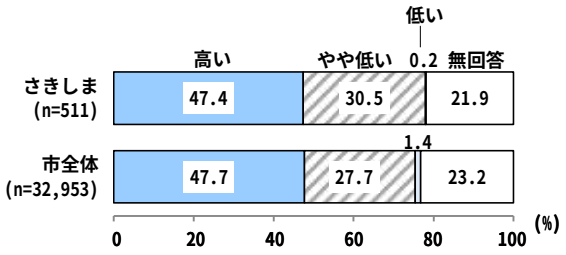
②主観的健康観



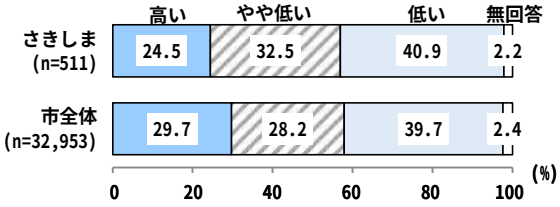
③手段的自立度



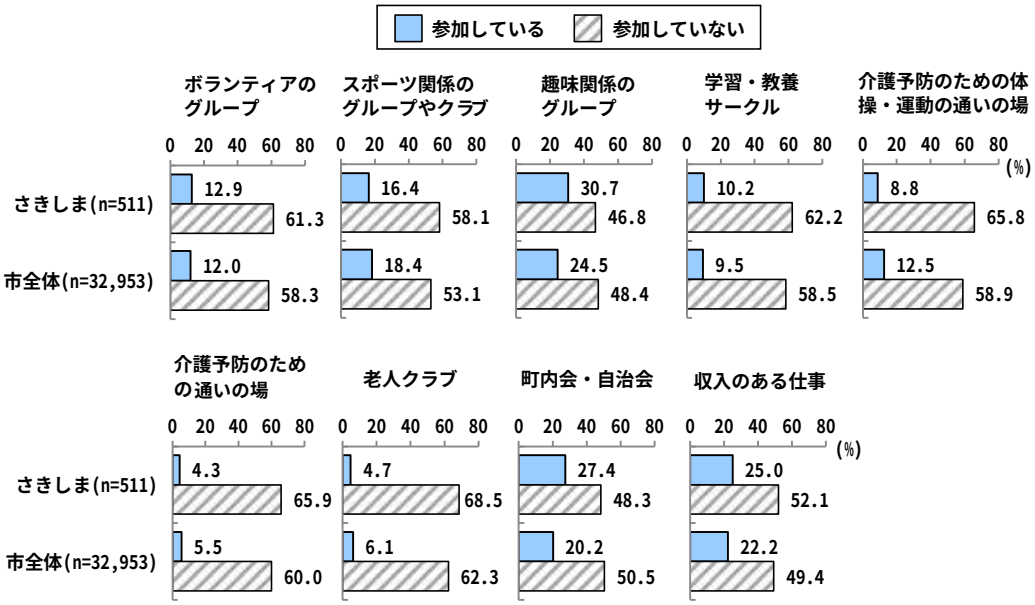
④知的能動性



⑤社会的役割

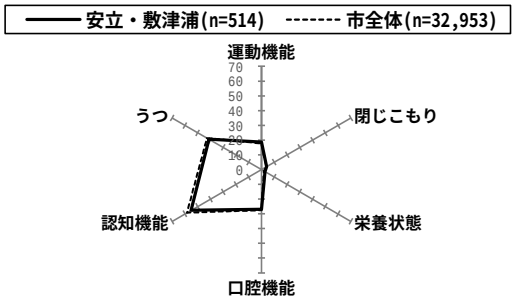


⑥社会参加の状況

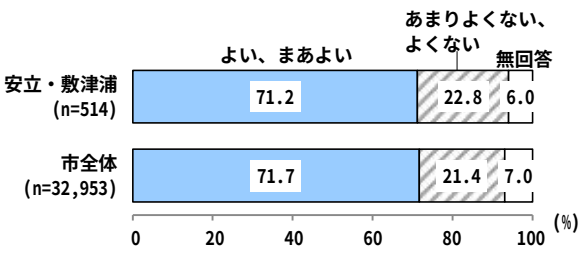


③安立・敷津浦

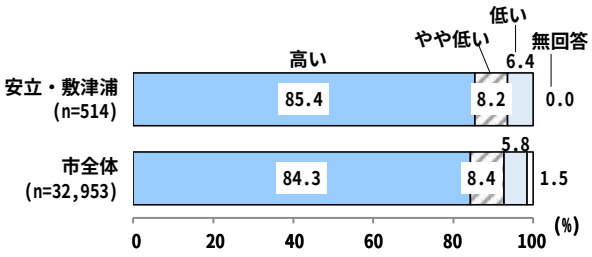
①生活機能リスク



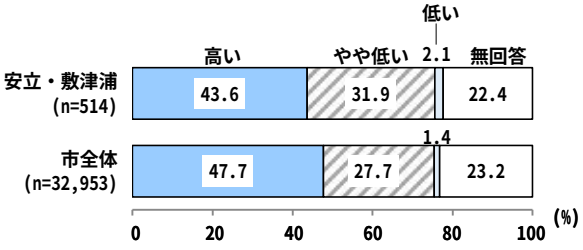
②主観的健康観



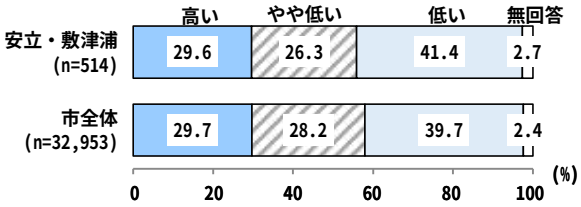
③手段的自立度



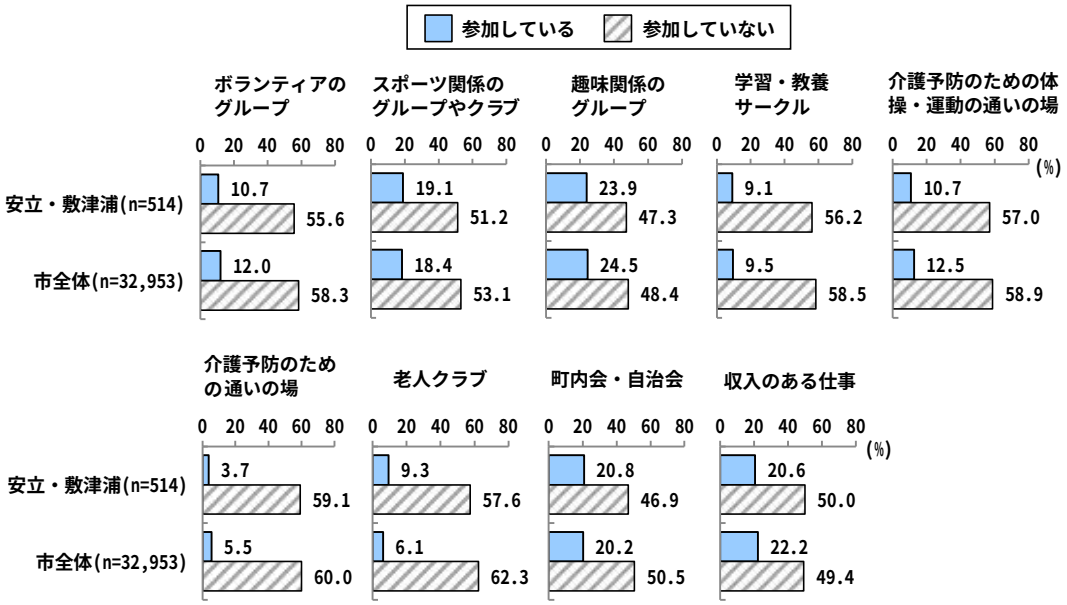
④知的能動性



⑤社会的役割

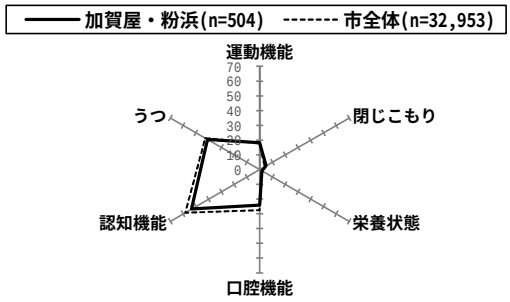


⑥社会参加の状況

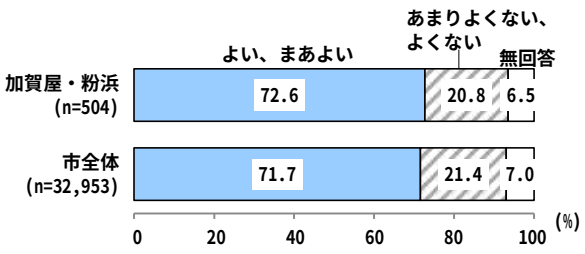


④加賀屋・粉浜

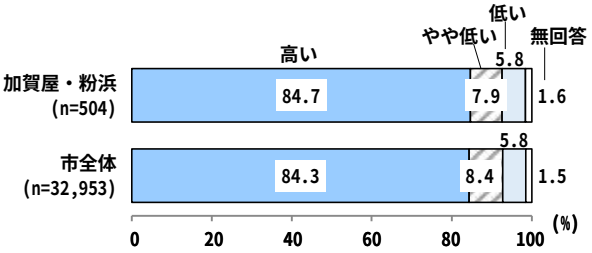
①生活機能リスク



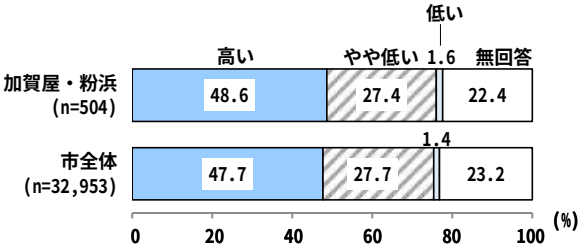
②主観的健康観



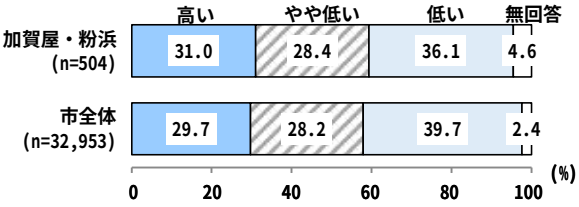
③手段的自立度



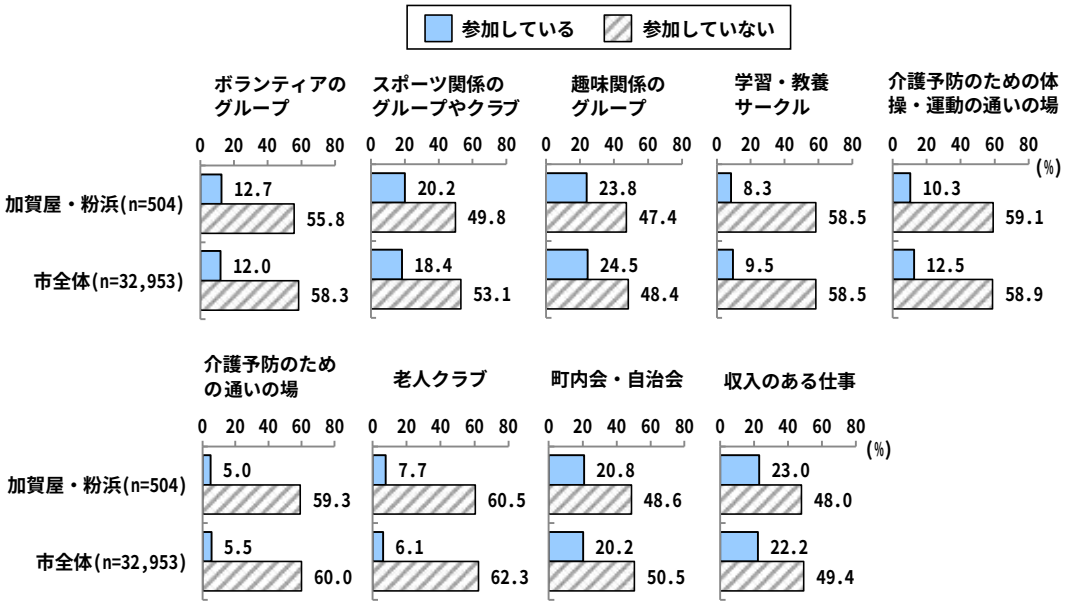
④知的能動性



⑤社会的役割



⑥社会参加の状況



21．住吉区

１．住吉区プロフィール

特徴	住吉区は大阪市の最南部に位置し、大和川を隔てて堺市に接している。区内には、「住吉造り」といわれる神社建築史上特異な様式をもち、反橋(太鼓橋)や住吉踊で有名な「住吉大社」や、「吾彦山大聖観音寺」をはじめ多くの由緒ある神社仏閣や史跡がある。区民の憩いの場所として、桜で名高い万代池公園に加え、長居公園(東住吉区)や住吉公園(住之江区)にも恵まれており、都心への交通至便な住宅区としても、公営住宅の高層化や新しいマンションが建設され、都市整備が進められている。
トピックス	住吉区では、平成12年6月に、住吉スポーツセンター・住吉屋内プールが完成し、区民の福祉・健康増進に寄与している。また、平成19年11月には南住吉3丁目15番街区(旧沢之町公園)に、広域避難地域などの機能も備えた、あらたな地域コミュニティの拠点として、住吉区複合施設が完成し、住吉区民センター・住吉区役所・住吉区保健福祉センター・水道局住吉サービスステーション（※現在は閉鎖）住吉図書館が整備された。

２．統計からみる住吉区の状況（基準日：令和２年 10 月１日現在）

①主要統計指標

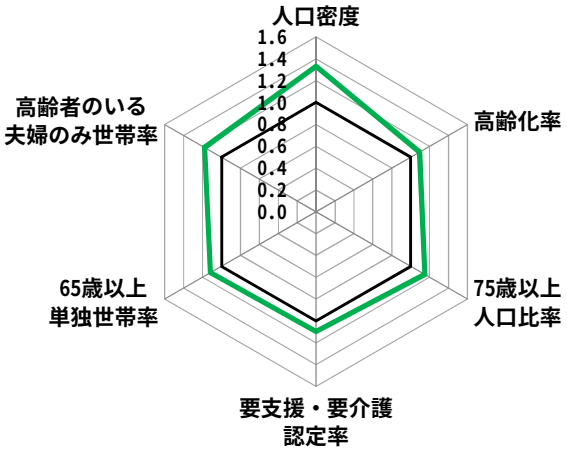
項目	データ	順位	項目	データ	順位
人口総数	152,991 人	5	面積	9.4 ㎢	10
人口密度	16,276 人/㎢	9	世帯数	74,276 世帯	6

②高齢化指標

項目	データ	順位	項目	データ	順位
65歳以上人口	42,964 人	5	高齢化率	28.1%	8
65～74歳人口	18,822 人	6	75歳以上人口	24,141 人	2
65～74歳人口比率	12.3%	10	75歳以上人口比率	15.8%	8
要介護認定者数※1	12,011 人	3	認知症高齢者数（65歳以上）※2	2,746 人	5
（認定率）	28.4%	4	認知症高齢者数（75歳以上）※2	2,432 人	5
65歳以上単独世帯数※3	11,905 世帯	6	65歳以上高齢者のいる夫婦	7,334 世帯	4
（世帯率）	16.6%	5	のみ世帯数※3（世帯率）	10.2%	8

※1：令和２年９月末における第１号被保険者（65歳以上）の認定者数
※2：認知症高齢者数は居宅のみ（令和２年４月1日現在）
※3：国勢調査「65歳以上の世帯員のいる世帯」（平成27年10月1日現在）

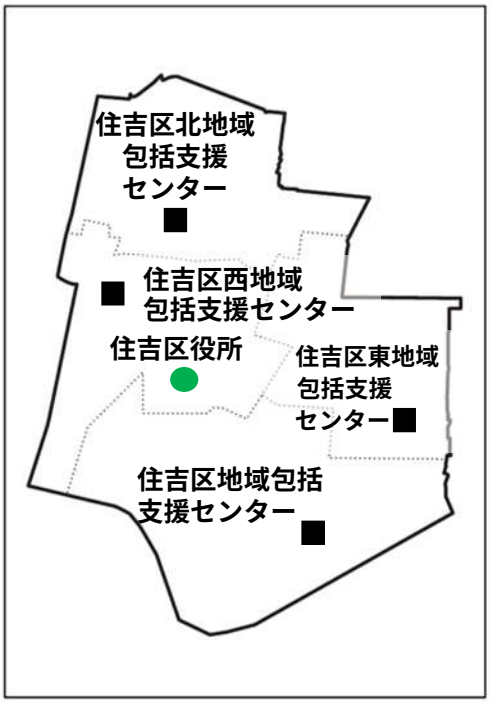
③住吉区の水準（大阪市＝１とした指数）



④住吉区の高齢化の特徴

●高齢化率は28.1%と24区中８位である。
●65～74歳人口比率が10位、75歳以上人口比率は８位となっている。
●65歳以上単独世帯率は5位、高齢者のいる夫婦のみ世帯率は8位と市水準より高くなっている。
●認定率は4位となっている。
●各指標の水準は、全体的に大阪市の水準に比べて高く、高齢化が進んでいる区域である。

３．住吉区の日常生活圏域図



４．地域の状況

■区として『「つながり・見守り・支えあい」を大切にした安全・安心に暮らせる住みよいまち』の実現をめざしている。
■地域における災害時の支援と日常的な見守りを一体的に対応するシステムの構築を推進。
■区役所内に「地域見守り相談室」を設置し、４つの包括圏域ごとにｺﾐｭﾆﾃｨｿｰｼｬﾙﾜｰｶｰ（CSW）を配置。身近な地域での相談や支援を行なっている。
■地域、支援関係機関、ライフライン業者等と連携して、孤立死防止のためのネットワーク構築に取り組んでい

５．地域資源情報

①地域資源の状況（令和２年３月 31 日現在）

区　分	件　数
地域包括支援センター	4 か所
総合相談窓口（ブランチ）	5 か所
老人クラブ数	37 団体
連合町会数（H27 国勢調査）	12 団体
民生委員・児童委員	222 人

②主な介護保険事業者・施設の状況（令和２年９月末現在）

居宅サービス	件数	施設サービス	件数	地域密着型サービス	件数
訪問介護	127	介護老人福祉施設	7	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1
訪問入浴介護	4	介護老人保健施設	3	夜間対応型訪問介護	1
訪問看護	182	介護療養型医療施設	0	地域密着型通所介護	34
訪問リハビリテーション	156	介護予防・生活支援サービス	件数	認知症対応型通所介護	8
通所介護	22			小規模多機能型居宅介護	7
通所リハビリテーション	164	介護予防支援	4	認知症対応型共同生活介護	17
福祉用具貸与	16	介護予防型訪問サービス	117	地域密着型特定施設入居者生活介護	0
短期入所生活介護	8	生活援助型訪問サービス	105		
短期入所療養介護	3	介護予防型通所サービス	53	地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	1
特定施設入居者生活介護	11	短時間型通所サービス	28		
居宅介護支援	82	選択型通所サービス	0	複合型サービス	0

③在宅医療の状況（令和元年 10 月１日現在）

区　分	件　数	区　分	件　数
在宅療養支援病院	2 か所	在宅療養支援歯科診療所	17 か所
在宅療養支援診療所	40 か所	在宅患者訪問薬剤管理指導料	95 か所

６．その他（高齢者の支援に関する区独自の取組など）

■住吉区地域見守り支援システム
　災害時要援護者支援台帳登録と地域住民による日常的な見守り活動を一体化。包括圏域ごとにコミュニティソーシャルワーカー（CSW）を配置し区役所内に「地域見守り相談室」を設置し取りまとめを行っている。

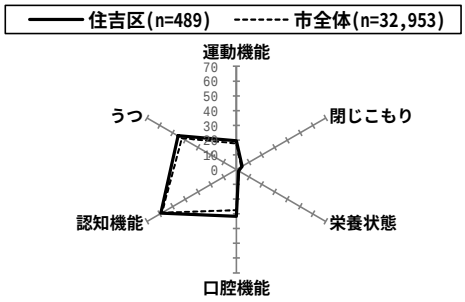
■住吉どらやきの会（医療介護連携を支える会）
　大阪急性期・総合医療センターと地域包括支援センター、居宅介護支援事業所で医療と介護の連携づくりのために発足した自主会。3 師会、区内の病院、訪問看護ステーション、行政も加わり病院から在宅医療の包括的、継続的な支援体制づくりに向けたフィールドとなっている。

■高齢者家族の介護者の支援
　男性介護者のための「ほっこりサロン」、高齢の親を介護する息子さんと娘さんのための介護者の集い、要介護者を抱える家族の会「すみれの会」交流会、講演会やイベントにゆっくり参加していただくための介護者支援を行う「いきいきライフサポーター」の養成等が実施されている。

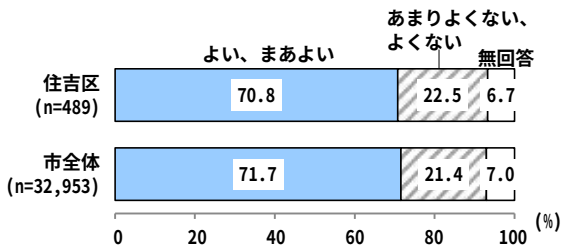
７．日常生活圏域ニーズ調査結果

①住吉区

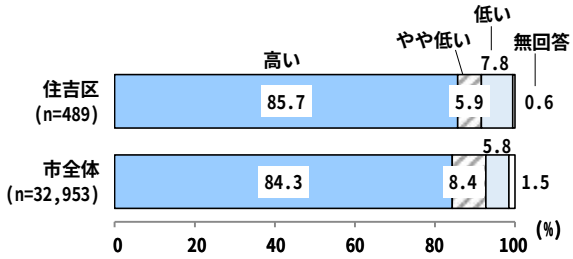
①生活機能リスク



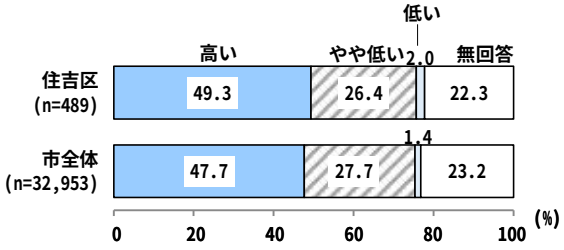
②主観的健康観



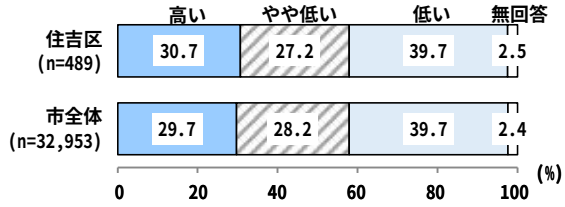
③手段的自立度



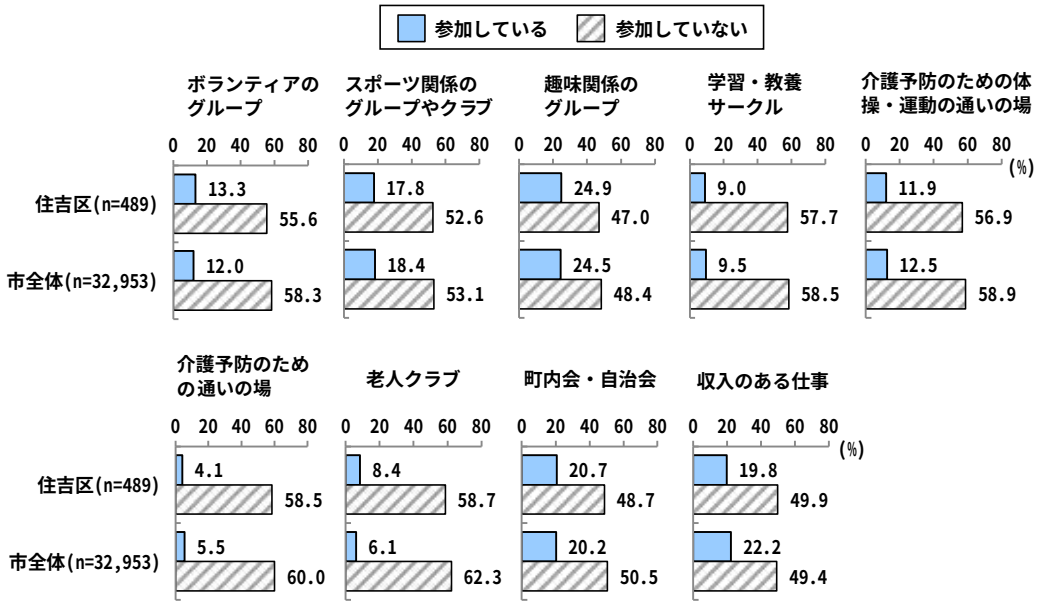
④知的能動性



⑤社会的役割

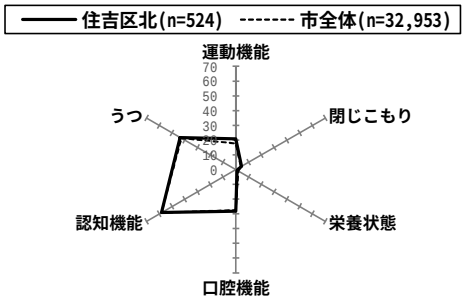


⑥社会参加の状況

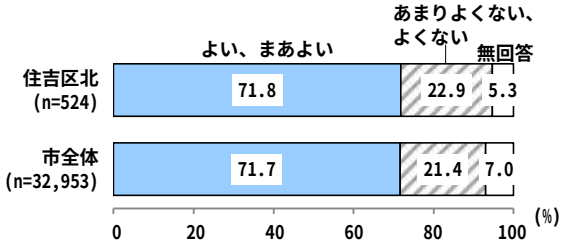


②住吉区北

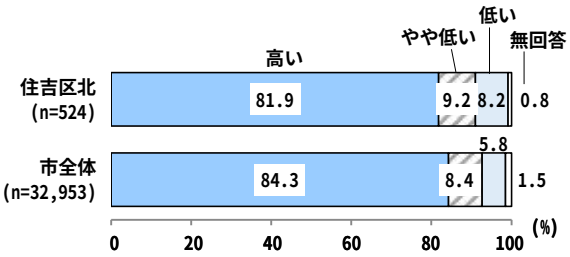
①生活機能リスク



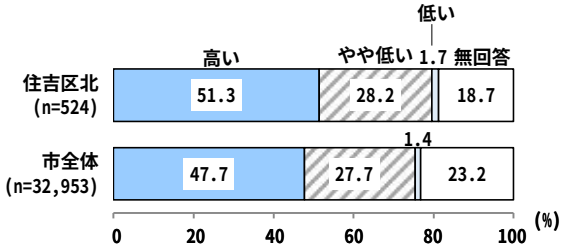
②主観的健康観



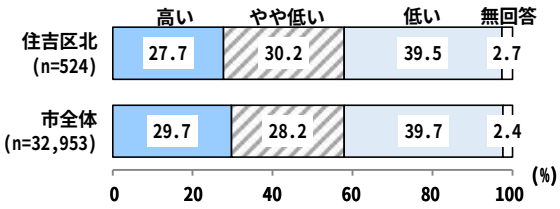
③手段的自立度



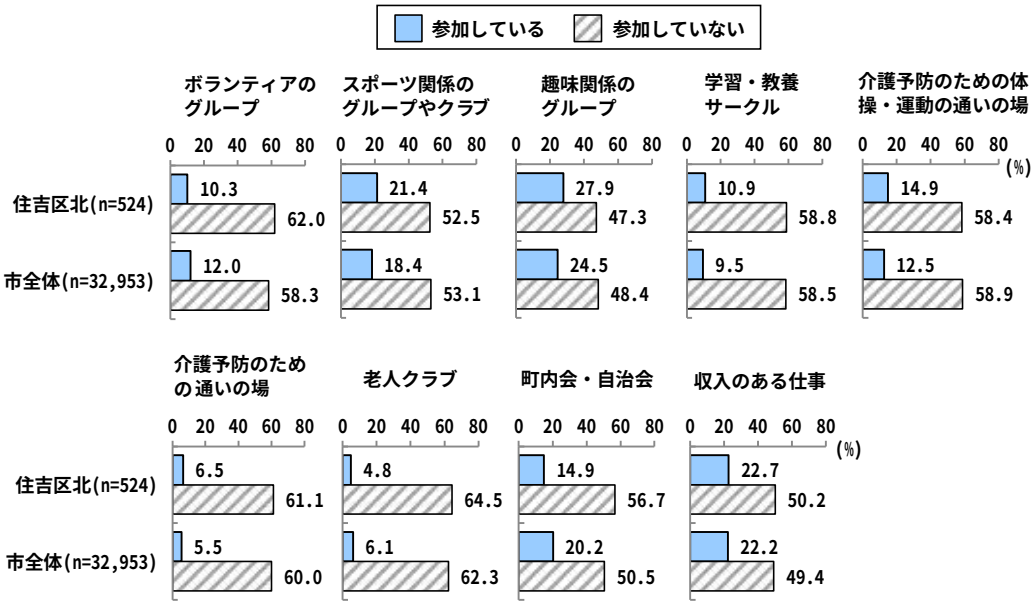
④知的能動性



⑤社会的役割

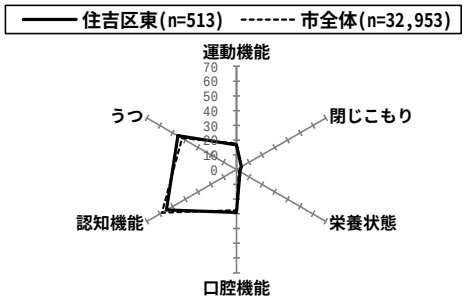


⑥社会参加の状況

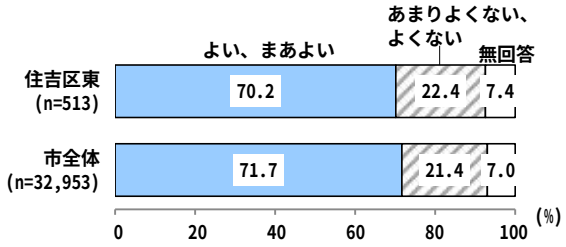


③住吉区東

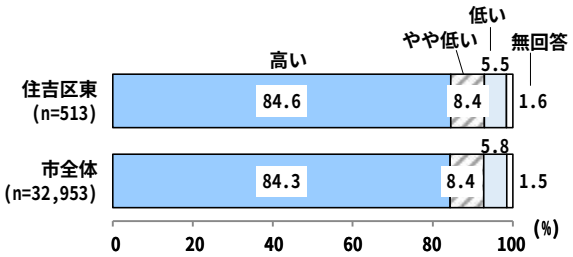
①生活機能リスク



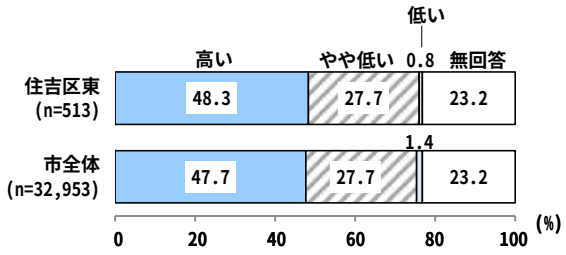
②主観的健康観



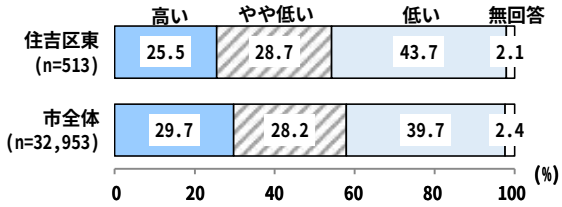
③手段的自立度



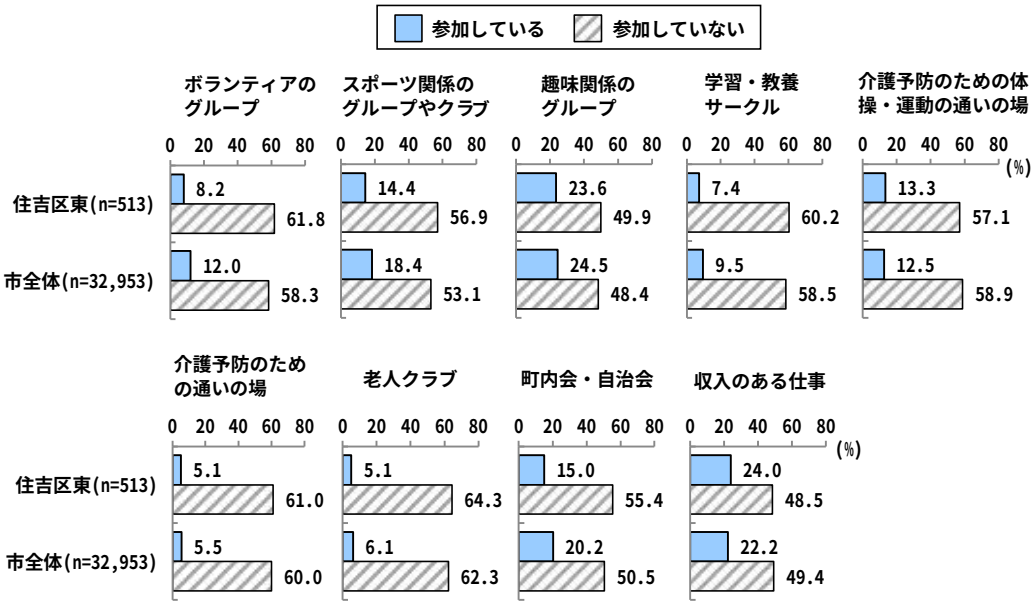
④知的能動性



⑤社会的役割

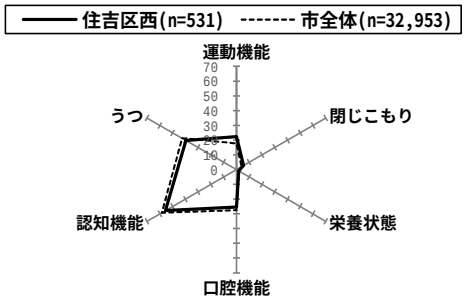


⑥社会参加の状況

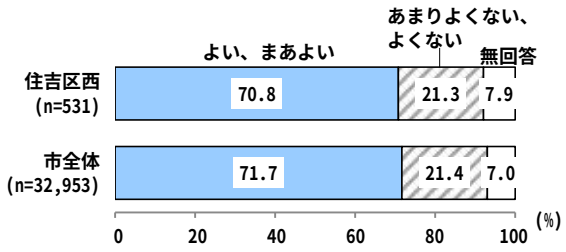


④住吉区西

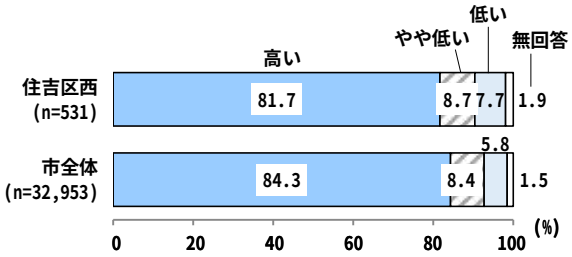
①生活機能リスク



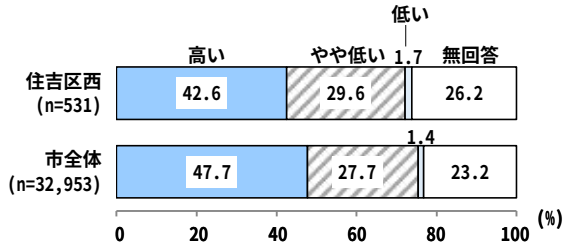
②主観的健康観



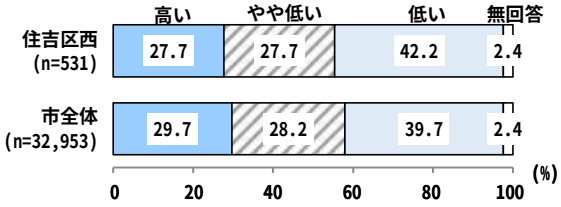
③手段的自立度



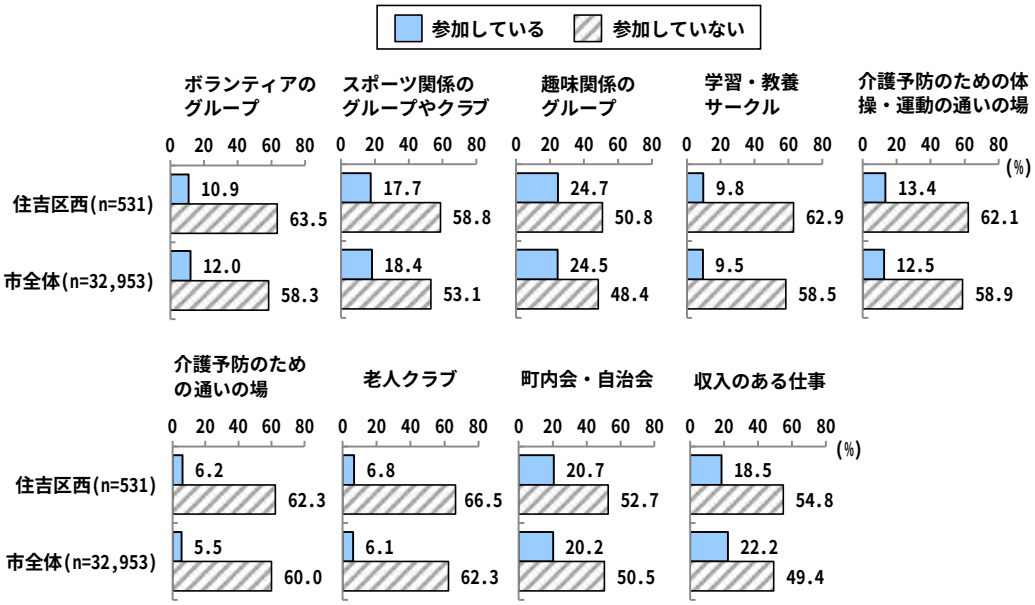
④知的能動性



⑤社会的役割



⑥社会参加の状況



22．東住吉区

１．東住吉区プロフィール

特徴	東住吉区は大阪市南部に位置し、大阪市で 8 番目の大きさをもつ行政区域であり、東は平野区、西は阿倍野区・住吉区、北は生野区に接し、南は大和川をはさんで松原市に隣接している。区域の約 90%は閑静な住宅地域で、JR 阪和線、近鉄南大阪線、地下鉄谷町線の駅付近は商業地域として発展しており、特に駒川商店街は大阪市内でも有数の商店街として知られている。区の北東部には、大阪南部の「市民の台所」として、中央卸売市場東部市場があり、食品流通の拠点として大きな役割を果たしている。南西部の一角を占める長居公園は、文化とスポーツの憩いの場として、花と緑の相談の場として、多くの市民から親しまれている。
トピックス	東住吉区の南部には、東住吉スポーツセンターなどがあり、地域に親しまれ利用されている。高齢者の保健・医療・福祉サービスの総合的、効果的な提供を図る施設として、4 か所の地域包括支援センターと３か所の総合相談窓口（ブランチ）があり総合相談事業が行われ、高齢者にとって住み易い街づくりが着々と進められている。

２．統計からみる東住吉区の状況（基準日：令和２年 10 月１日現在）

①主要統計指標

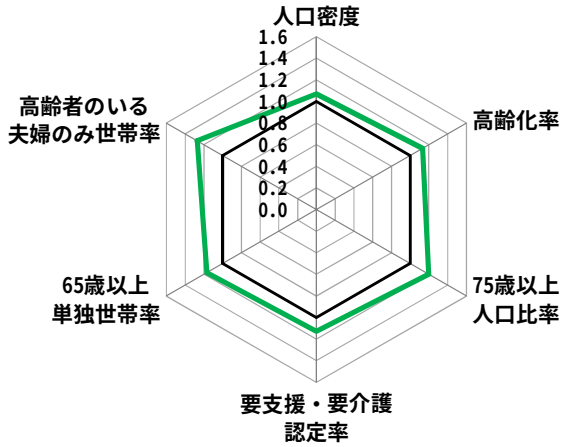
項目	データ	順位	項目	データ	順位
人口総数	127,447 人	8	面積	9.75 ㎢	8
人口密度	13,071 人/㎢	17	世帯数	61,476 世帯	11

②高齢化指標

項目	データ	順位	項目	データ	順位
65歳以上人口	37,065 人	9	高齢化率	29.1%	6
65～74歳人口	16,094 人	9	75歳以上人口	20,971 人	8
65～74歳人口比率	12.6%	7	75歳以上人口比率	16.5%	6
要介護認定者数※1	10,910 人	6	認知症高齢者数（65歳以上）※2	2,138 人	8
（認定率）	29.3%	3	認知症高齢者数（75歳以上）※2	1,945 人	8
65歳以上単独世帯数※3	10,036 世帯	8	65歳以上高齢者のいる夫婦のみ世帯数※3（世帯率）	6,364 世帯	7
（世帯率）	17.4%	4		11.0%	5

※1：令和２年９月末における第１号被保険者（65歳以上）の認定者数
※2：認知症高齢者数は居宅のみ（令和２年４月1日現在）
※3：国勢調査「65歳以上の世帯員のいる世帯」（平成27年10月1日現在）

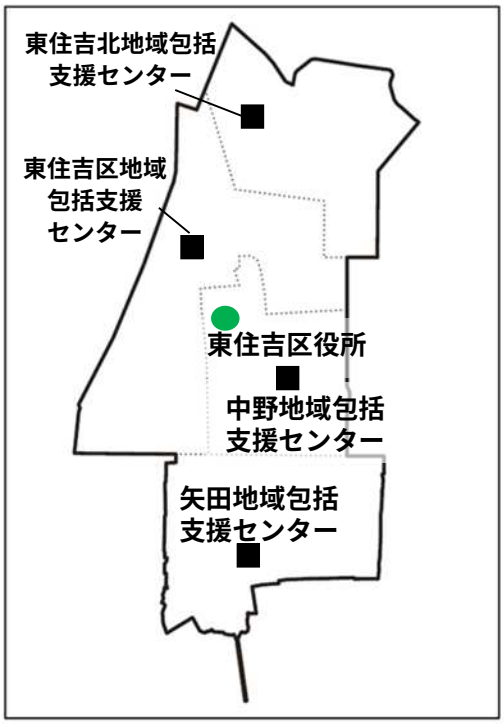
③東住吉区の水準（大阪市＝１とした指数）



④東住吉区の高齢化の特徴

- ●高齢化率は29.1%と24区中6位である。
- ●65～74歳人口比率は7位、75歳以上人口比率は6位である。
- ●65歳以上単独世帯率は4位、高齢者のいる夫婦のみ世帯率は5位である。
- ●認定率が３位となっている。
- ●各指標の水準が、全体的に大阪市の水準に比べて高く、高齢化が進んでいる区域である。

３．東住吉区の日常生活圏域図



４．地域の状況

■“みんなが健康で安心して”暮らせるまちをめざしている。
■多様な“困りごと”をおたがいさまの意識で支えあえるよう、身近な地域でつなぐしくみづくりを推進している。
■要援護者名簿を活用した地域における平時の見守りと災害時の避難支援への備えを強化、認知症高齢者等徘徊者の保護のためのメール配信システムの活用に取り組んでいる。

５．地域資源情報

①地域資源の状況（令和２年３月 31 日現在）

区　分	件　数
地域包括支援センター	４か所
総合相談窓口（ブランチ）	３か所
老人クラブ数	29 団体
連合町会数（H27 国勢調査）	14 団体
民生委員・児童委員	216 人

②主な介護保険事業者・施設の状況（令和２年９月末現在）

居宅サービス	件数	施設サービス	件数	地域密着型サービス	件数
訪問介護	159	介護老人福祉施設	8	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	3
訪問入浴介護	2	介護老人保健施設	8	夜間対応型訪問介護	1
訪問看護	150	介護療養型医療施設	1	地域密着型通所介護	45
訪問リハビリテーション	125	介護予防・生活支援サービス	件数	認知症対応型通所介護	5
通所介護	31			小規模多機能型居宅介護	5
通所リハビリテーション	132	介護予防支援	4	認知症対応型共同生活介護	16
福祉用具貸与	23	介護予防型訪問サービス	148	地域密着型特定施設入居者生活介護	1
短期入所生活介護	9	生活援助型訪問サービス	124		
短期入所療養介護	9	介護予防型通所サービス	73	地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	1
特定施設入居者生活介護	7	短時間型通所サービス	47		
居宅介護支援	98	選択型通所サービス	5	複合型サービス	1

③在宅医療の状況（令和元年 10 月１日現在）

区　分	件　数	区　分	件　数
在宅療養支援病院	2 か所	在宅療養支援歯科診療所	31 か所
在宅療養支援診療所	43 か所	在宅患者訪問薬剤管理指導料	63 か所

６．その他（高齢者の支援に関する区独自の取組など）

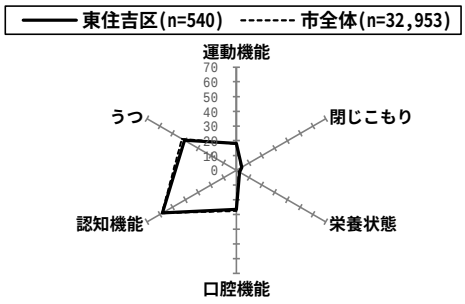
■「高齢者食事サービス事業（ふれあい型）」
　在宅の一人暮らし高齢者等を対象に、高齢者の健康の増進と地域社会との交流を目的として、ボランティアが地域施設において会食等の機会を提供する活動への補助を実施。

■「はつらつ脳活性化元気アップ事業」
　生活習慣病予防から認知症予防となる健康講座を住民主体で行い、認知症にならない、認知症になっても安心して暮らせる地域をめざした活動。各地域にリーダーを育成し事業展開する中で、世代間交流も意識し、認知症キッズサポーター養成にも協力して、安心して暮らせるまちにつなげる。

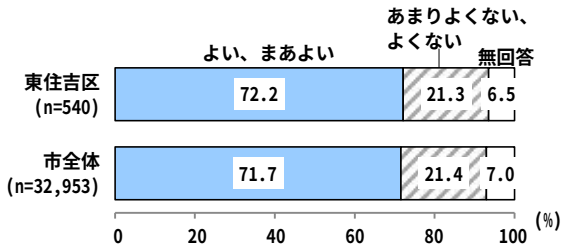
７．日常生活圏域ニーズ調査結果

①東住吉区

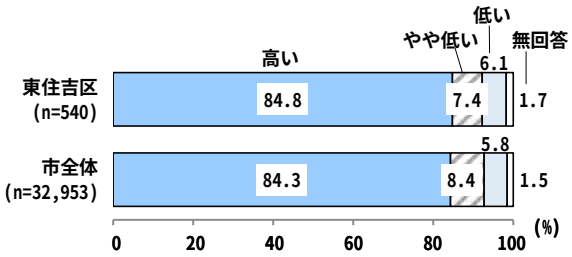
①生活機能リスク



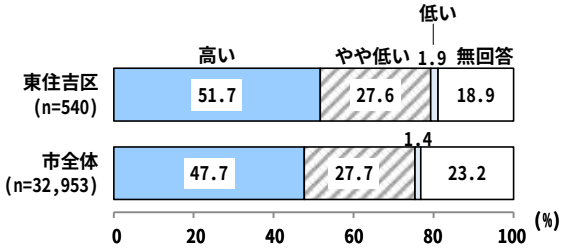
②主観的健康観



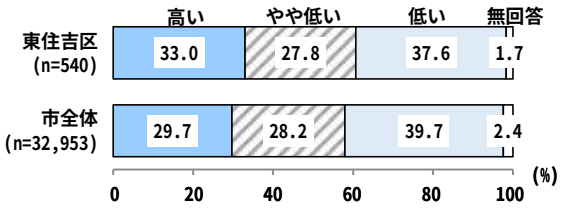
③手段的自立度



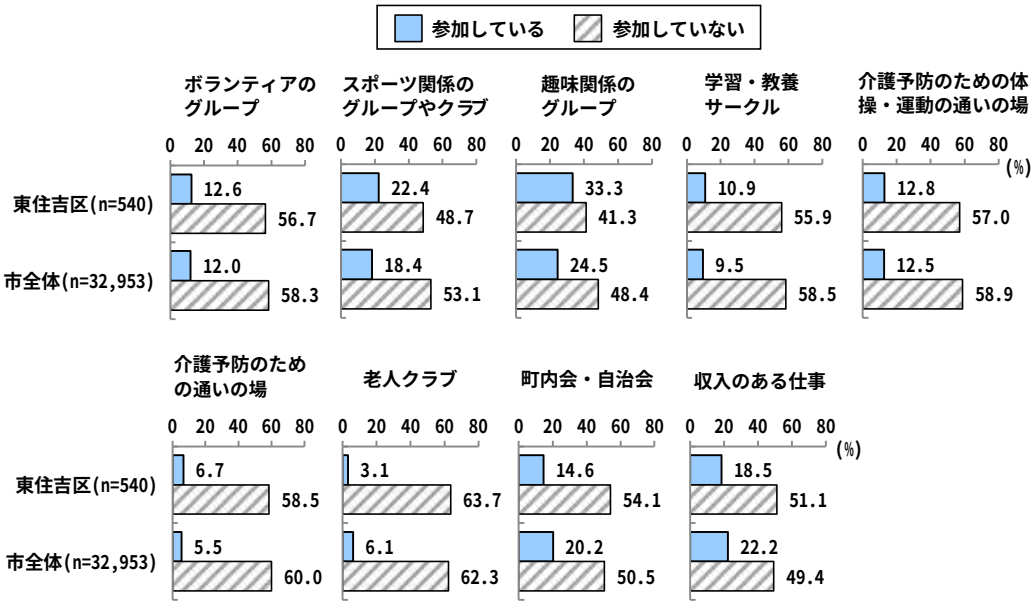
④知的能動性



⑤社会的役割

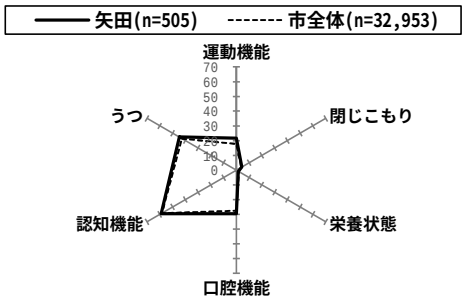


⑥社会参加の状況

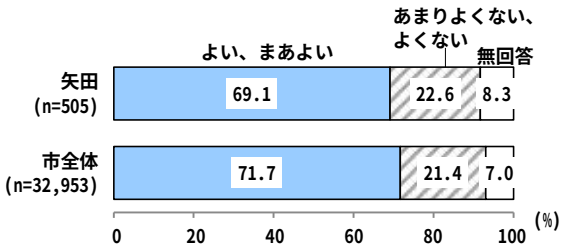


②矢田

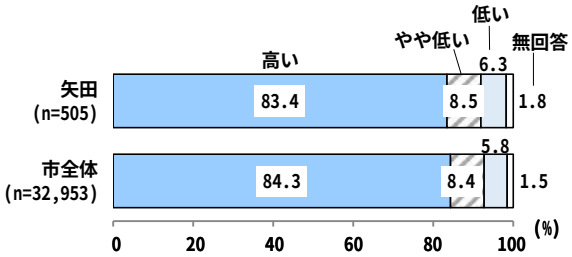
①生活機能リスク



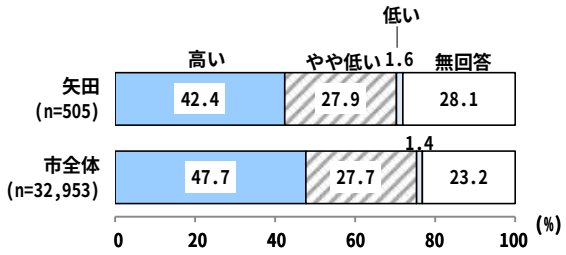
②主観的健康観



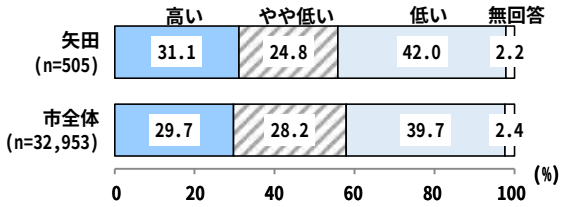
③手段的自立度



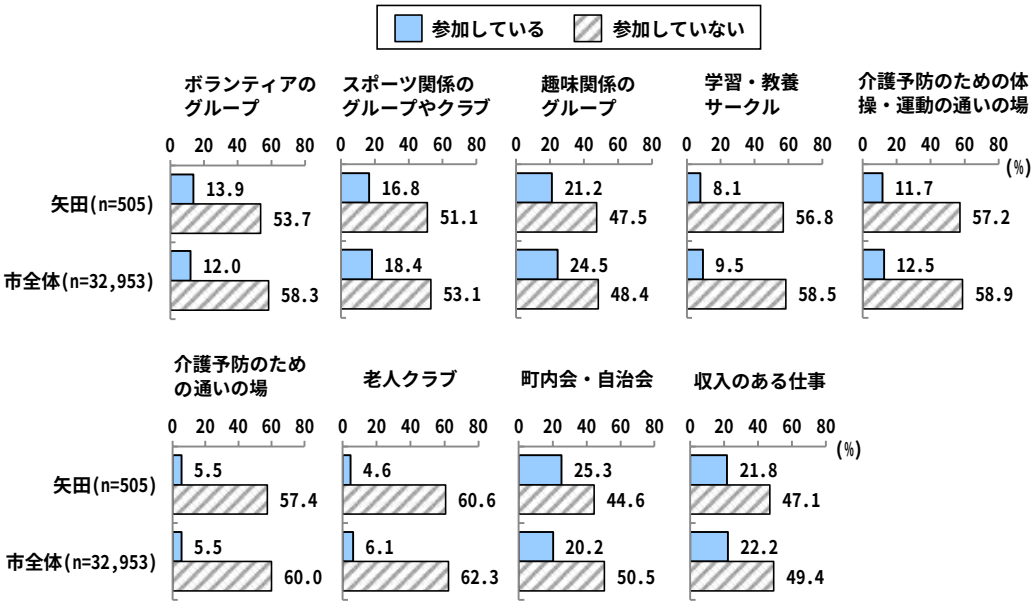
④知的能動性



⑤社会的役割

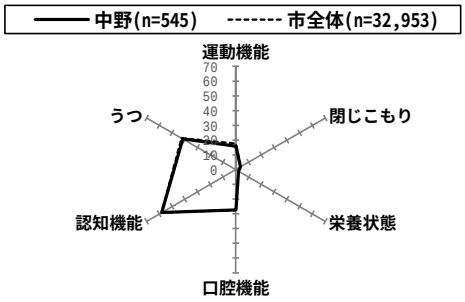


⑥社会参加の状況

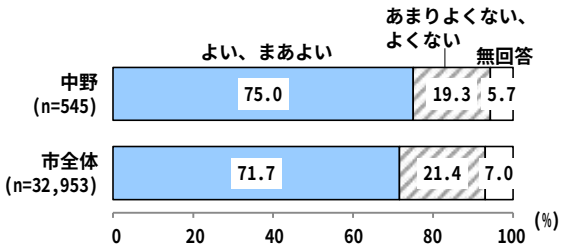


③中野

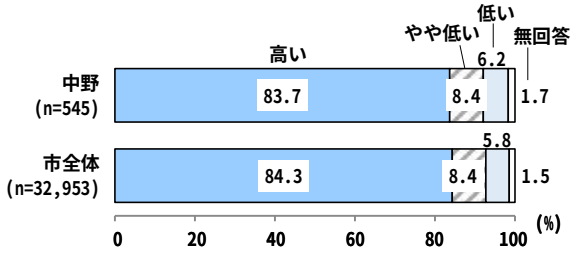
①生活機能リスク



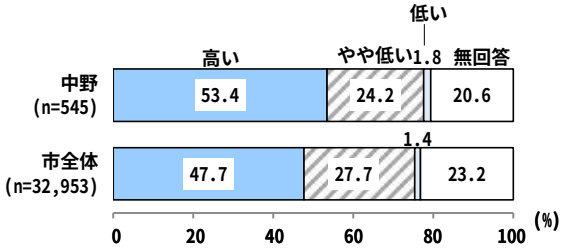
②主観的健康観



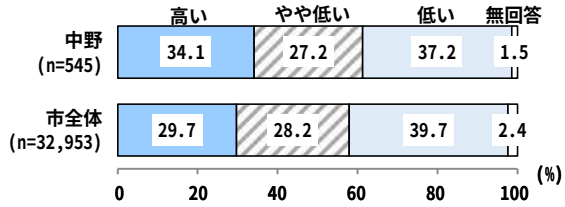
③手段的自立度



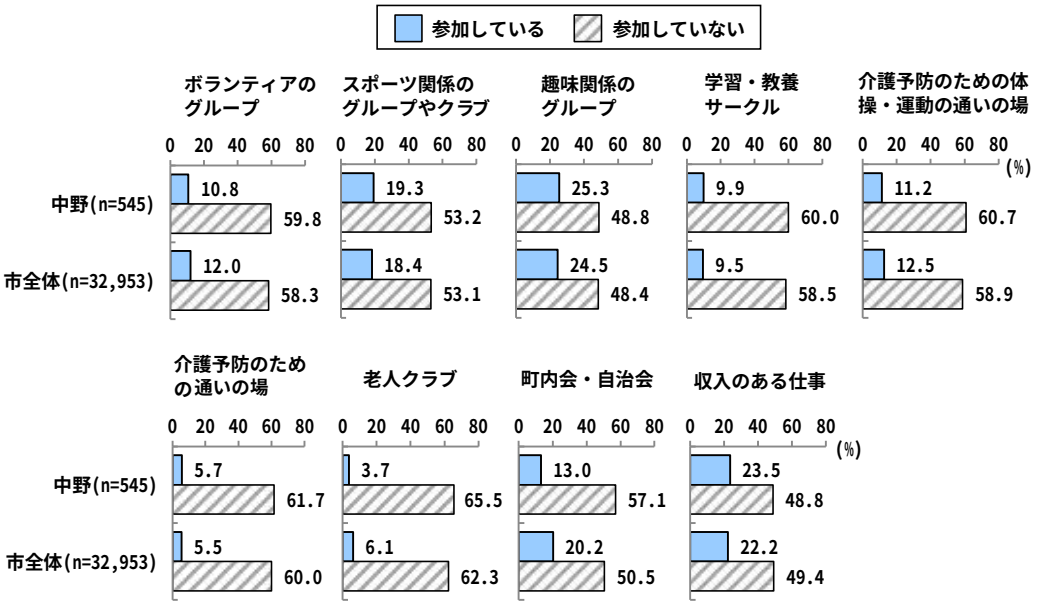
④知的能動性



⑤社会的役割

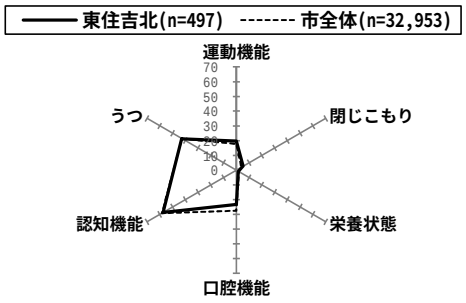


⑥社会参加の状況

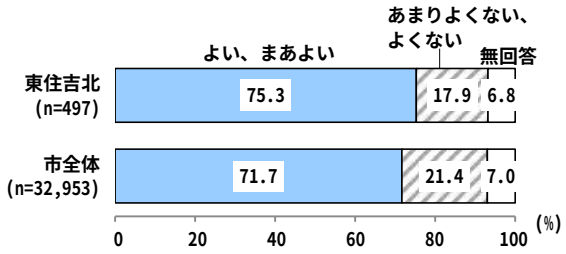


④東住吉北

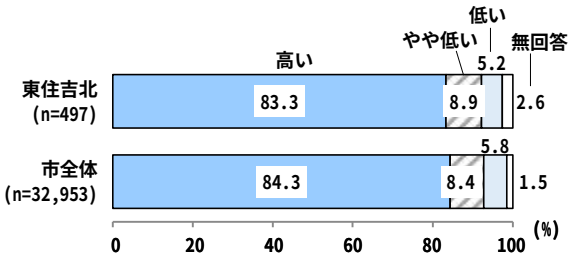
①生活機能リスク



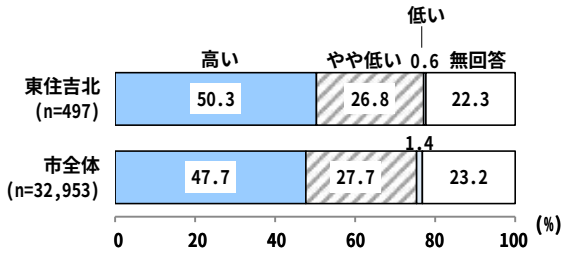
②主観的健康観



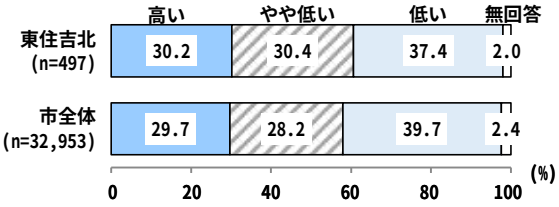
③手段的自立度



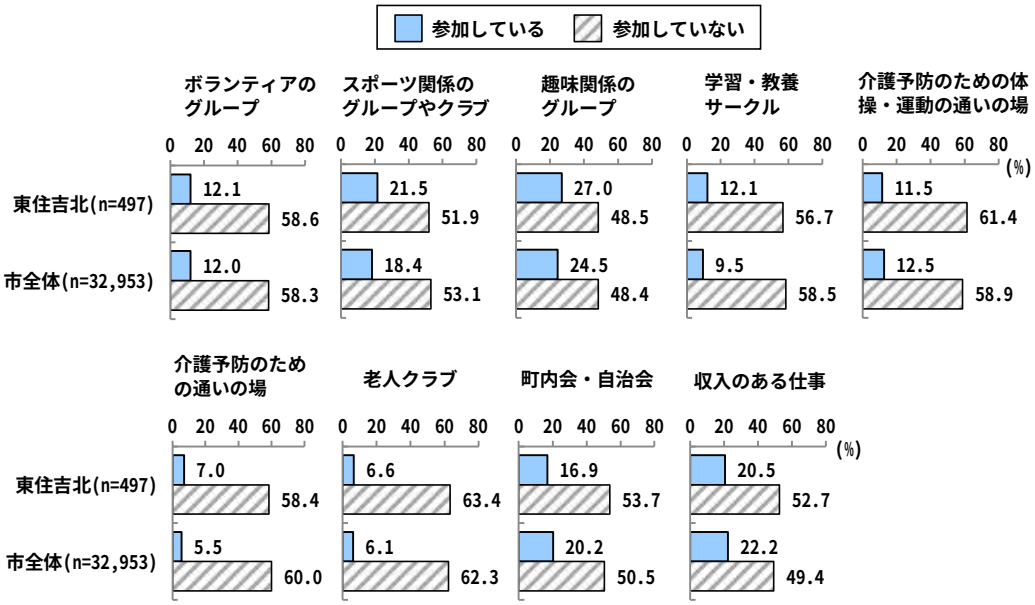
④知的能動性



⑤社会的役割



⑥社会参加の状況



23．平野区

１．平野区プロフィール

特徴	平野区は大阪市の東南部に位置し、東は八尾市、西は東住吉区、南は松原市、北は生野区及び東大阪市に接している。全般的には住居地域としての色合いが強く、公営住宅数については市内１位（24,568戸：令和２年12月１日現在）を有している。 南部の喜連・瓜破・長吉地域は公営住宅や中高層住宅が建つ比較的新しい町並みの中に農地や遺跡が存在し、中央部の平野地域は古い家々と多数の神社・仏閣が存在する町並み、北部の加美地域は工業地区としての性格を有する町並みなどバラエティーに富んだ町になっている。区内の交通機関については、北部を JR 大和路線・おおさか東線、中央部から東南部は地下鉄谷町線が通り、それぞれ市の中央部と直結している。
トピックス	平野区の施設では、男女共同参画社会をめざす『クレオ大阪南(男女共同参画センター南部館)』、おとしよりの自立を支援し、住み慣れた家庭への復帰をお手伝いする『おとしよりすこやかセンター南部館』、出会う・学ぶ・創るをテーマにした手作り工芸の『大阪市立クラフトパーク』、バリアフリーの『平野屋内プール』、人権と文化の輪を拡げる『平野図書館』、など、人々の暮らしを豊かに夢あるものへと誘う様々な整備が進んでいる。 また、障がい者支援の基幹施設である『大阪市立心身障がい者リハビリテーションセンター』、発達障がいの各種相談等を行う『大阪市発達障がい者支援センター「エルムおおさか」』などの大阪市における基幹施設も所在している。

２．統計からみる平野区の状況（基準日：令和２年 10 月１日現在）

①主要統計指標

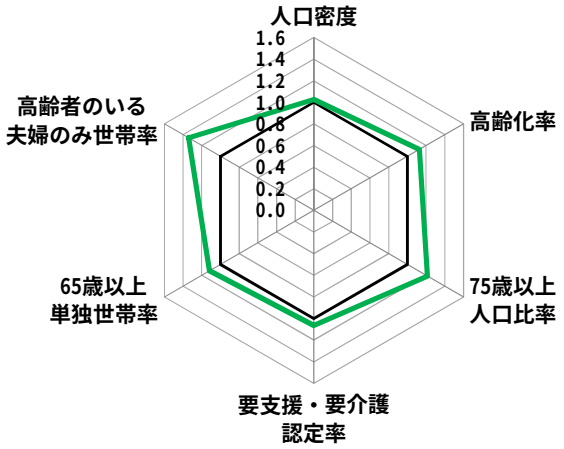
項目	データ	順位	項目	データ	順位
人口総数	191,664 人	1	面積	15.28 ㎢	3
人口密度	12,543 人/㎢	18	世帯数	92,841 世帯	3

②高齢化指標

項目	データ	順位	項目	データ	順位
65歳以上人口	55,451 人	1	高齢化率	28.9%	7
65～74歳人口	23,545 人	1	75歳以上人口	31,905 人	1
65～74歳人口比率	12.3%	11	75歳以上人口比率	16.6%	5
要介護認定者数※1	15,087 人	1	認知症高齢者数（65歳以上）※2	3,706 人	1
（認定率）	27.6%	6	認知症高齢者数（75歳以上）※2	3,299 人	1
65歳以上単独世帯数※3	14,720 世帯	2	65歳以上高齢者のいる夫婦	10,338 世帯	1
（世帯率）	16.6%	6	のみ世帯数※3（世帯率）	11.6%	4

※１：令和２年９月末における第１号被保険者（65歳以上）の認定者数
※２：認知症高齢者数は居宅のみ（令和２年４月1日現在）
※３：国勢調査「65歳以上の世帯員のいる世帯」（平成27年10月1日現在）

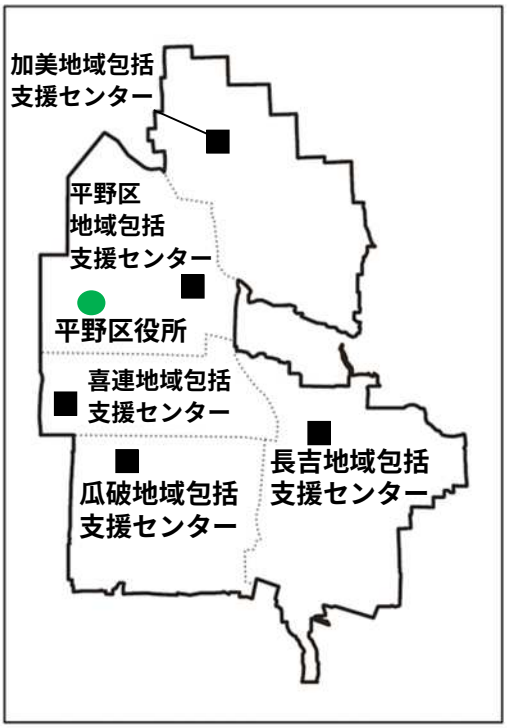
③平野区の水準（大阪市＝１とした指数）



④平野区の高齢化の特徴

●高齢化率は28.9%と24区中で7位である。
●65～74歳人口比率が11位に対して、75歳以上人口比率は５位である。
●65歳以上単独世帯率は6位、高齢者のいる夫婦のみ世帯率は4位となっている。
●認定率は6位となっている。
●各指標の水準すべてにおいて大阪市の水準を上回っており、高齢化が非常に進んでいる区域である。

３．平野区の日常生活圏域図



４．地域の状況

■高齢化率が平成22年から平成27年において24.2％から27.6％（国勢調査）に増加している平野区において、地域における支援が必要な方を「見守り」「発見」「支える」ために、地域の特性に応じた支援体制の基盤整備を行いつつ、誰もがお互いを支えあえる地域福祉活動の推進を図っていく必要がある。

■65歳以上の在宅認知症高齢者等の数が平成27年から令和２年の６年間で1.2倍に増加している。認知症になっても、住んでいる地域で自分らしく安心して暮らしを続けることができるよう、認知症の予防や理解を促進し、認知症高齢者を支援するための取組や連携強化を関係機関や多職種等とともに、推進していく必要がある。

５．地域資源情報

①地域資源の状況（令和２年３月 31 日現在）

区　分	件　数
地域包括支援センター	５か所
総合相談窓口（ブランチ）	６か所
老人クラブ数	37 団体
連合町会数（H27 国勢調査）	22 団体
民生委員・児童委員	250 人

②主な介護保険事業者・施設の状況（令和２年９月末現在）

居宅サービス	件数	施設サービス	件数	地域密着型サービス	件数
訪問介護	196	介護老人福祉施設	13	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1
訪問入浴介護	2	介護老人保健施設	7	夜間対応型訪問介護	1
訪問看護	217	介護療養型医療施設	0	地域密着型通所介護	47
訪問リハビリテーション	178	介護予防・生活支援サービス	件数	認知症対応型通所介護	13
通所介護	44			小規模多機能型居宅介護	10
通所リハビリテーション	194	介護予防支援	5	認知症対応型共同生活介護	21
福祉用具貸与	22	介護予防型訪問サービス	177	地域密着型特定施設入居者生活介護	1
短期入所生活介護	16	生活援助型訪問サービス	150		
短期入所療養介護	6	介護予防型通所サービス	86	地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	4
特定施設入居者生活介護	12	短時間型通所サービス	52		
居宅介護支援	110	選択型通所サービス	3	複合型サービス	1

③在宅医療の状況（令和元年 10 月１日現在）

区　分	件　数	区　分	件　数
在宅療養支援病院	2 か所	在宅療養支援歯科診療所	22 か所
在宅療養支援診療所	56 か所	在宅患者訪問薬剤管理指導料	88 か所

６．その他（高齢者の支援に関する区独自の取組など）

■地域福祉活動コーディネーター事業（各地域の特性に応じた地域福祉支援体制の構築）
地域における支援が必要な方を「見守り」「発見」し、相談から必要な支援へ「つなげる（支える）」地域の要として、区内全 22 地域に地域福祉活動コーディネーターを配置し、地域の特性に応じて、関係機関等と連携しつつ、地域福祉活動の推進を図っている。

■いきいき脳活（認知症予防推進事業）
区内関係者の協力のもと、高齢者が認知症の理解を深め、身近な場所で、仲間づくりとともに継続した認知症予防の自主的な取組ができるようなシステム構築に取り組んでいる。

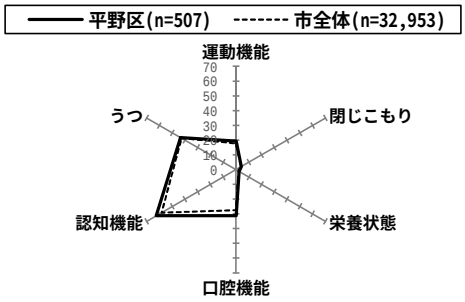
■いきいき百歳体操推進事業
百歳体操の担い手の養成を目的としたサポーター養成講座の実施、養成後のサポーターのモチベーションの維持・向上のためのサポーター交流会、継続参加者の全体交流会を行っている。

■平野区「健康フェスタ＆食育展」
区内の医療専門職や健康づくり等の関係団体、教育機関、民間企業、行政などが連携し、健康と食について、こどもから高齢者まで、楽しんで体験し学べるイベントを開催することにより普及啓発に取り組んでいる。

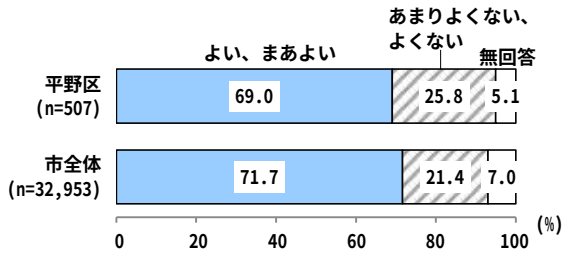
７．日常生活圏域ニーズ調査結果

①平野区

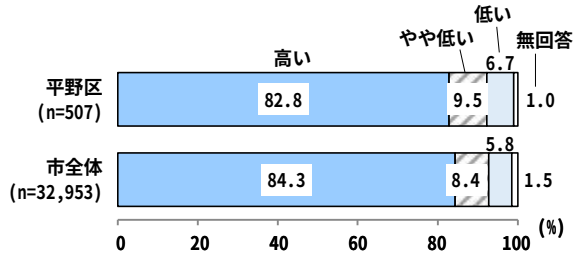
①生活機能リスク



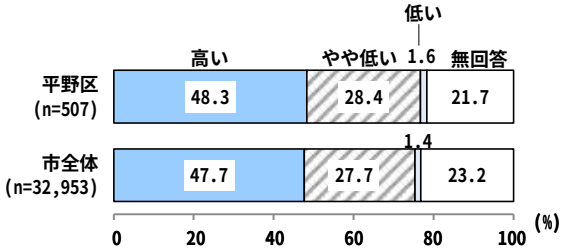
②主観的健康観



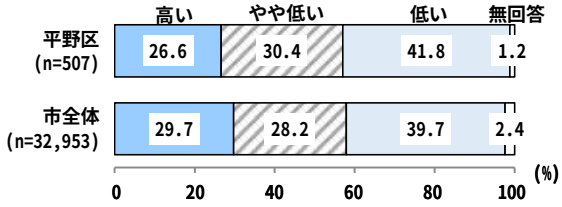
③手段的自立度



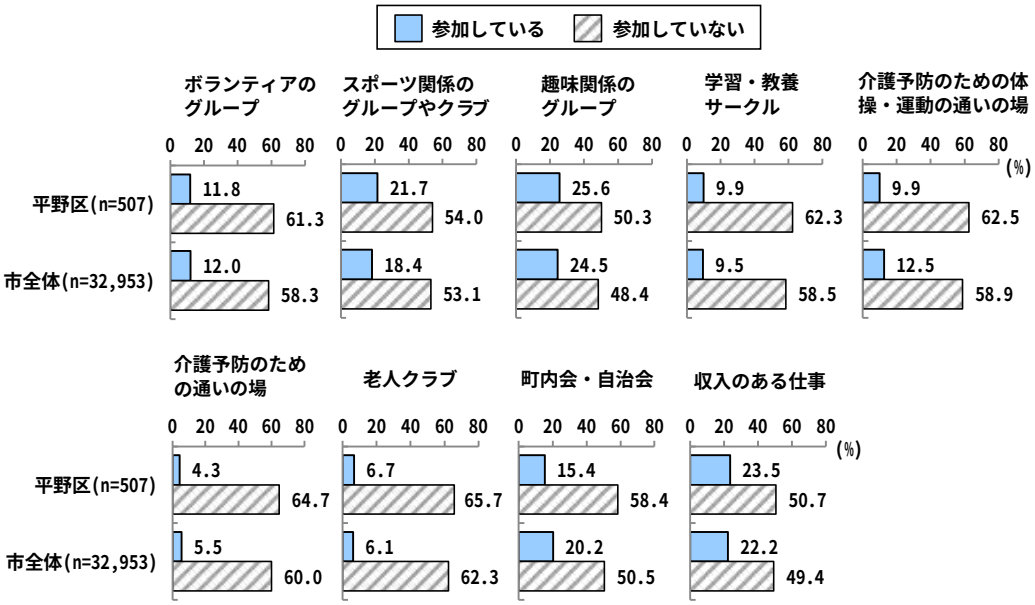
④知的能動性



⑤社会的役割

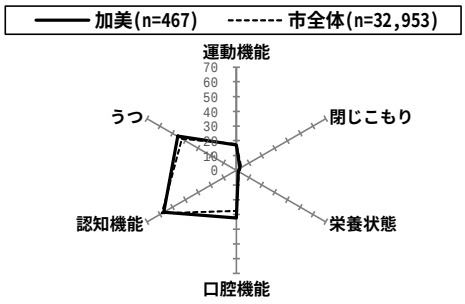


⑥社会参加の状況

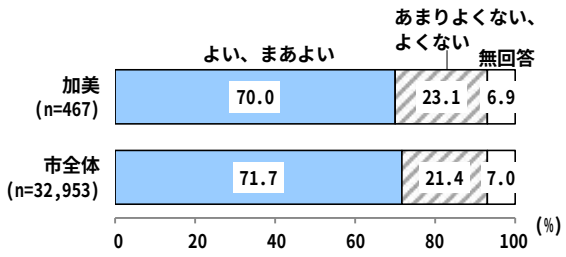


②加美

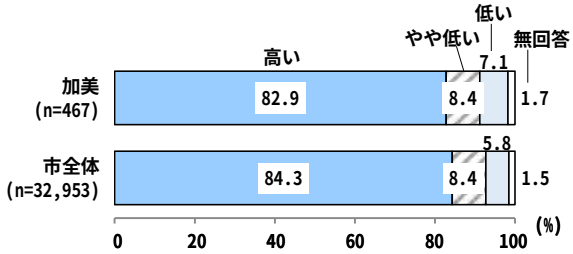
①生活機能リスク



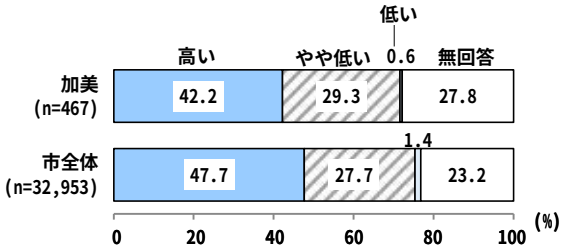
②主観的健康観



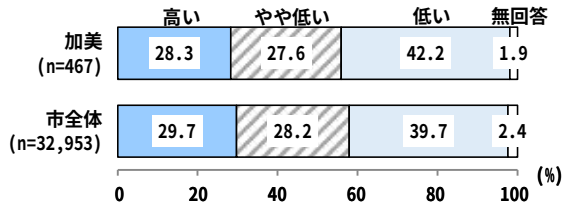
③手段的自立度



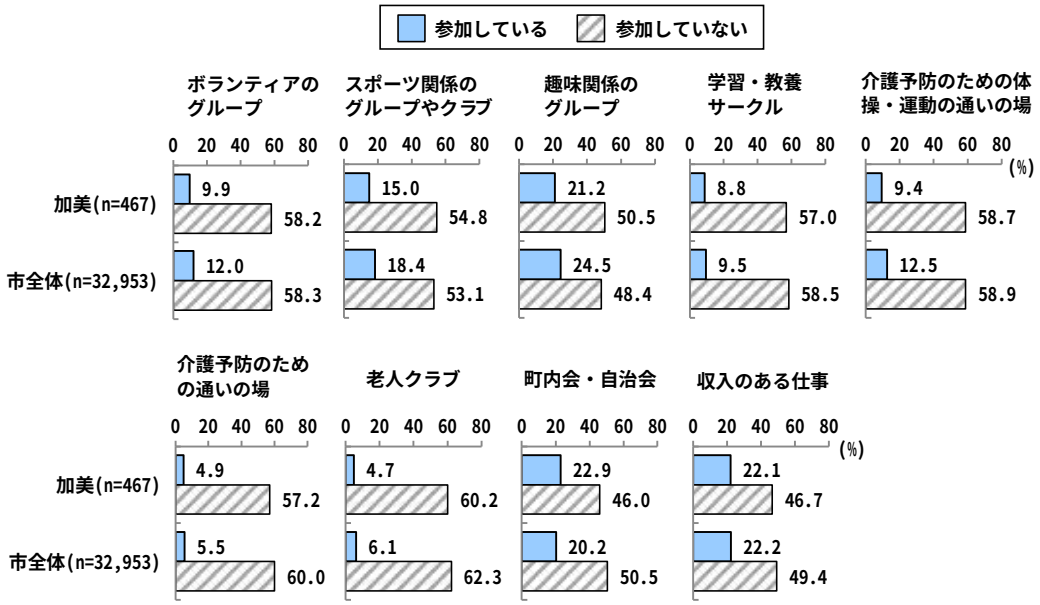
④知的能動性



⑤社会的役割

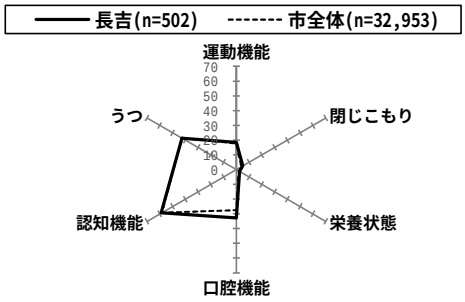


⑥社会参加の状況

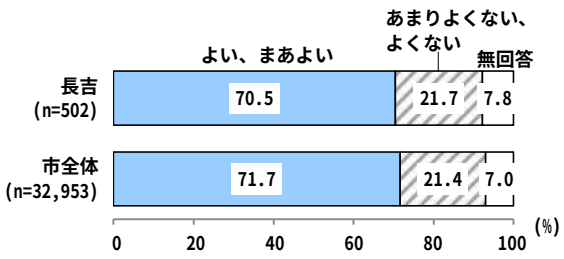


③長吉

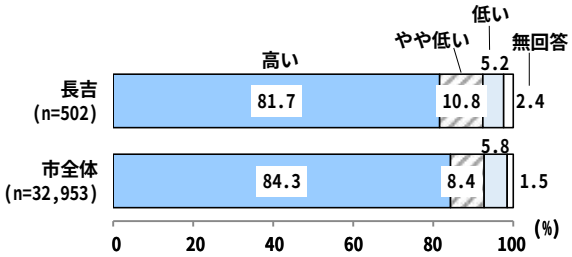
①生活機能リスク



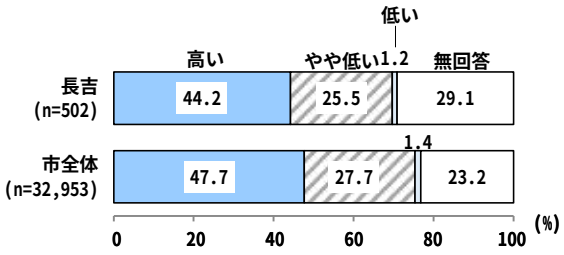
②主観的健康観



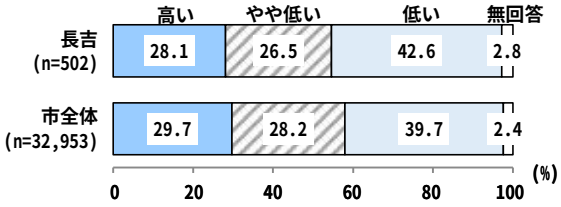
③手段的自立度



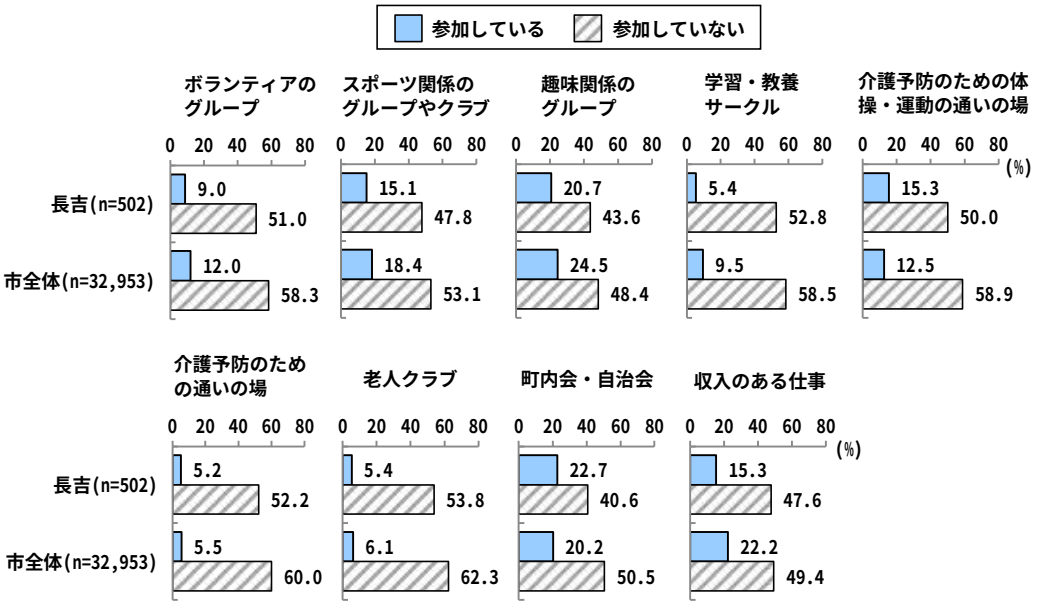
④知的能動性



⑤社会的役割

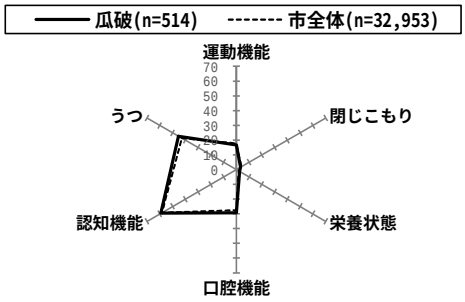


⑥社会参加の状況

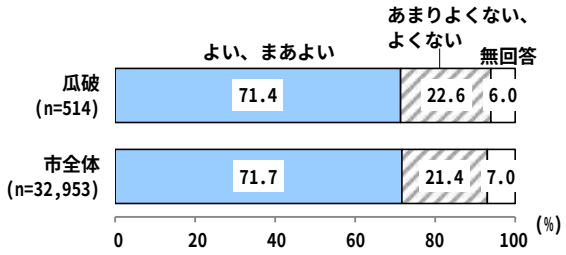


④瓜破

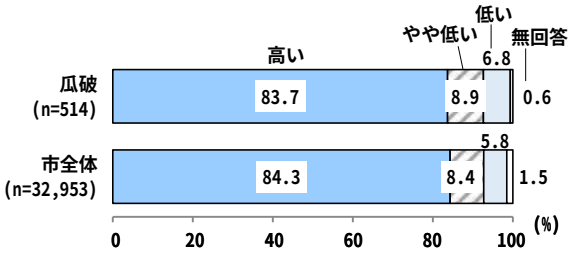
①生活機能リスク



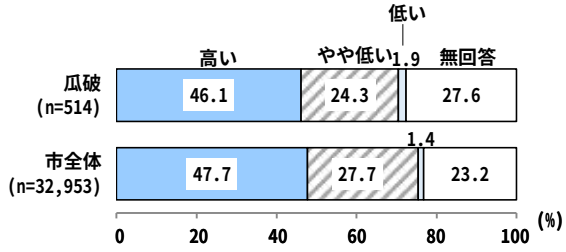
②主観的健康観



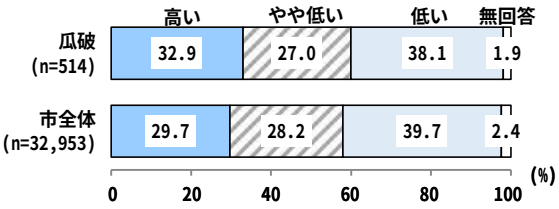
③手段的自立度



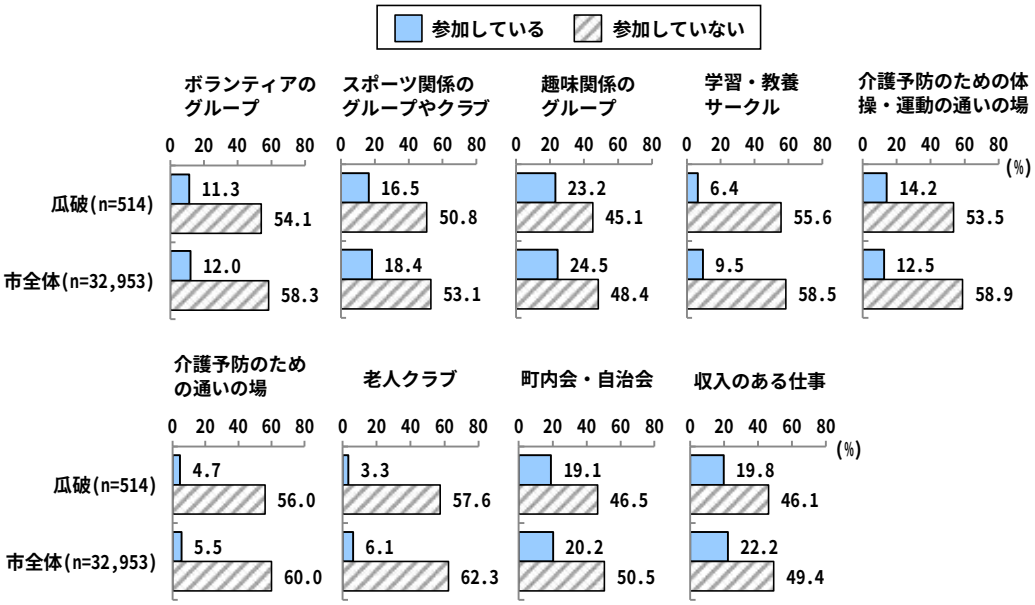
④知的能動性



⑤社会的役割

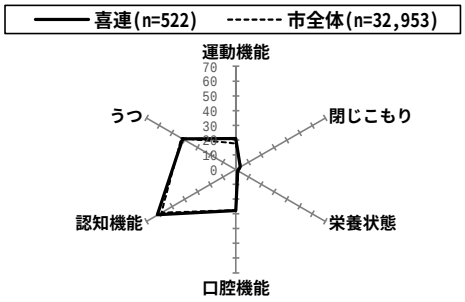


⑥社会参加の状況

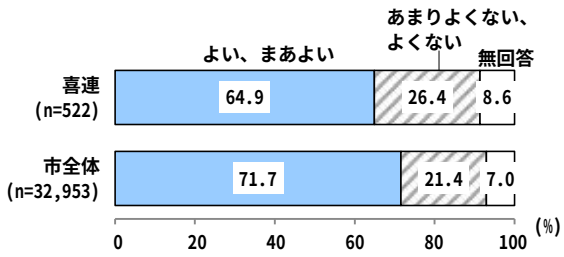


⑤喜連

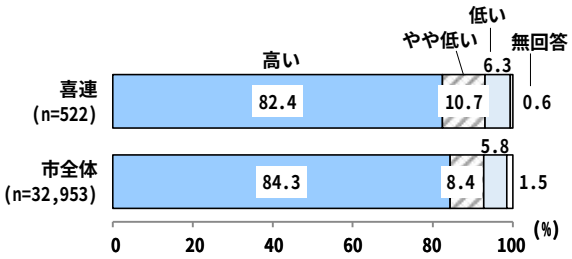
①生活機能リスク



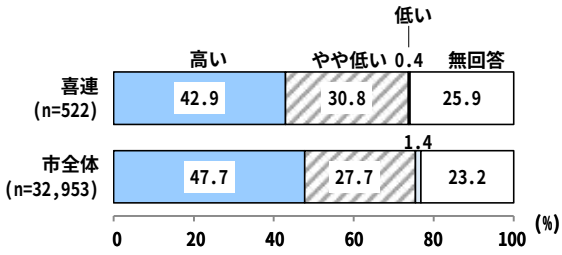
②主観的健康観



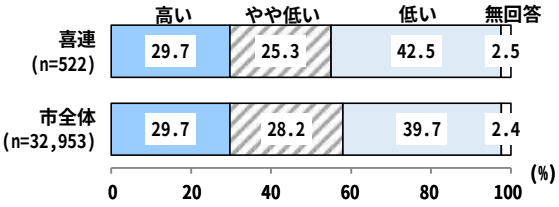
③手段的自立度



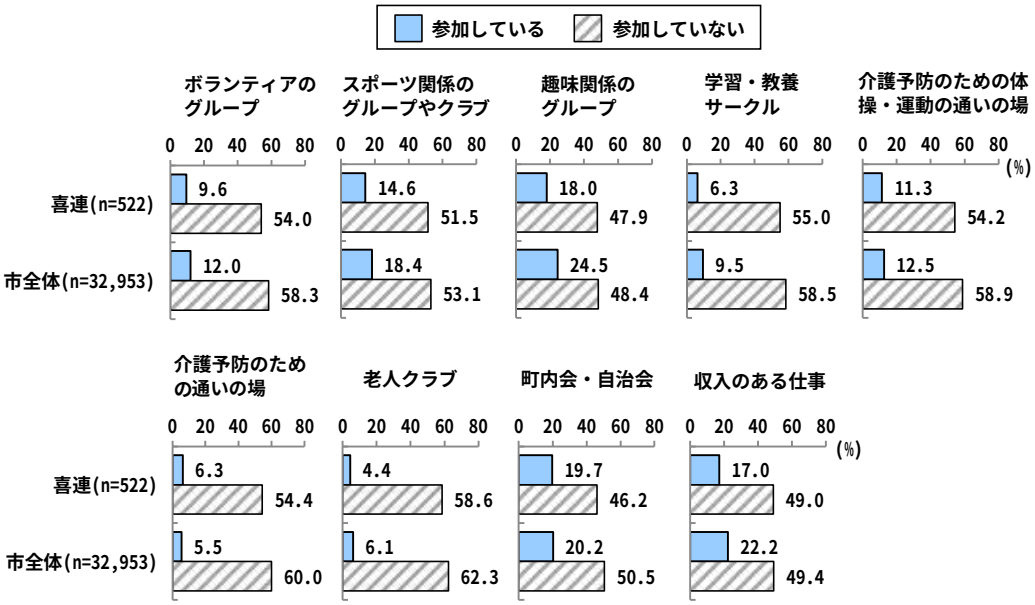
④知的能動性



⑤社会的役割



⑥社会参加の状況



24．西成区

１．西成区プロフィール

特徴	西成区は上町台地の西側から木津川に至る間に位置しており、北に浪速区、東に阿倍野区、南に住之江区、木津川を挟んで西に大正区が隣接している。区の東部を南北にとおる旧紀州街道（住吉街道）は16世紀頃から堺の発展とともにひらけたもので、豊臣秀吉が堺政所や住吉大社への道中、この地で茶を楽しんだことから天下茶屋と呼ばれるようになり、大阪市顕彰史跡・天下茶屋跡を今に残している。現在は、国道26号・43号などの幹線道路、地下鉄・JR・私鉄が通る交通至便の地であり、商工業のまち、庶民的なまちとして、今なお人情豊かな下町の風情が残っている。
トピックス	西成区では、南海天下茶屋工場跡地の一角には、日本最大級のオーケストラ練習場である「大阪フィルハーモニー会館」（岸里1丁目）があり、大阪フィルハーモニー交響楽団の活動拠点となっている。また、区の中央南部には「南津守さくら公園・スポーツ広場」（南津守1丁目）があり、スポーツ振興に寄与している。将来像として、あらゆる世代の区民や福祉施設などのさまざまな活動主体が協働して地域活動を進めることで、すべての区民が住みなれた地域で安心・安全に暮らせ、すべての人権が尊重されるまちの実現をめざしている。

２．統計からみる西成区の状況（基準日：令和２年 10 月１日現在）

①主要統計指標

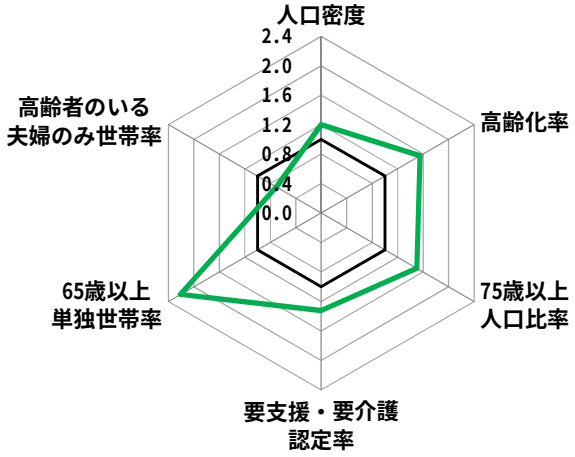
項目	データ	順位	項目	データ	順位
人口総数	108,114 人	12	面積	7.37 ㎢	16
人口密度	14,669 人/㎢	11	世帯数	69,764 世帯	7

②高齢化指標

項目	データ	順位	項目	データ	順位
65歳以上人口	43,032 人	4	高齢化率	39.8%	1
65～74歳人口	20,772 人	3	75歳以上人口	22,260 人	6
65～74歳人口比率	19.2%	1	75歳以上人口比率	20.6%	1
要介護認定者数※1	13,671 人	2	認知症高齢者数（65歳以上）※2	3,336 人	3
（認定率）	34.4%	1	認知症高齢者数（75歳以上）※2	2,671 人	4
65歳以上単独世帯数※3	22,456 世帯	1	65歳以上高齢者のいる夫婦	4,156 世帯	14
（世帯率）	32.9%	1	のみ世帯数※3（世帯率）	6.1%	20

※1：令和２年９月末における第１号被保険者（65 歳以上）の認定者数
※2：認知症高齢者数は居宅のみ（令和２年４月１日現在）
※3：国勢調査「65 歳以上の世帯員のいる世帯」（平成 27 年 10 月１日現在）

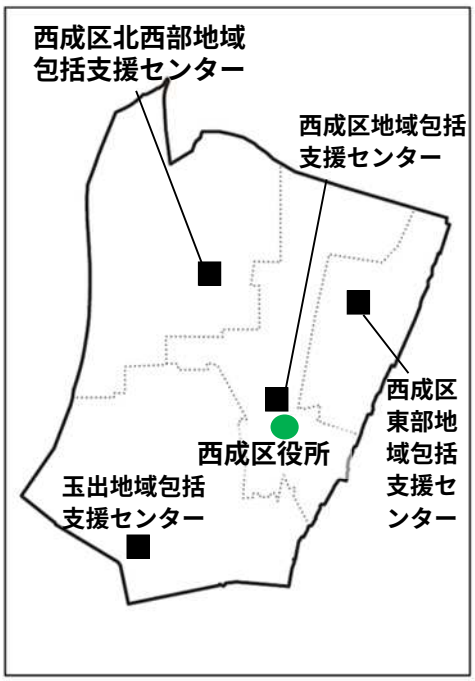
③西成区の水準（大阪市＝１とした指数）



④西成区の高齢化の特徴

- ●高齢化率は39.8％と24区中で最も高い。
- ●65～74歳人口比率、75歳以上人口比率も1位である。
- ●65歳以上単独世帯率が1位の一方、高齢者のいる夫婦のみ世帯率は20位と大きな差がある。
- ●認定率は1位となっている。
- ●大阪市の水準に比べると、高齢化が最も進んでいる区域であるが、高齢者のいる夫婦のみ世帯率に限り低くなっている。

３．西成区の日常生活圏域図



４．地域の状況

■西成区は、他区と比べて特に高齢化が進んでおり、若い世代が少ないことや、生活保護率が非常に高いなどの様々な課題が存在しているため、若者・子育て世代の流入促進や区の活性化などを図るために、平成25年度から、本市において、西成特区構想による様々な取組みが進められている。

■西成区地域福祉計画の取組みで、より地域の特性・実情にあった「つながりづくり」を進めるため、地域の福祉的課題に対応した地域活動を推進している。

５．地域資源情報

①地域資源の状況（令和２年３月 31 日現在）

区　分	件　数
地域包括支援センター	４か所
総合相談窓口（ブランチ）	６か所
老人クラブ数	４４団体
連合町会数（H27 国勢調査）	１６団体
民生委員・児童委員	２８８人

②主な介護保険事業者・施設の状況（令和２年９月末現在）

居宅サービス	件数	施設サービス	件数	地域密着型サービス	件数
訪問介護	２９４	介護老人福祉施設	９	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	１
訪問入浴介護	３	介護老人保健施設	４	夜間対応型訪問介護	０
訪問看護	１５０	介護療養型医療施設	０	地域密着型通所介護	３９
訪問リハビリテーション	１２２	介護予防・生活支援サービス	件数	認知症対応型通所介護	２
通所介護	３１			小規模多機能型居宅介護	５
通所リハビリテーション	１３１	介護予防支援	４	認知症対応型共同生活介護	１６
福祉用具貸与	３６	介護予防型訪問サービス	２８２	地域密着型特定施設入居者生活介護	０
短期入所生活介護	８	生活援助型訪問サービス	２５６		
短期入所療養介護	４	介護予防型通所サービス	６９	地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	１
特定施設入居者生活介護	１０	短時間型通所サービス	５４		
居宅介護支援	１４０	選択型通所サービス	０	複合型サービス	０

③在宅医療の状況（令和元年 10 月１日現在）

区　分	件　数	区　分	件　数
在宅療養支援病院	３か所	在宅療養支援歯科診療所	１４か所
在宅療養支援診療所	３６か所	在宅患者訪問薬剤管理指導料	７１か所

６．その他（高齢者の支援に関する区独自の取組など）

■地域ネットワーク委員（４１０人）による活動
西成区では、各地区でネットワーク委員会活動が継続されており、支援を必要としている住民の発見や地域における見守り活動の中心的な役割を果たしている。

■要援護者名簿の地域提供
平成 18 年度から区独自の「緊急時要援護者登録事業」を開始して地域へ要援護者名簿の提供を行っており、これを平成 27 年度から全区で始まった「地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業」の対象者と統合し、より幅広い要援護者名簿として見守り活動を進めている。

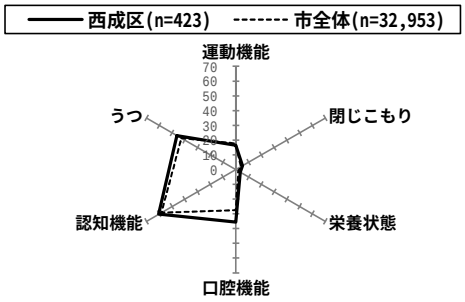
■単身高齢生活保護受給者の社会的つながりづくり事業（愛称「ひと花プロジェクト」）
社会的に孤立する単身高齢生活保護受給者の生活改善などを目指した取組みであるが、事業を通じた社会貢献活動が評価されるなど、地域とのつながりが希薄であった者に、新たな「つながり」が生まれている。

■あいりん地域を中心とした結核対策
結核罹患率が非常に高い西成区では、高齢者を中心とした効果的な結核健診の実施により患者の早期発見・早期治療につなげるとともに、患者が最後まで治療を継続できるよう、患者一人ひとりの状況に応じた服薬支援を実施している。

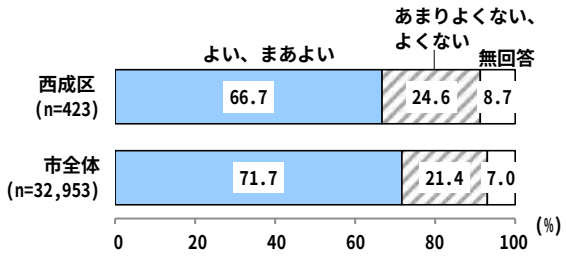
7．日常生活圏域ニーズ調査結果

①西成区

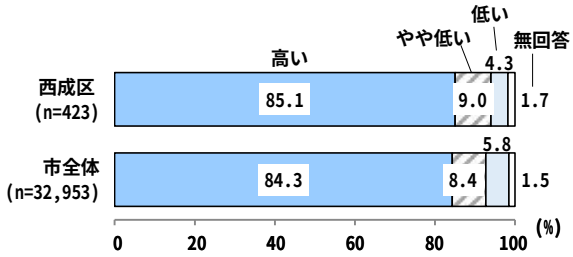
①生活機能リスク



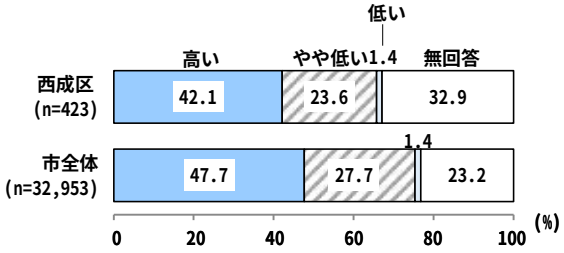
②主観的健康観



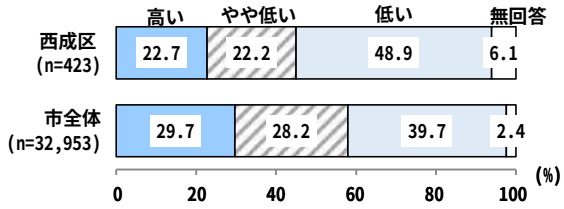
③手段的自立度



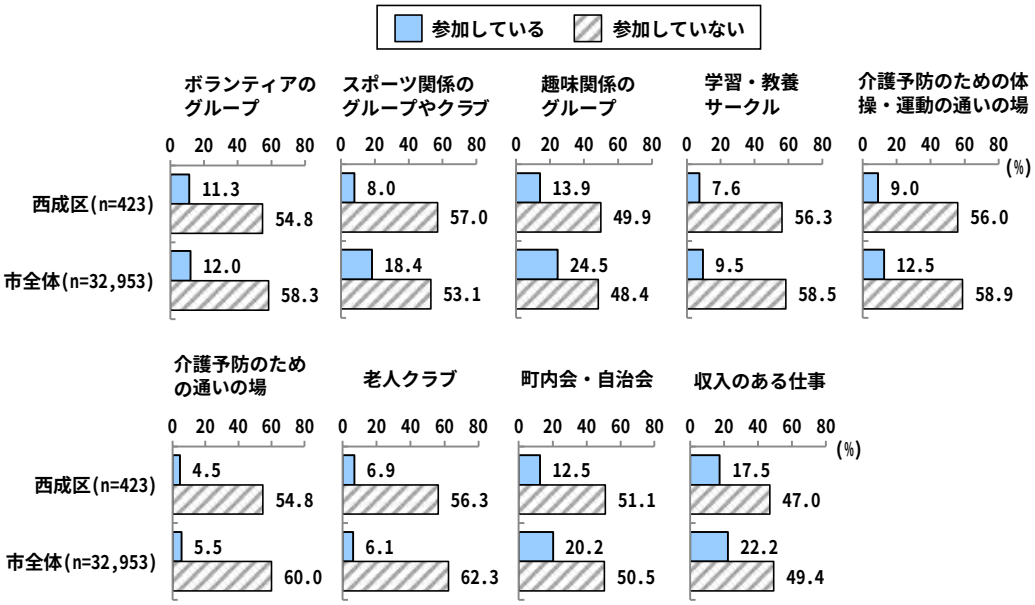
④知的能動性



⑤社会的役割

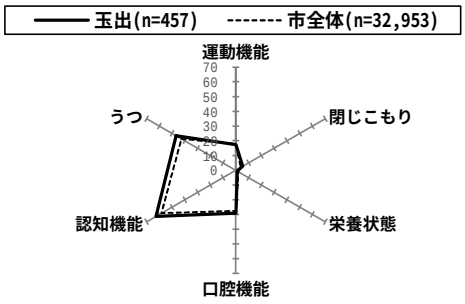


⑥社会参加の状況

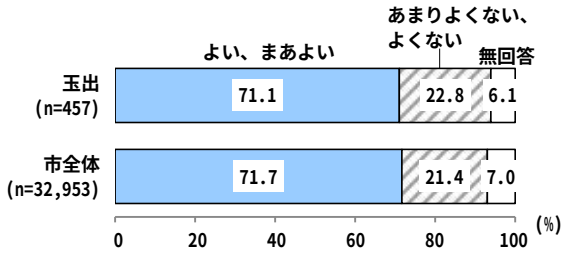


②玉出

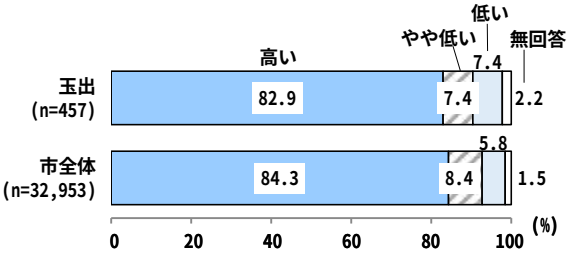
①生活機能リスク



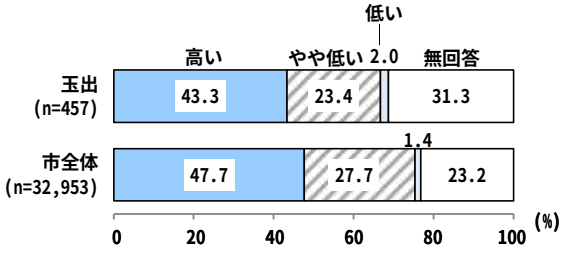
②主観的健康観



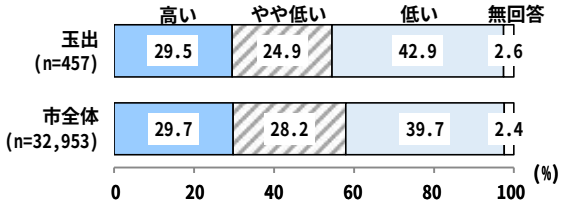
③手段的自立度



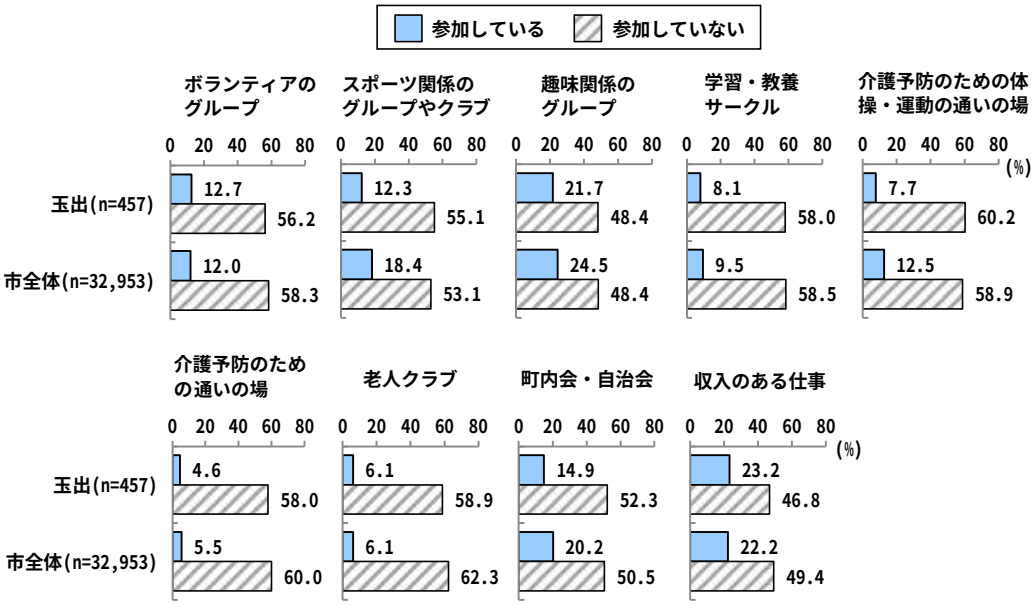
④知的能動性



⑤社会的役割

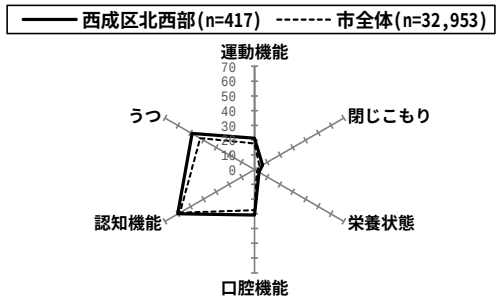


⑥社会参加の状況

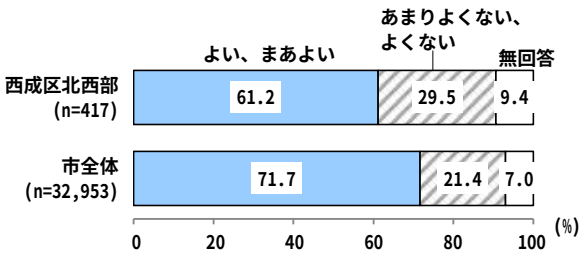


③西成区北西部

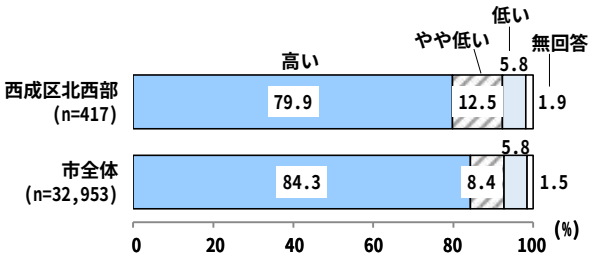
①生活機能リスク



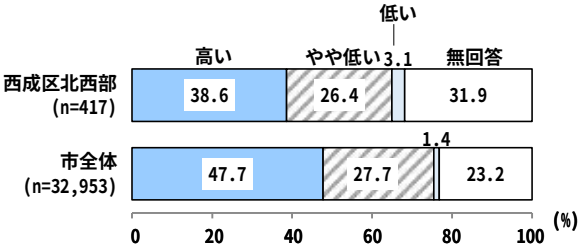
②主観的健康観



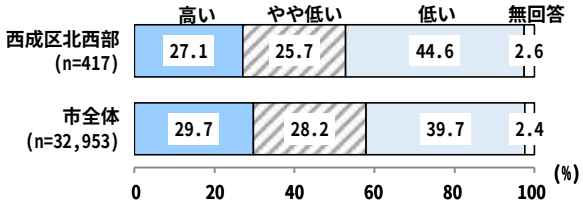
③手段的自立度



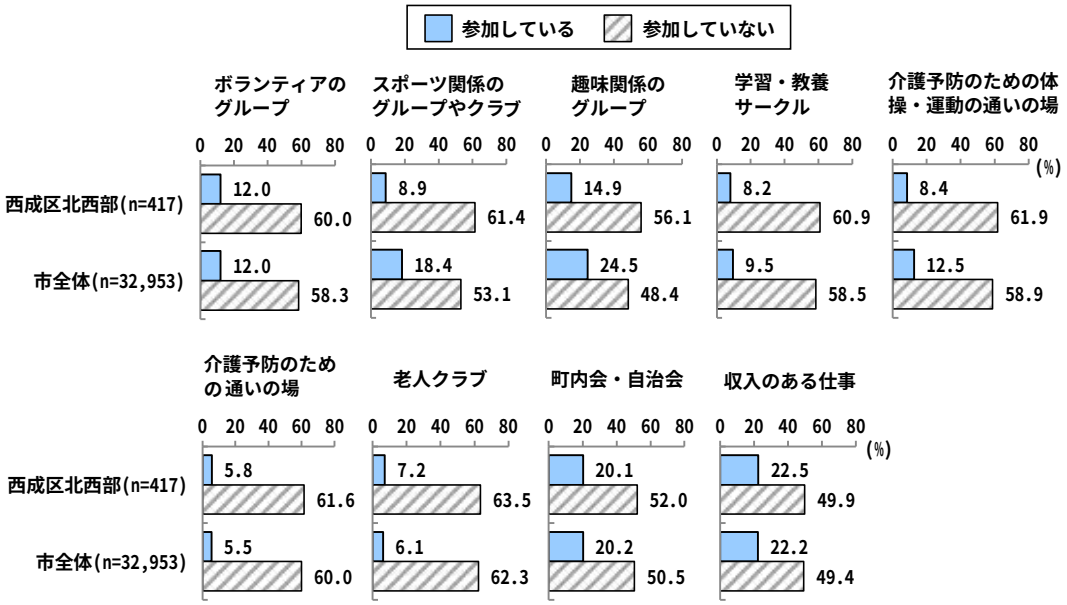
④知的能動性



⑤社会的役割

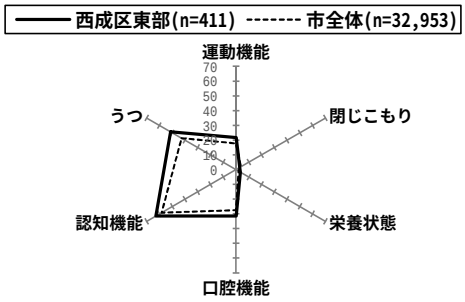


⑥社会参加の状況

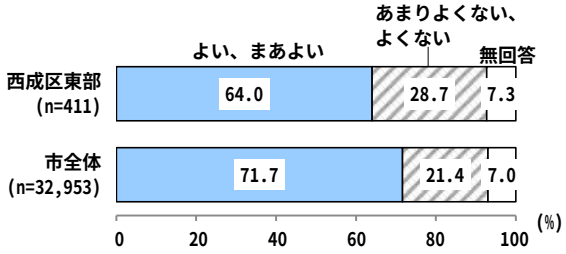


④西成区東部

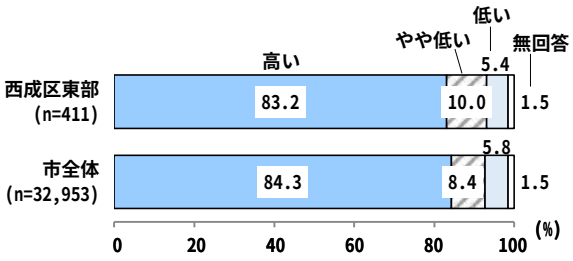
①生活機能リスク



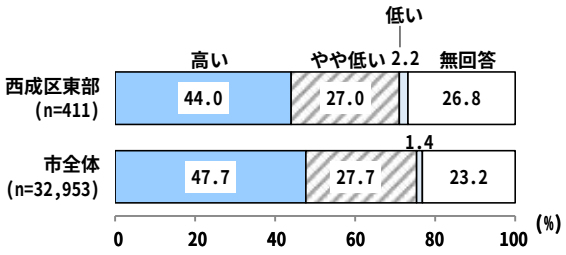
②主観的健康観



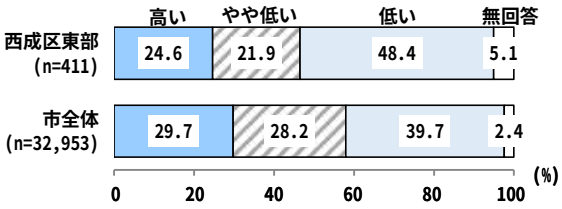
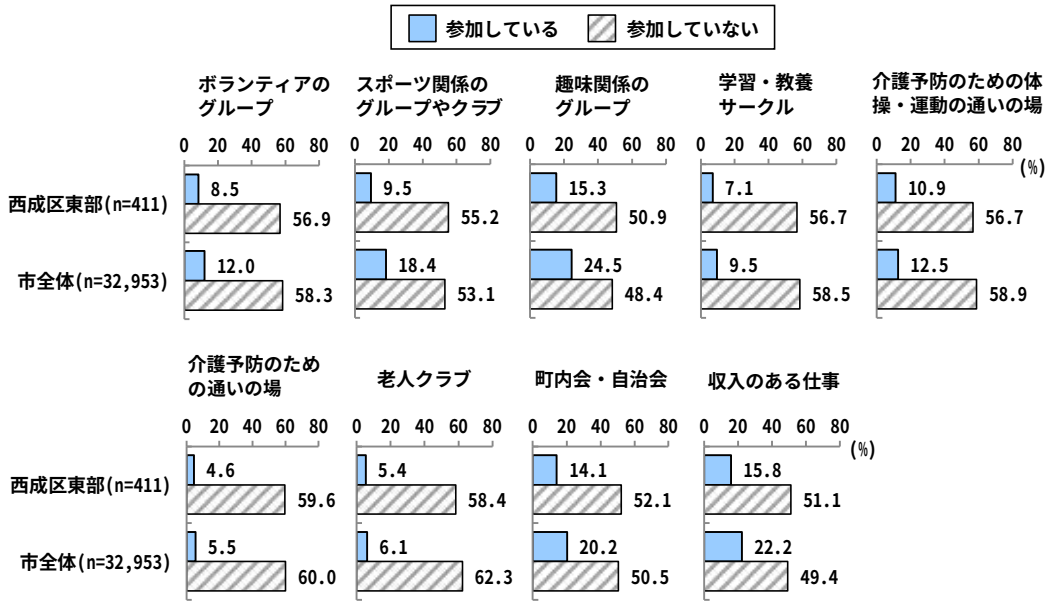
③手段的自立度



④知的能動性



⑤社会的役割



⑥社会参加の状況